

TONDABAYASHI

富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画

第5期実施計画

2022
(令和4)
年度

2024
(令和6)
年度

 富田林市

令和4年3月



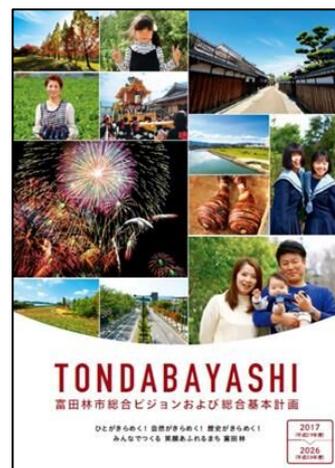
目次

I	総合ビジョンおよび総合基本計画の概要	1
1.	総合ビジョンおよび総合基本計画	1
2.	まちの将来像	1
3.	まちづくりの大綱	2
4.	施策体系	3
II	実施計画	4
1.	実施計画の役割	4
2.	第5期実施計画の期間	4
3.	実施計画によるPDCAサイクル	5
4.	計画書の掲載事業	5
5.	各施策におけるSDGsの反映	6
6.	計画書の見方	8
	基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり（基本施策1～2）	10
	戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成（戦略的施策1）	14
	分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育（個別施策1～6）	16
	分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり（個別施策7～15）	32
	分野別施策3 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり（個別施策16～20）	53
	分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり（個別施策21～29）	63
	経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進（経営的施策1～3）	83
	<資料>	
	本市の現況	91
1.	人口の状況	91
2.	財政の状況	93

I 総合ビジョンおよび総合基本計画の概要

1. 総合ビジョンおよび総合基本計画

本市では、長期的な視点で市政の運営を総合的・計画的に行うための基本的な指針として、2017（平成29）年度から2026（令和8）年度を計画期間とし、めざすべきまちの将来像等を掲げた「総合ビジョン」を策定するとともに、将来像の実現に向けて必要な施策を示す「総合基本計画」を併せて策定しています。



2. まちの将来像

「総合ビジョン」では、まちづくりを進めていくうえで、めざすべきまちの将来像を次のように設定しています。

富田林市の将来像

ひとがきらめく！ 自然がきらめく！ 歴史がきらめく！

みんなで作る 笑顔あふれるまち 富田林

ひとがきらめく

市民だけでなく、団体や企業など、あらゆる主体としての「ひと」が、いきいきと活躍し、一人ひとりの個性が輝き、互いの魅力を高め合える、「ひと」が元気なまちとなっています。

自然がきらめく 歴史がきらめく

緑豊かな田園風景や石川の清流、歴史的なまちなみは市民や訪れる人にとって、かけがえのない魅力であり宝物です。

自然や歴史を大切にし、まちの魅力を将来に引き継ぐことで、市民のまちへの愛着が深まり、多くの人に富田林市の魅力が伝わっています。

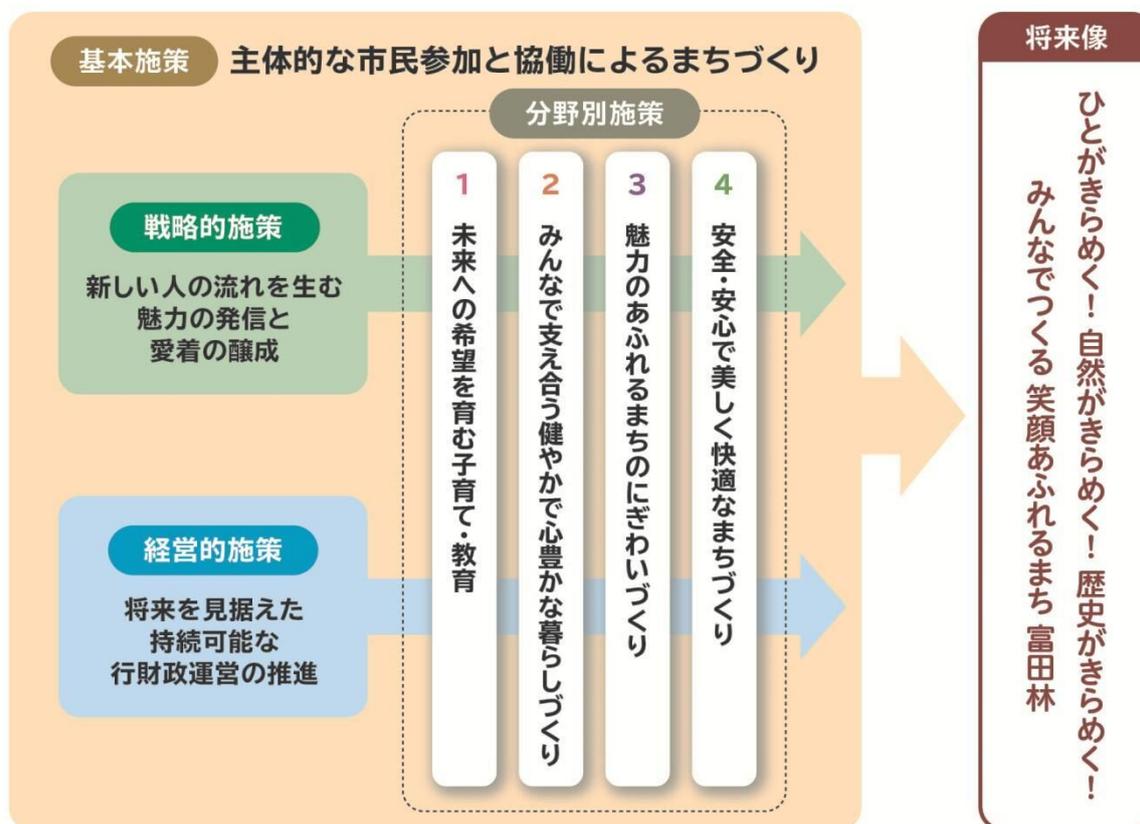
みんなで作る 笑顔あふれるまち

住みやすさが高まり、幸せや楽しさがあふれ、すべての人が心地よさを感じることができ、まちにたくさんの笑顔があふれています。

魅力と笑顔にあふれるまちをみんなで、ともに作りあげることで、富田林市が、あらゆる場面で選ばれるまちとなっています。

3. まちづくりの大綱

めざすべきまちの将来像の実現に向けて、基本施策、戦略的施策、4つの分野別施策、経営的施策からなるまちづくりの大綱を設定し、体系的に取り組を進めます。



【基本施策】

市民参加と協働によるまちづくりを、すべての施策を推進するうえの基本的な考え方とし、必要な取組を示す施策

【戦略的施策】

定住人口や交流人口の増加に向け、本市の魅力を高め、効果的に発信していく取組を、分野横断的な展開により、戦略的に推進するための施策

【分野別施策】

まちづくりの各分野別に、今後必要な取組を示す施策

【経営的施策】

人口減少や少子高齢化が進行する中で、まちづくりを円滑に進めていくため、将来を見据えた持続可能な行財政運営を推進するために必要な取組を示す施策

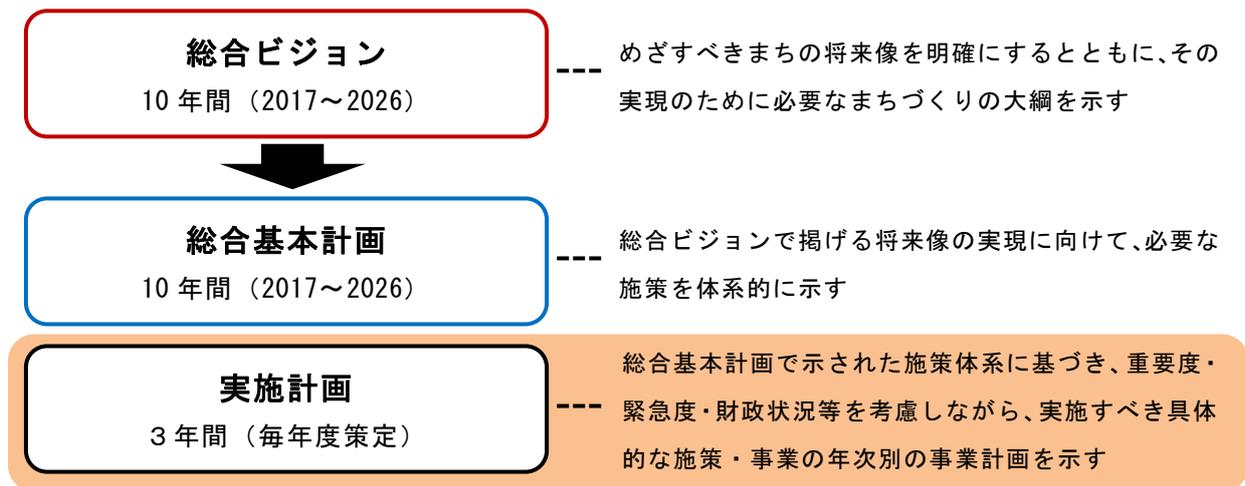
4. 施策体系

施策体系		
基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり		
基本施策1 参加と協働のためのしくみづくり		
基本施策2 参加と協働によるまちづくり		
戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成		
戦略的施策1 都市魅力の創生と効果的な情報発信		
分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育	(1) 親と子を支える子育て環境づくり	
	個別施策1 結婚・妊娠・出産の支援	
	個別施策2 子ども・子育て支援の充実	
	(2) 未来の担い手を育む教育	
	個別施策3 学校園における教育の充実	
	個別施策4 未来の担い手の育成	
(3) 学び続けるための環境づくり	個別施策5 生涯を通じた学びの推進	
	個別施策6 市民文化・スポーツの推進	
	分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり	(1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療
		個別施策7 主体的な健康づくりの推進
		個別施策8 医療体制の充実
		(2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり
個別施策9 地域福祉の推進		
個別施策10 高齢者福祉の推進		
(3) 多様性の尊重による共生社会の形成	個別施策11 障がい者福祉の推進	
	個別施策12 生活の自立に向けた支援	
	個別施策13 人権の尊重と平和の希求	
	個別施策14 男女共同参画と女性の活躍の推進	
	個別施策15 多文化共生と国際交流のまちづくり	
	分野別施策3 魅力があふれるまちなぎわいづくり	(1) 産業活性化によるにぎわいの創出
個別施策16 雇用の促進		
個別施策17 商工業の活性化		
個別施策18 農業の活性化		
(2) 多くの人を訪れるにぎわいの創出		
個別施策19 地域資源を活かした観光の振興		
分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり	個別施策20 人が集まる機会の創出	
	(1) 安全・安心な暮らしの確保	
	個別施策21 防災対策の推進	
	個別施策22 防犯対策の推進	
	個別施策23 消防・救急体制の強化	
	(2) 快適に暮らせる環境づくり	
	個別施策24 快適な都市空間づくり	
	個別施策25 暮らしを支える都市基盤の整備	
	個別施策26 住宅政策の推進	
	個別施策27 交通政策の推進	
(3) 環境にやさしく美しい地域づくり		
個別施策28 低炭素社会の構築		
個別施策29 自然・歴史環境の保全		
経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進		
経営的施策1 効率的・効果的な行財政運営		
経営的施策2 計画的な財産管理		
経営的施策3 明日を担う職員の育成		

II 実施計画

1. 実施計画の役割

実施計画は、総合基本計画で示された施策体系に基づき、重要度・緊急度・財政状況等を勘案しながら効果的に選択し、毎年度ローリング方式により、計画期間（3年間）に実施すべき具体的な施策・事業を事業計画としてとりまとめたものです。



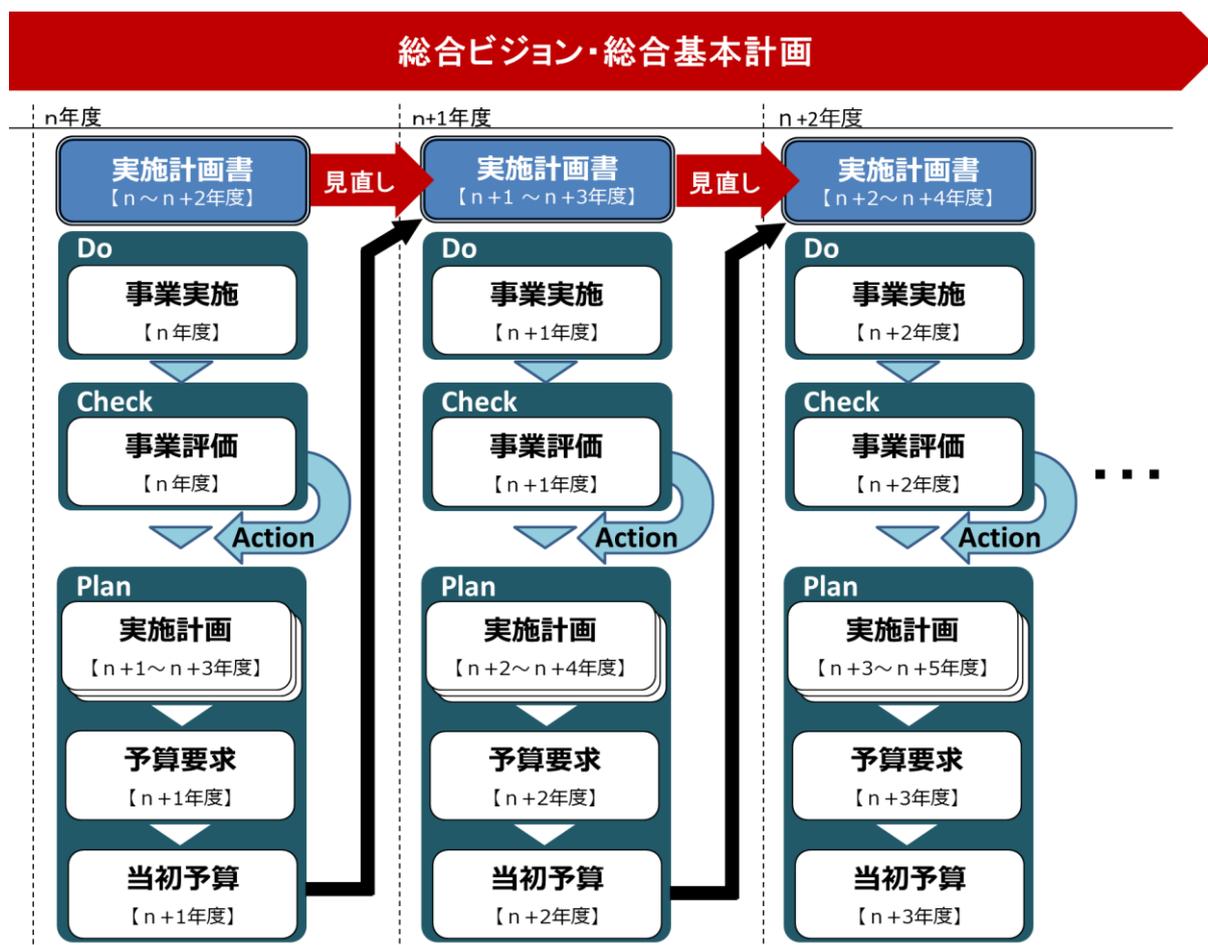
2. 第5期実施計画の期間

第5期実施計画の期間は、2022（令和4）年度から2024（令和6）年度までの3年間とします。



3. 実施計画によるPDCAサイクル

総合基本計画の着実な推進に向けては、社会情勢の変化等を踏まえながら、毎年度向こう3年間の実施計画を作成(Plan)するとともに、事業実施(Do)、事業評価(Check)、改善(Action)までの一連の流れを不断のサイクルとして繰り返すことで、業務を継続的に改善しながら、めざすべきまちの将来像の実現につなげていきます。



4. 計画書の掲載事業

実施計画書では、各施策の展開がより明確になるよう、施策を構成する事業のうち、新たに取り組む事業（新規事業）や内容を充実して取り組む事業（拡充事業）、内容を見直して取り組む事業（見直し事業）のほか、主な継続事業について掲載することとしています。

5. 各施策における SDGs の反映

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、全世界共通の国際目標として、2015 (平成 27) 年に国連サミットで採択されたもので、2030 (令和 12) 年に達成すべき 17 のゴールと 169 のターゲットが掲げられています。

SDGs の実現に向けては、国レベルだけでなく、市民の暮らしに密着した地域発の取組が重要であるとともに、環境・社会・経済を一体的に推し進め、「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」とする SDGs の理念は、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体においても、非常に共感できるものであり、市が進める施策・事業と親和性が高いものと考えられます。

そこで、この SDGs の要素を市政に取り入れ、最大限に活用することで、総合ビジョンに掲げた「ひとがきらめく！ 自然がきらめく！ 歴史がきらめく！ みんなでつくる笑顔あふれるまち 富田林」の実現につなげるため、2019 (令和元) 年 7 月に「富田林版 SDGs 取組方針」を策定し、下記のとおり本市が独自で取り組む 3 つの基本的方向を定めています。



この取組方針における基本的方向 2 「市政における SDGs 要素の反映」に基づき、市政の各分野に関連する SDGs のゴールを整理することで、SDGs の達成も見据えながら、各施策・事業の着実な推進につなげていきます。

なお、本実施計画書の各施策ページには、関連する SDGs のゴールロゴを掲載していません。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



各施策とSDGsの目標との関係整理

SDGsゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基本的施策1																●	●
基本的施策2																●	●
戦略的施策1																●	●
個別施策1			●													●	●
個別施策2			●	●				●								●	●
個別施策3				●												●	●
個別施策4				●				●								●	●
個別施策5				●												●	●
個別施策6			●	●												●	●
個別施策7		●	●													●	●
個別施策8			●													●	●
個別施策9			●													●	●
個別施策10			●													●	●
個別施策11			●	●				●		●						●	●
個別施策12	●	●	●	●				●								●	●
個別施策13	●	●		●						●						●	●
個別施策14				●	●			●								●	●
個別施策15				●						●						●	●
個別施策16								●	●	●						●	●
個別施策17								●	●	●		●				●	●
個別施策18		●						●		●		●				●	●
個別施策19								●				●				●	●
個別施策20																●	●
個別施策21											●		●			●	●
個別施策22											●					●	●
個別施策23			●								●					●	●
個別施策24											●					●	●
個別施策25						●					●					●	●
個別施策26											●					●	●
個別施策27			●								●					●	●
個別施策28						●	●				●	●	●	●	●	●	●
個別施策29											●			●	●	●	●
経営的施策1																●	●
経営的施策2																●	●
経営的施策3																●	●

6. 実施計画書の見方

各施策に関連するSDGs（持続可能な開発目標）のゴールを記載しています。

基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり

基本施策

1 参加と協働のためのしくみづくり

関連するSDGs



総合基本計画策定時（2016（H28）年度）に設定した、各施策の進め方や目的など、基本的な方向性を記載しています。

基本的な方向

まちづくりや、適切な情報公開・発信を推進するとともに、まちづくりのさまざまな主体によるネットワークの充実を図ります。

めざすべき姿

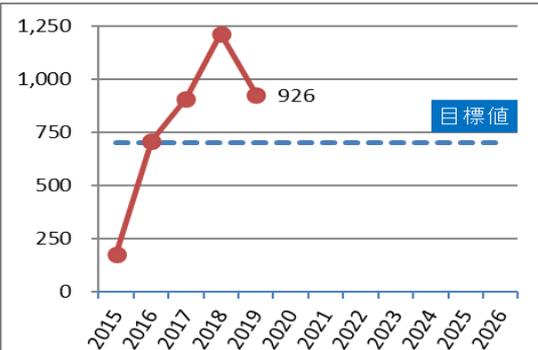
まちづくりについて話し合う場が身近にあり、一人ひとりが地域の抱える課題の解決に向けて考えることされています。また、必要とする情報を知ることができる環境が整い、市民が、まちづくりを進める人材として、地域の中で活躍しています。

総合基本計画策定時（2016（H28）年度）に設定した、各施策の推進によりめざすべきまちの姿を記載しています。

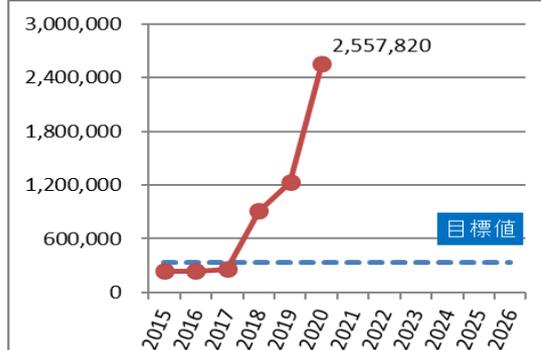
施策に関する指標

	単位	現状値	目標値
① まちづくりについて考える機会への参加者数	人	926 H31(2019)年度	700 R8(2026)年度
② 市ウェブサイトの閲覧件数	件	2,557,820 R2(2020)年度	330,000 R8(2026)年度

①まちづくりについて考える機会への参加者数



②市ウェブサイトの閲覧件数



総合基本計画策定時（2016（H28）年度）に設定した、各施策の成果を評価するための主な指標を記載しています。
また、直近の現状値を記載するとともに、指標の推移をグラフで表しています。

目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
	人権・市民協働課	ワークショップ「市民会議Mira-ton」を引き続き開催し、市民参加にの発掘・育成につなげます。また、元気なまち民提案型協働事業)を通じて、市民との協働に地域活性化				
						実績値 -
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 市民相談事務	都市魅力課	市民参加や協働の促進を目的に、登録者から市政に対する意見聴取などを行う「わがまちパートナー」制度をはじめ、市民アンケートの実施や意見ポストの設置、窓口相談、市民と市長が話す機会づくりなど、引き続き広聴・相談機会の確保に努めるとともに、いただいた意見や対応状況について市ウェブサイトで公開する「市民の声の見える化」を進めます。				
	R3予算(千円)					
	7,506					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R5年度	目標値	1,000
継続	市民相談・専門相談の相談件数	件	R2年度	目標値	1,000	
				実績値	2,152	
				実績値	2,557,820	

担当課
事業の予算を所管する担当課を記載しています。事業の中には、複数の課が連携して取り組むものもあります。(2021 (R3) 年 4 月時点の機構を反映しています。)

計画期間における事業の方向性
計画期間 (3 年間) における取組内容や事業の方向性を記載しています。

区分 (対前年度)
前年度と比較した事業の方向性について、次のいずれかを記載しています。
・新規…新たにに取り組む事業
・拡充…内容を充実して取り組む事業
・見直し…内容を見直して取り組む事業
・継続…引き続き取り組む事業

成果指標
総合基本計画策定後 (2017 (H29) 年度) に設定した、事業の成果を評価するための主な指標を記載しています。直近の現状値 (目標値・実績値) を記載するとともに、計画期間における目標値を示しています。

実施計画の計画期間に取り組む主な事業を、事業番号順に掲載しています。

主な掲載事業の視点
第5期実施計画においては、市長の所信表明である「市民とともにつくる。市民が幸せになる。市民本位の市政」の実現に向け、「子育て・教育」の増進及びコロナ禍で希薄化した人や地域の繋がりを取り戻すための「まちの活性化」に重点を置いた掲載としています。

基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり	
基本施策	1 参加と協働のためのしくみづくり



基本的な方向

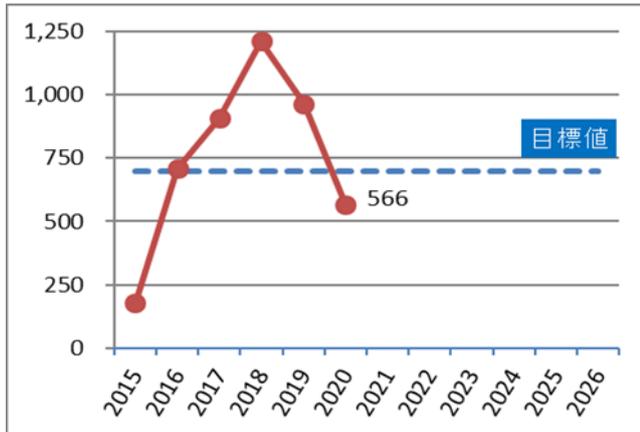
市民がまちづくりに参加しやすい環境づくりや、適切な情報公開・発信を推進するとともに、まちづくりの担い手となる地域人材の育成や、さまざまな主体によるネットワークの充実を図ります。

めざすべき姿

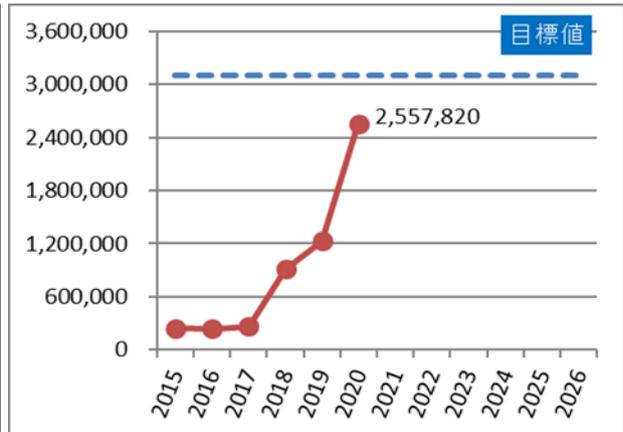
まちづくりについて話し合う場が身近にあり、一人ひとりが地域の抱える課題の解決に向けて考えることで、市民の想いがまちづくりに活かされています。また、必要とする情報を知ることができる環境が整い、話し合いや交流、学習の場に参加した市民が、まちづくりを進める人材として、地域の中で活躍しています。

施策に関する指標			
指標名	単位	現状値	目標値
① まちづくりについて考える機会への参加者数	人	566 R2(2020)年度	700 R8(2026)年度
② 市ウェブサイトの閲覧件数	件	2,557,820 R2(2020)年度	3,100,000(※) R8(2026)年度

①まちづくりについて考える機会への参加者数



②市ウェブサイトの閲覧件数



※新ウェブサイト導入(2018年度)に伴い、目標値を上方修正

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 市民公益活動推進事務	人権・市民協働課	市民公益活動や行政と市民との協働のあり方を再検討し、市民公益活動推進指針の改定を行うとともに、地域のさらなる活性化に向けて、元気なまちづくりモデル事業に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	1,579					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	見直し	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 情報公開事業	都市魅力課	市民のみなさんが安心して暮らせるよう、個人情報の保護に取り組みながら、市の保有する情報の積極的な公開により、行政に対する理解と信頼を得られるよう努めます。また、令和5年4月の改正個人情報保護法の施行に伴い、本市条例・規則の改廃や関係例規の整備、個人情報ファイル簿の作成及び公表を行います。				
	R4予算(千円)					
	3,150					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	拡充	情報開示請求に対する情報開示率	%	R2年度	目標値	-
				実績値	94.2	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 広報シティセー ルス事業	都市魅力課	ウェブサイトやSNSなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組みます。また、広報誌は、配布事業者による店舗・事務所も含めた全戸配布を開始します。さらに、「ふるさと富田林応援団」への登録を増やすとともに、魅力発信等に協力してもらえる仕組みづくりを行います。加えて、公民連携デスクを通じて、企業との連携やネットワーク構築によるまちづくりを推進します。				
	R4予算(千円)					
	37,554					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,900,000
	見直し	市ウェブサイトの閲覧件数	件	R2年度	目標値	2,500,000
				実績値	2,557,820	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 市民相談事務	都市魅力課	市民参加や協働の促進を目的に、登録者から市政に対する意見聴取などを行う「わがまちパートナー」制度をはじめ、市民アンケートの実施や意見ポストの設置、窓口相談、市民と市長が話す機会づくりなど、引き続き広聴・相談機会の確保に努めるとともに、いただいた意見や対応状況について市ウェブサイトで公開する「市民の声の見える化」を進めます。				
	R4予算(千円)					
	9,816					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,000
	継続	各種相談総件数	件	R2年度	目標値	1,000
				実績値	2,441	

基本施策 主体的な市民参加と協働によるまちづくり

基本施策

2 参加と協働によるまちづくり



基本的な方向

市民公益活動や地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援を行うとともに、地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進し、参加と協働を基本としたまちづくりをあらゆる分野で進めます。

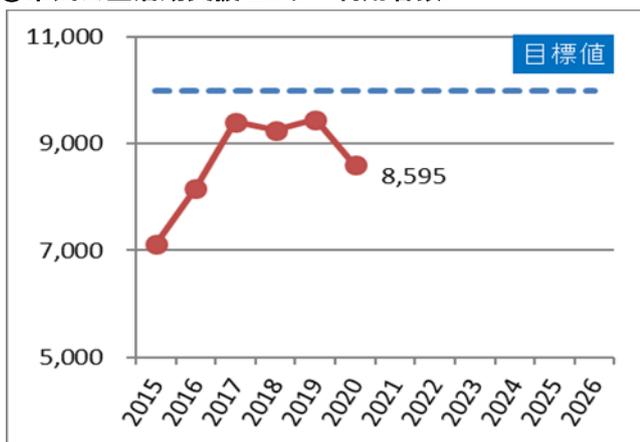
めざすべき姿

多くの市民が地域の課題解決に向けた活動や町会・自治会の活動に参加することで、地域の絆が強くなり、「自分たちのまちは自分たちで良くする」という考えを持った人たちがまちづくりを進めています。また、NPOや地域の団体、大学や企業などが得意分野を活かしながら、市民とともに活動することで、地域づくりのための多くの交流やアイデアが生まれるまちとなっています。

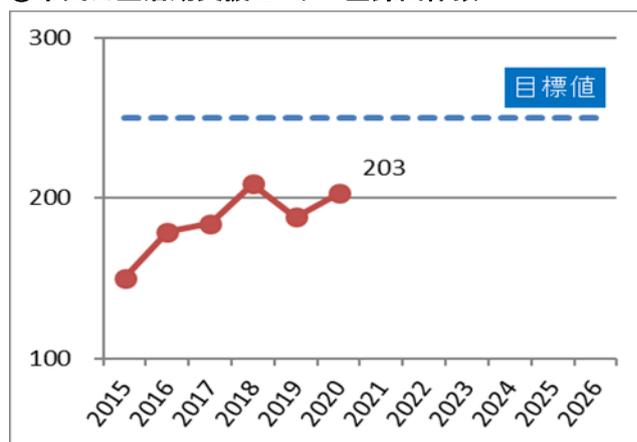
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民公益活動支援センター利用者数	人	8,595 R2(2020)年度	10,000 R8(2026)年度
② 市民公益活動支援センター登録団体数	団体	203 R2(2020)年度	250 R8(2026)年度

①市民公益活動支援センター利用者数



②市民公益活動支援センター登録団体数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	市民公益活動支援センター管理運営事務	人権・市民協働課	市民公益活動支援センターを通じて、NPOをはじめとする市民活動団体の活動の活性化や団体間のネットワーク構築、地域情報の発信に取り組めます。また、市民ワークショップ「Mira-ton」は、市民公益活動支援センターが中心となり、これからの市民公益活動を担う人材の育成を図る新たな取組として「Mira-ton」(ダッシュ)へと発展させて実施します。				
		R4予算(千円)					
		7,846					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	10,000
		見直し	市民公益活動支援センター利用者数	人	R2年度	目標値	10,000
				実績値	8,595		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	市民公益活動推進事務(再掲)	人権・市民協働課	市民公益活動や行政と市民との協働のあり方を再検討し、市民公益活動推進指針の改定を行うとともに、地域のさらなる活性化に向けて元気なまちづくりモデル事業に取り組めます。				
		R4予算(千円)					
		1,579					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	37
		継続	市内NPO団体数	団体	R2年度	目標値	36
				実績値	37		

戦略的施策 新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成

戦略的施策

1

都市魅力の創生と効果的な情報発信

関連するSDGs



基本的な方向

産官学金労言（産業・行政・教育・金融・労働・メディア）の各分野が相互に連携・協力し、市民とともに暮らしやすさや子育てのしやすさ、訪れる楽しみ等、本市の魅力の発掘と磨き上げを行い、その魅力を都市ブランドとして市内外に効果的に発信するとともに、市民のふるさと富田林に対する愛着を醸成する取組を分野横断的に推進します。

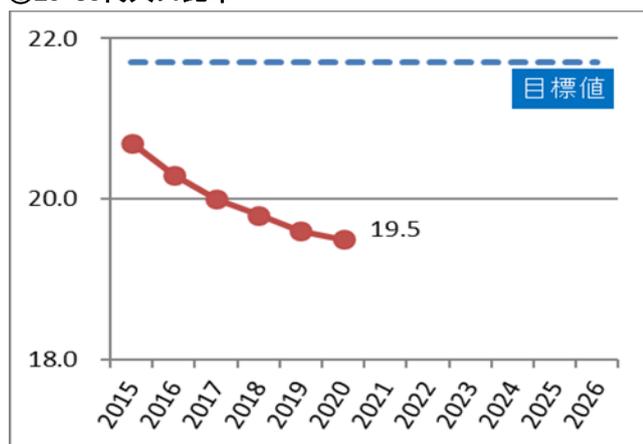
めざすべき姿

多くの人が、暮らしやすさや子育てのしやすさに魅力を感じ、新たに移り住んできています。また、観光客にとって訪れる楽しみがたくさんあり、訪れてみたい、住んでみたい魅力的なまちに、市民にとって誇りに思えるふるさととして、住み続けたいまちとなっています。

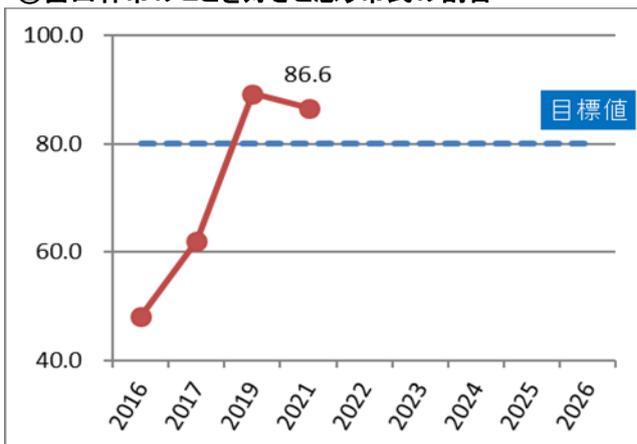
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 20・30代人口比率	-	19.5 R2(2020)年度	21.7 R8(2026)年度
② 富田林市のことを好きと思う市民の割合	%	86.6 R3(2021)年度	80.0 R8(2026)年度

①20・30代人口比率



②富田林市のことを好きと思う市民の割合



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 広報シティセールス事業(再掲)	都市魅力課	ウェブサイトやSNSなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組みます。また、広報誌は、配布事業者による店舗・事務所も含めた全戸配布を開始します。さらに、「ふるさと富田林応援団」への登録を増やすとともに、魅力発信等に協力してもらえる仕組みづくりを行います。加えて、公民連携デスクを通じて、企業との連携やネットワーク構築によるまちづくりを推進します。				
	R4予算(千円)					
	37,554					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	300
	見直し	ふるさと応援団登録者数	団体	R2年度	目標値	30
				実績値	37	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育	
(1) 親と子を支える子育て環境づくり	
個別施策	
1	結婚・妊娠・出産の支援

関連するSDGs



3 すべての人に健康と福祉を



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

基本的な方向

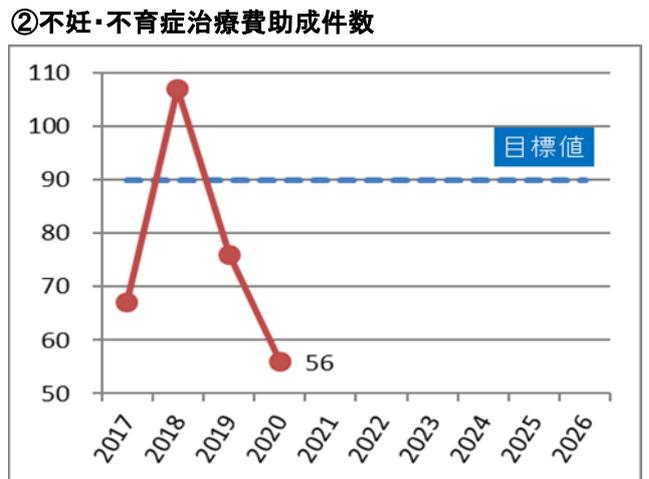
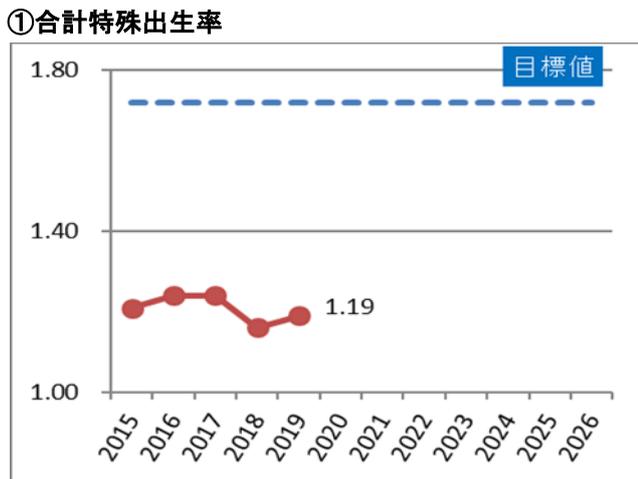
若い世代に子どもを産み育てる地として選ばれるまちとなるよう、結婚から妊娠、出産までを切れ目なく支援し、若い世代の「子どもを持ちたい」という希望をかなえます。

めざすべき姿

多くの若い世代が、結婚に対して希望を持ち、富田林市を縁にたくさんの新しい家庭が生まれています。また、妊娠・出産についてのさまざまな支援を受けることで、子どもを持ちたいと願う誰もが安心して出産できるまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 合計特殊出生率	%	1.19 H31(2019)年度	1.72 R8(2026)年度
② 不妊・不育症治療費助成件数	件	56 R2(2020)年度	90 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業

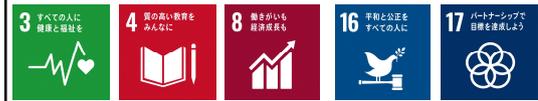
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 母子保健事業	健康づくり推進課	不育症治療費等に係る助成について、治療段階から申請を可能とするとともに、多胎児産婦への支援として、産後ケア事業の多胎に係る自己負担を廃止します。また、新生児聴覚検査費用を新たに助成し、聴覚障がい早期発見を図るとともに、3歳6か月児健診において、小型屈折検査機器を導入し、弱視の検出率向上に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	110,631					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	98
	拡充	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	%	R2年度	目標値	97
				実績値	95.4	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 住宅取得転入促進事業	住宅政策課	親世帯との近居・同居を目的とし、本市内に転入してきた若者世帯に対する住宅取得補助制度について、祖父母世帯との近居・同居や、パートナーシップ宣誓者の方も新たに対象とすることで、さらなる移住の促進を図るとともに、子育てや介護等において、世代間で支え合い、互いに安心して暮らせる環境づくりにつなげます。				
	R4予算(千円)					
	17,915					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	400
	拡充	本給付金制度を活用された転入世帯数	世帯	R2年度	目標値	200
				実績値	234	

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育
 (1) 親と子を支える子育て環境づくり

個別施策

2 子ども・子育て支援の充実

関連するSDGs



基本的な方向

本市がこれまで積極的に進めてきた子育て支援施策のさらなる充実や、子育て・定住の地としての魅力を高める多様なニーズに応じた保育サービスの提供、子育て家庭に対する包括的な支援体制づくりを行うとともに、地域で子育てを支える取組の充実を図ります。

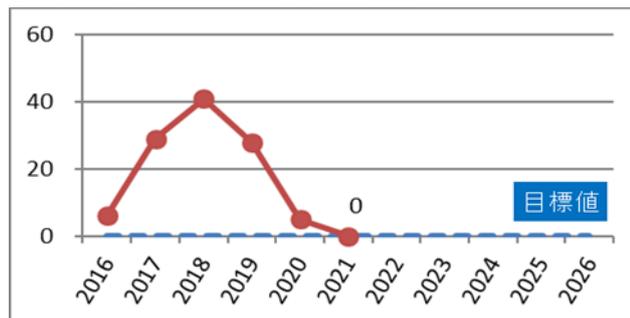
めざすべき姿

子育て家庭が安心して子どもを預けられる場所があることで、希望する子育てや働き方が可能となっています。また、子育て家庭への支援が行き届き、すべての子どもが健やかに成長しています。さらに、多くの人が子育て支援や交流の場に協力・参加することで、地域ぐるみで子育てを応援するまちとなっています。

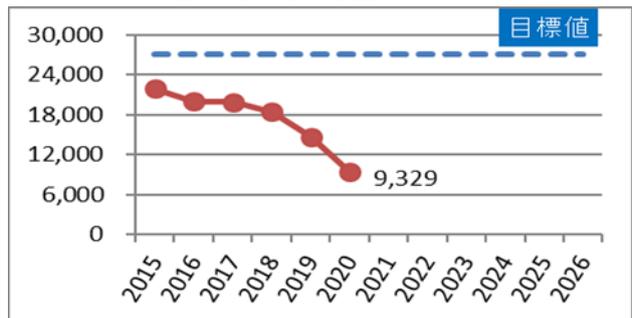
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 保育所の待機児童数(4月1日時点)	人	0 R3(2021)年度	0 R8(2026)年度
② つどいの広場・地域子育て支援センターの利用者数	人	9,329 R2(2020)年度	27,000 R8(2026)年度
③ 利用者支援事業の実施箇所数	箇所	2 R2(2020)年度	3 R8(2026)年度

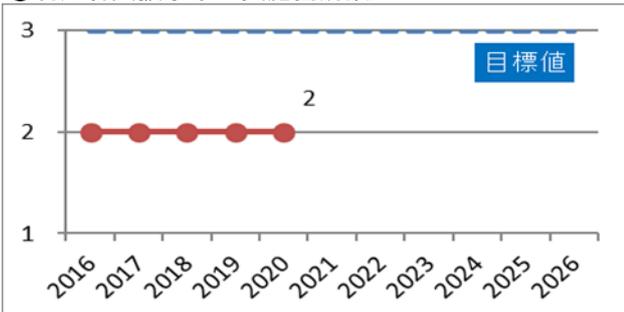
①保育所の待機児童数(4月1日時点)



②つどいの広場・地域子育て支援センターの利用者数



③利用者支援事業の実施箇所数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 民間保育所等運営費負担金事業	こども未来室	令和4年度にくみの木こども園なかの（認定こども園）が新たに開園するとともに、既存保育所の富田林桜げんき園については、認定こども園に移行します。また、令和5年度の保育所1園の新設に向けた取組を進めます。				
	R4予算(千円)					
	1,859,345					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
2 民間保育所等運営費補助事業	こども未来室	民間保育施設における保育士について、賃金引き上げによる処遇改善を行う施設に対し、増額分の費用補助を新たに実施します。また、紙おむつの回収を実施する民間保育施設に対して新たに補助を行います。				
	R4予算(千円)					
	316,259					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	18,960
	拡充	市内民間保育所延べ入所児童数	人	R2年度	目標値	15,300
				実績値	23,773	
3 保育所一般運営事務	こども未来室	公立保育園の業務及びサービス向上のため、ICT環境を整備し、非接触の登降園システムの構築を進めるとともに、保育施設における紙おむつの回収を新たに実施し、保護者負担の軽減を図ります。また、金剛保育園において、基幹園としての医療的ケア児の受け入れや、療育的支援、病児保育の実施に向けた定員の見直しなど、段階的に受入体制を整備します。				
	R4予算(千円)					
	459,918					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
4 認可保育施設整備補助事業	こども未来室	令和4年度に、市立幼稚園・保育所のあり方基本方針の素案を示します。また、年間を通した待機児童の解消に向けて、保育ニーズを見極めながら、新たな民間認可保育施設の誘致・整備に引き続き取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	241,777					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,689
	継続	民間保育施設認可定数	人	R2年度	目標値	1,338
				実績値	1,275	
5 一時預かり事業	こども未来室	一時預かり事業について、引き続き民間保育施設で実施し、保護者が一時的に家庭で保育できなくなった場合や育児に伴う心理的・肉体的負担の軽減を図ります。また、新生児が生まれた世帯に対して、一時預かりの「お試しチケット」を配布し、さらなる保護者負担の軽減と利用者の増加を図ります。				
	R4予算(千円)					
	37,517					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	6,500
	拡充	年間延べ利用人数	人	R2年度	目標値	6,500
				実績値	1,516	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 要保護児童対策地域協議会事業	こども未来室	子ども家庭総合支援拠点を中心に関係機関による連携を密にし、児童虐待予防や早期発見に努め、適切な支援を実施します。また、全国統一の情報共有システムと連携し、自治体間や児童相談所との情報共有を日常的かつ迅速に行います。さらに、ヤングケアラー支援の取組として、小中学校職員等を対象とした研修を新たに開催し、ヤングケアラーの早期発見と支援につなげます。				
	R4予算(千円)					
	9,720					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,000
	拡充	児童虐待対応件数	件	R2年度	目標値	1,000
				実績値	967	
7 親支援事業	こども未来室	子育てにしんどさを感じている親に対して「マイツリーペアレンツプログラム」を実施し、親のセルフケア力と問題解決力の回復を支援し、親子関係の再統合や修復を図ります。また、新たに児童虐待予防の視点を盛り込んだ保護者向けプログラムの開催や、担当職員におけるプログラム実践者養成講座の受講等、体罰によらない子育ての支援に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	2,142					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	10
	拡充	マイツリーペアレンツプログラム参加者数	人	R2年度	目標値	10
				実績値	-	
8 子育て支援ネットワーク事業	こども未来室	地域の保育士と身近で触れ合える機会を継続的に開催するために、保育士を中心とした未就園児・妊婦に対する訪問事業や園庭開放等を引き続き実施し、妊娠期から出産、育児、子育て期まで切れ目のない支援を行います。				
	R4予算(千円)					
	705					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	10,000
	継続	園庭開放延べ利用者数	人	R2年度	目標値	10,000
				実績値	1,817	
9 学童クラブ事業	こども未来室	学校長期休業期間においても、平日と同じ時刻に児童を家から送り出せるよう、学童クラブの開始時間を8時30分から8時へ変更する開設時間の延長について、モデル実施に取り組み、今後の検証を進めます。				
	R4予算(千円)					
	302,884					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,122
	拡充	学童クラブ利用児童数	人	R2年度	目標値	1,122
				実績値	1,169	
10 子育て世帯等臨時特別支援事業	こども未来室	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金について、所得制限により支給対象外となった18歳までの児童のいる子育て世帯に対し、市独自施策として、児童1人あたり10万円を支給します。				
	R4予算(千円)					
	128,467					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	新規	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
11	子ども医療費助成事業	福祉医療課	18歳までを対象とした、通院・入院に係る子ども医療費助成を継続し、引き続き子どもたちの健やかな成長を支援します。				
		R4予算(千円)					
		353,888					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	24,281
		継続	対象者1人当たりの助成額	円	R2年度	目標値	27,896
				実績値	21,280		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
12	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	市立小学校において、地域ボランティア指導員の協力を得ながら、放課後におけるスポーツ・文化活動や交流活動などを実施します。また、放課後子ども教室の枠組みによる学習支援「とんとんスタディ」について、コロナの影響等によりニーズが高まる中、対象校を拡大して実施します。				
		R4予算(千円)					
		4,744					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	12,000
		拡充	放課後子ども教室参加児童数	人	R2年度	目標値	12,000
				実績値	970		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
13	親子ふれあい事業	児童館	親子で一緒に体験できる「たのしい科学」などの講座を通して、子育て支援と親子間の交流を図り、子どもの成長促進につなげます。また、現行の親子ふれあい事業について、児童館だけでなく、利用者がより身近に参加できるよう、すばるホールやかがりの郷などの公共施設においても開催します。				
		R4予算(千円)					
		767					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,000
		見直し	親子ふれあい事業の延べ参加人数	人	R2年度	目標値	2,000
				実績値	492		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
14	乳幼児クラブ事業	児童館	就学前の乳幼児と保護者を対象に、親子で楽しめるワークショップなどを行い、子どもとの関わり方を学ぶとともに、保護者同士の交流につなげます。				
		R4予算(千円)					
		1,966					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	100
		継続	乳幼児クラブに参加した保護者の満足度	%	R2年度	目標値	100
				実績値	100		

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育
 (2) 未来の担い手を育む教育

個別施策

3 学校園における教育の充実



基本的な方向

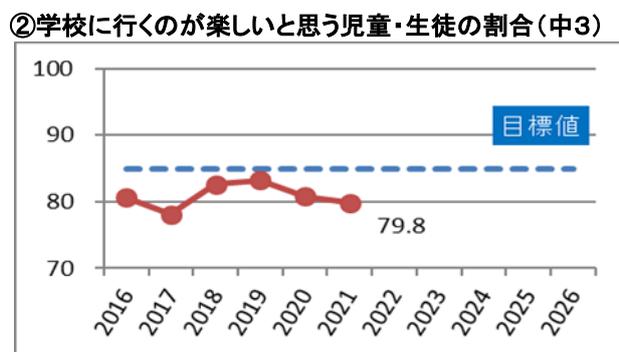
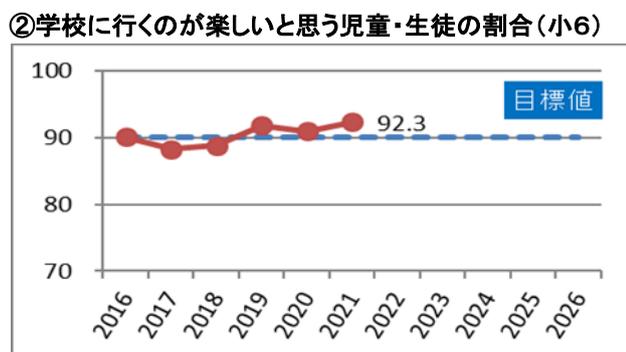
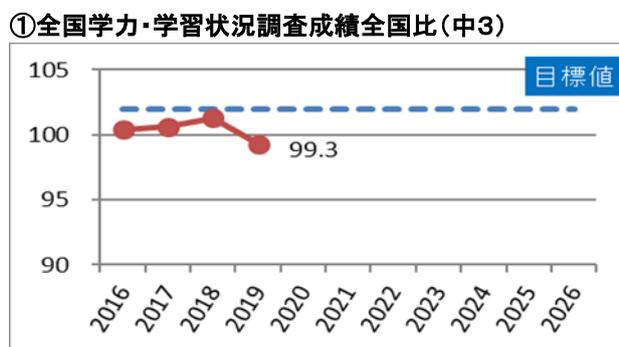
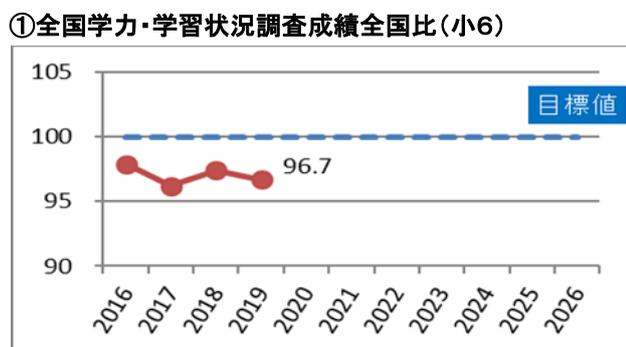
学校園において、子どもたちが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身につけ、自らの可能性を広く伸ばすことができるよう、主体的に学び、活かしていくことができる知識や技能を身につける教育を推進します。

めざすべき姿

子どもが安全・安心で、快適な環境で教育を受けることで、子どもの元気な笑顔がまちじゅうにあふれています。また、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、子どもが自ら考え、行動に移すことができる能力を身につけることで、子どもたちの未来への可能性が広がり、夢の実現を後押しするまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 全国学力・学習状況調査成績全国比	%	小6: 96.7 中3: 99.3 H31(2019)年度	小6: 100以上 中3: 102以上 R8(2026)年度
② 学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	小6: 92.3 中3: 79.8 R3(2021)年度	小6: 90以上 中3: 85以上 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業									
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性							
1 生徒指導事業	教育指導室	児童生徒や保護者の支援のため、スクールソーシャルワーカーの配置人数を増員し、配置中学校区におけるさらなる活用を図ります。また、ICT支援員を派遣し、ICTを活用した授業のさらなる充実を図ります。さらに、学習サポーターや部活動指導員、校内適応指導教室指導員等の支援人材を学校に派遣し、児童生徒及び学校への支援を進めるとともに、フリースクール等との連携も進めます。	R4予算(千円)	92,497	R6年度	目標値	87.0		
	区分(対前年度)					成果指標	単位	目標値	85.0
	拡充					学校に来るのが楽しいと思う児童・生徒の割合(小6・中3)	%	R2年度	実績値
	2 きめ細かな指導推進事業	教育指導室	個に応じたきめ細かな指導を行い、本市の子どもたちに、これからの時代に求められる資質・能力を育成するため、引き続き小学校6年生、中学校3年生で、本市独自の教員加配による少人数指導を行います。また、令和4年度から実施する小中一貫校にも教員を加配し、中学校教員により小学校で授業等を行うことで、教育内容の充実を図ります。	R4予算(千円)	45,500	R6年度	目標値	100.4	
		区分(対前年度)					成果指標	単位	目標値
拡充		全国学力・状況調査成績全国比(小6・中3の平均)					%	R2年度	実績値
3 教育研究事業		教育指導室	新しい教育課題や学校園を取り巻く喫緊の課題、専門性の高い内容について、専門家の活用も進めながら研修を実施し、教育の質の向上に取り組みます。また、9年間の義務教育の中でよりよく子どもたちが成長するために小中一貫教育に係る研究及び取組を進めます。さらに、ESDの実践を進めるとともに、市立中学校の生徒会活動に関しては、広報誌の「子どもページ」等により情報発信を行います。	R4予算(千円)	16,140	R6年度	目標値	245	
		区分(対前年度)					成果指標	単位	目標値
	継続	夏季教職員研修会参加割合					%	R2年度	実績値
	4 小・中学校教育用パソコン管理事業	教育指導室	GIGAスクール構想により整備された学習用タブレット端末を用いた授業支援ソフトの活用や、デジタルドリル教材による学習を進めることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育の充実や個別最適な学びの実現をめざします。また、持ち帰り学習の充実や授業におけるICT支援員の活用により、これからの時代に求められる資質・能力の育成に取り組みます。	R4予算(千円)	6,266	R6年度	目標値	100.7	
		区分(対前年度)					成果指標	単位	目標値
継続		全国学力・学習状況調査成績全国比(算数・数学)					%	R2年度	実績値
5 小・中学校管理事務		教育総務課	教職員の働き方改革の推進や子どもたちへのよりきめ細かな対応に向け、令和4年度に統合型校務支援システムを導入するなど、ICT環境の整備を進めます。	R4予算(千円)	366,441	R6年度	目標値	-	
		区分(対前年度)					成果指標	単位	目標値
	見直し	-					-	R2年度	実績値

目標実現のための主な施策・事業

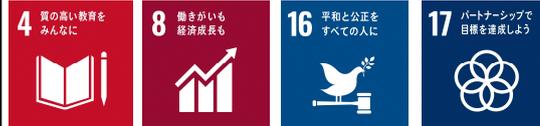
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	小・中学校施設改修事業	教育総務課	地域活動をはじめとした学校・地域・家庭・行政の協働をさらに進めるため、学校教育施設の余裕教室等を有効活用し、令和4年度は富田林小学校、久野喜台小学校、寺池台小学校、向陽台小学校、明治池中学校の5校に、「地域総合拠点」を順次開設します。				
		R4予算(千円)					
		163,220					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	0
		拡充	施設の瑕疵等による事故発生件数	件	R2年度	目標値	0
				実績値	0		
7	小・中学校大規模改造事業	教育総務課	生徒が、明るく清潔で、快適に使い続けることが出来る学校トイレの環境づくりに向け、トイレの洋式化・乾式化を進めます。				
		R4予算(千円)					
		115,950					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	41.99
		拡充	トイレの洋式化率	%	R2年度	目標値	33.71
				実績値	33.71		
8	幼稚園空調設備整備事業	教育総務課	幼稚園で過ごす子どもたちの安全と健康を守り、集中して教育活動に取り組めるよう、令和4年度において、保育室に空調設備を整備します。				
		R4予算(千円)					
		77,880					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	100
		拡充	空調設備整備率	%	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
9	幼稚園教育推進事業	教育指導室	子どもたちにとって適した集団の規模についての検証を目的に、市内を3つの地域に分けるとともに、送迎バスを増台し、複数園の同学年同士による合同保育の積極的な実施につなげます。				
		R4予算(千円)					
		91,787					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育
 (2) 未来の担い手を育む教育

個別施策

4 未来の担い手の育成

関連するSDGs



基本的な方向

子ども・若者が心身ともに健やかに成長し、社会の一員として活躍できるよう、家庭・地域・学校・行政等の連携を深め、子ども・若者の居場所づくりや主体的な活動の促進を図ります。

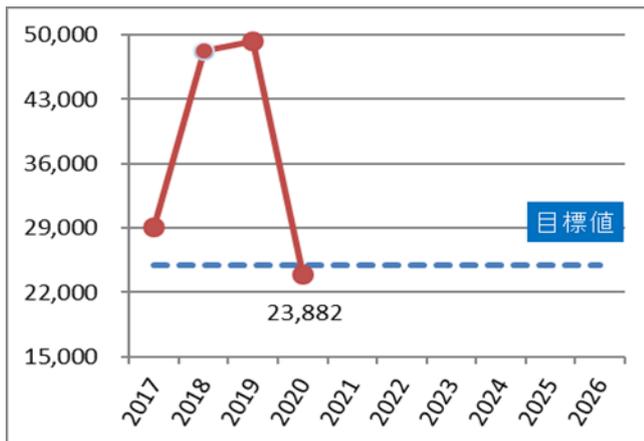
めざすべき姿

若者が地域でのさまざまな体験・交流の場へ参加することで、豊かな心や夢と希望を持ち、地域を支える新たな担い手やリーダーとなって活躍しています。また、ひきこもりやニートなど困難を抱える子ども・若者が、地域で気軽に相談でき、支援を受けることができる場所があり、自立に向けた道が開かれたまちとなっています。

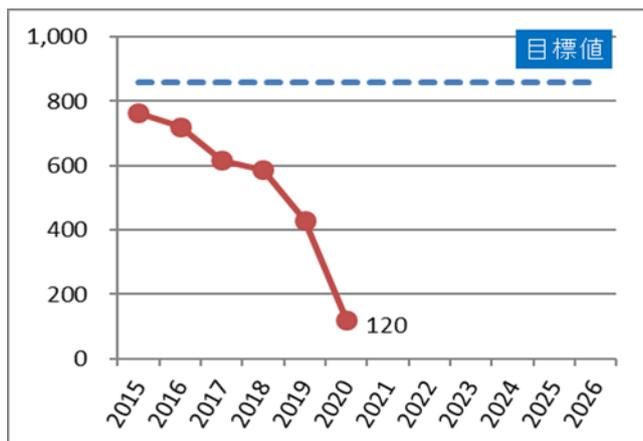
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① きらめき創造館の利用者数	人	23,882 R2(2020)年度	25,000 R8(2026)年度
② 青少年活動リーダー養成事業参加者数	人	120 R2(2020)年度	860 R8(2026)年度

①きらめき創造館の利用者数



②青少年活動リーダー養成事業参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	若者施策推進事業	生涯学習課	若者が活躍できるまちづくりを推進するため、公募により富田林に関わりのある若者を委員として委嘱のうえ、本市に必要な施策や取組について検討し、市長に提案を行う若者会議を開催します。また、任期が終了した委員からOB・OG会（仮称）を創設し、実現される提案施策の事業運営や協力などを行います。				
		R4予算(千円)					
		1,632					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8
		拡充	若者会議からの提案施策数	件	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	若者会議提案事業	生涯学習課	第一期若者会議からの提案を参考に「ウォールアートの製作」や「Instagramを活用したまちの魅力発信」などの事業を、若者との協力により実施します。				
		R4予算(千円)					
		4,924					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8
		新規	提案施策の実現件数	件	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	小・中学生育成事業	児童館	小学生の放課後等における居場所づくりに取り組むとともに、遊びやスポーツ・文化的な活動を通じて、健全な育成に努めます。また、中学生の心身を育成し情操を養うため、スポーツや科学的・文化的・芸術的活動などの講習・講座を実施します。				
		R4予算(千円)					
		5,904					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	19,000
		継続	小・中学生活動参加延べ人数	人	R2年度	目標値	17,000
				実績値	9,702		

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育
 (3) 学び続けるための環境づくり

個別施策

5 生涯を通じた学びの推進



基本的な方向

市民の多様な学びに対するニーズに対応するとともに、指導者の育成や関係機関とのネットワークの充実により、誰もが学び、活かすことができる生涯学習環境づくりを推進します。

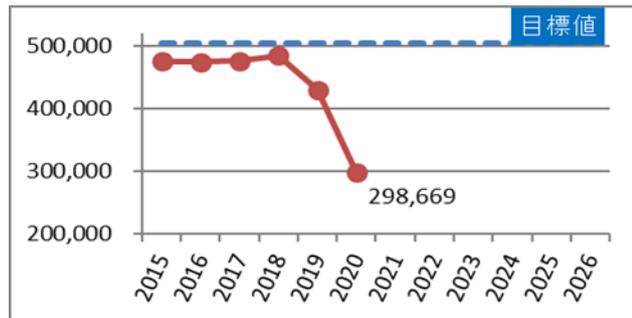
めざすべき姿

市民が興味・関心のあるさまざまな分野で、活動や仲間づくりの場が提供されていることで、生涯を通じて楽しみながら学び続けています。また、学びを通じて得た知識や能力を活かし、市民が元気にさまざまな場面で活躍できるまちとなっています。

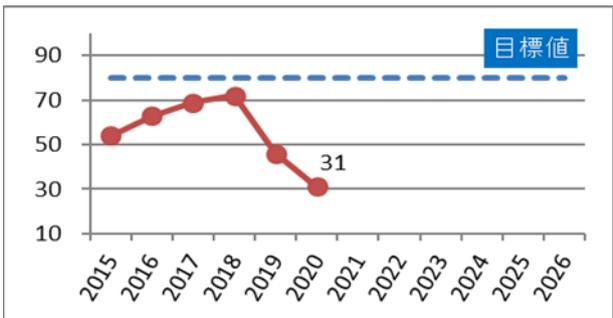
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 生涯学習施設の利用者数	人	298,669 R2(2020)年度	505,000 R8(2026)年度
② 公民館における市民企画の講座開催回数	回	31 R2(2020)年度	80 R8(2026)年度
③ 図書館資料の貸出数	件	557,634 R2(2020)年度	822,000 R8(2026)年度

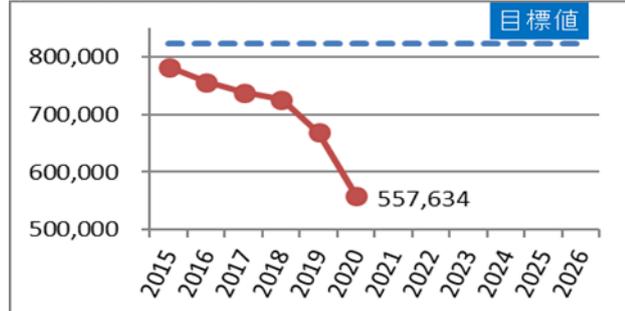
①生涯学習施設の利用者数



②公民館における市民企画の講座開催回数



③図書館資料の貸出数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	生涯学習推進事業	生涯学習課	富田林市生涯学習推進プランに基づき、市民が生涯に渡り学び続けることができる環境や、学びを通じて得た知識・能力等を活用できる機会の創出を図るため、「きらめき大学」や「富田林まちかどミュージアム」を引き続き実施します。また、オンライン講座の企画・研究を進め、コロナ禍により施設の利用が制限される中でも、市民が生涯学習に取り組める機会を創出します。				
		R4予算(千円)					
		5,169					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	25,000
		継続	きらめき創造館利用者数	人	R2年度	目標値	25,000
				実績値	23,882		
2	文化振興一般事務	生涯学習課	市民や関係団体等からの意見を伺いながら、現状の取組や実態を把握し、本市の文化芸術のあり方を示すとともに、観光や国際交流、教育など他分野との有機的な連携により文化芸術のさらなる振興を図るため、文化芸術振興ビジョンを策定します。				
		R4予算(千円)					
		4,800					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		新規	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
3	中央公民館事業 金剛公民館事業 東公民館事業	中央公民館	公民館においては、今日的テーマや地域に密着した学習課題を取り入れた講座等に取り組むとともに、本市の新たな魅力を発見する「東西・南北市民交流講座」等を実施します。また、公民館主催講座などをYouTubeなどのSNSを活用して情報発信します。さらに、各公民館の予約がオンラインで行える公共施設予約システムを導入し、市民の利便性や事務の確実性、効率化を高めます。				
		R4予算(千円)					
		28,349					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	77
		拡充	公民館における市民企画の講座開催回数	回	R2年度	目標値	69
				実績値	31		
4	中央図書館事業	中央図書館	乳幼児から高齢者まですべての利用者が安心・安全に図書館を利用できるように読書環境の整備に努め、市民の「知りたい」「読みたい」「学びたい」読書要求に応えるため、図書館ネットワーク等も活用し、資料の迅速な提供に努めます。また、令和4年度は第2次富田林市子ども読書活動推進計画の最終年度となることから、令和5年度からの新たな計画策定に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		26,654					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	7.7
		継続	市民一人当たりの貸出冊数	冊	R2年度	目標値	7.3
				実績値	5.1		
5	ブックスタート事業	中央図書館	健康づくり推進課と連携し、4か月児健診時に図書館から絵本を1冊配布し、親子のふれあいの大切さを啓発します。また、母子健康手帳の申請時に、年齢に応じた絵本のリストやよみきかせの大切さのリーフレットを配布するとともに、乳幼児期には「あかちゃんのおはなし会」を図書館で開催することで、子育てを支援します。				
		R4予算(千円)					
		593					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	45.0
		継続	0歳児一人当たりの小さい絵本の貸出冊数	冊	R2年度	目標値	41.7
				実績値	36.1		

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	金剛図書館事業	金剛図書館	利用者の多様化・高度化するニーズを把握・理解し、学習、仕事、生活に役立つ図書の情報提供を行うとともに、図書館ネットワーク等を活用した予約図書の迅速な提供に努めます。また、第2次こども読書活動推進計画に基づき、学校への支援等を継続し、子どもの読書環境の充実を図ります。また、金剛地区における生涯学習の拠点施設として、公民館・図書館における施設管理を行います。				
		R4予算(千円)					
		28,053					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	7.7
		継続	市民一人当たりの貸出冊数	冊	R2年度	目標値	7.3
				実績値	5.1		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
7	金剛図書館整備事業	金剛図書館	金剛公民館・図書館において、屋根・外壁の老朽化対策及び車いす利用者等の駐車区画に屋根を設置するなど、改修設計に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		100,900					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

分野別施策1 未来への希望を育む子育て・教育
 (3) 学び続けるための環境づくり
 個別施策
6 市民文化・スポーツの推進



基本的な方向

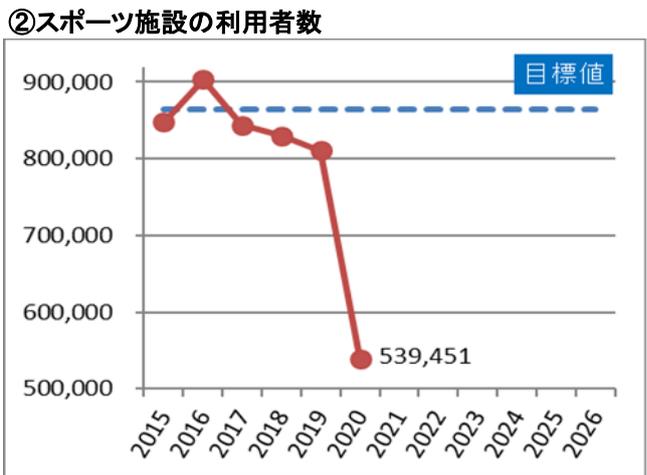
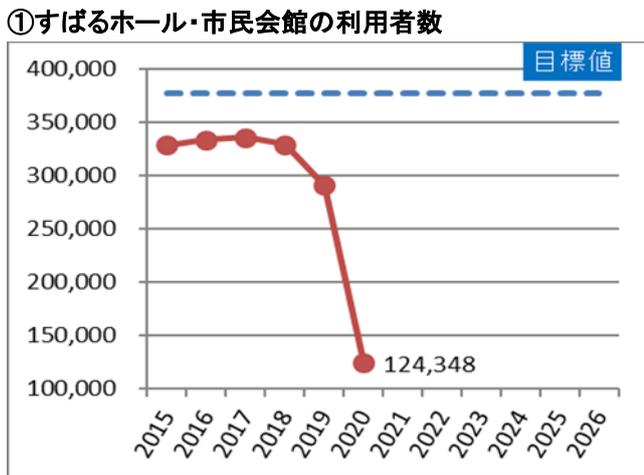
市民一人ひとりが、健康で充実した生活を送ることができるよう、文化・芸術にふれる機会やスポーツを楽しむ機会の充実を図るとともに、地域における文化・芸術活動やスポーツ活動を推進します。

めざすべき姿

市民が日常の中で文化・芸術にふれる場があり、文化・芸術活動を通じた体験や交流に参加することで、心豊かで文化的な、質の高い生活を送っています。また、スポーツを通じて、人々との交流が深まり、市民がいきいきと暮らすことができるまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① すばるホール・市民会館の利用者数	人	124,348 R2(2020)年度	377,000 R8(2026)年度
② スポーツ施設の利用者数	人	539,451 R2(2020)年度	865,000 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	社会体育管理事務	生涯学習課	教育委員会から委嘱されたスポーツ推進委員によるスポーツ推進活動として、市内の各地区を対象としたファミリーレクリエーション活動や、障がい者の方を対象とした身障者フィットネスの開催など、引き続きスポーツ普及活動に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		1,970					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	11,300
		継続	スポーツ推進委員協議会事業参加者数	人	R2年度	目標値	11,300
				実績値	1,097		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	スポーツ指導普及事業	生涯学習課	地域におけるスポーツ活動の指導者育成につなげるため、ジュニアスポーツリーダースクールの事業実施を継続して行います。				
		R4予算(千円)					
		980					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	635
		継続	ジュニアスポーツリーダー参加者数	人	R2年度	目標値	635
				実績値	120		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療

個別施策

7 主体的な健康づくりの推進

関連するSDGs



基本的な方向

市民一人ひとりの主体的な健康づくりの促進や、生活習慣病等の予防に向けた指導の充実を図るとともに、社会保障制度の安定的な運営を推進します。

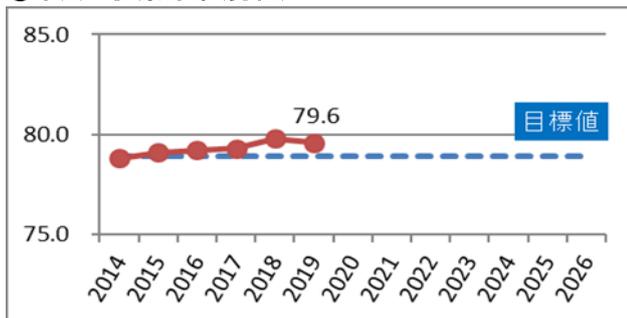
めざすべき姿

市民が運動や食事など、健康的な生活習慣を身につけ、健康診断などを定期的を受診するなど、多くの人が「自分の健康は自分で守る」意識を持って生活しています。また、予防接種やがん検診の受診など、病気の予防や早期発見により、誰もが健康で、長生きできるまちとなっています。

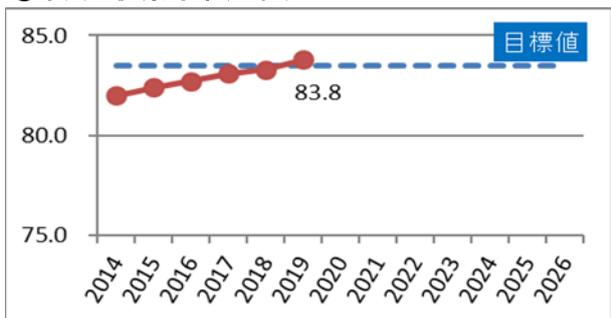
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民の健康寿命	歳	男性:79.6 女性:83.8 H31(2019)年	男性:78.9以上 女性:83.5以上 R8(2026)年
② がん検診受診率	%	12.7 R2(2020)年度	17.0 R8(2026)年度
③ 特定健診受診率	%	37.4 R2(2020)年度	60.0 R8(2026)年度

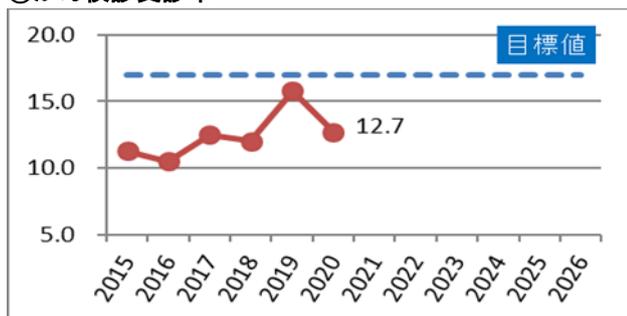
①市民の健康寿命(男性)



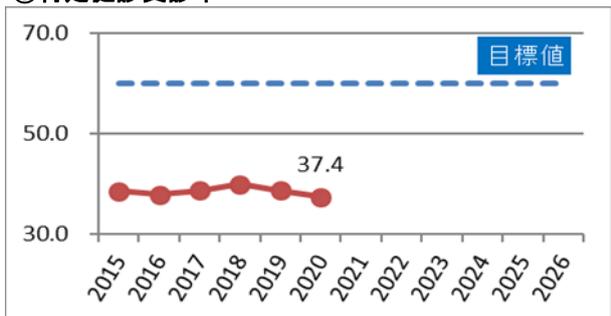
①市民の健康寿命(女性)



②がん検診受診率



③特定健診受診率



目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 予防接種事業	健康づくり推進課	子どもを対象とした第1・2期麻疹風しん予防接種などに引き続き取り組むとともに、HPV等予防接種の個別通知を送付し、保護者への効果的な情報提供を行います。また、新型コロナワクチン接種を安心・安全・スムーズに実施することで、早期の集団免疫の獲得により、感染の終息をめざします。				
	R4予算(千円)					
	303,403					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	97
	継続	第1・2期麻疹風しん接種率	%	R2年度	目標値	97
				実績値	96.1	
2 母子保健事業(再掲)	健康づくり推進課	不育症治療費等に係る助成について、治療段階から申請を可能とするとともに、多胎児産婦への支援として、産後ケア事業の多胎に係る自己負担を廃止します。また、新生児聴覚検査費用を新たに助成し、聴覚障がい早期発見を図るとともに、3歳6か月児健診において、小型屈折検査機器を導入し、弱視の検出率向上に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	110,631					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	95
	拡充	3歳6か月児健診受診率	%	R2年度	目標値	95
				実績値	87.9	
3 市民検診事業	健康づくり推進課	受診率を上げるための啓発として、40歳から70歳の各年齢対象者に個別通知を継続するとともに、「がん検診受診率向上集中キャンペーン」を実施します。また、がん患者における心理的負担の軽減や就労等の社会参加を促進するための医療用ウィッグ及び乳房補正具の購入助成を継続します。				
	R4予算(千円)					
	142,777					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	16.3
	継続	がん検診受診率	%	R2年度	目標値	14.3
				実績値	11.6	
4 健康指導事業	健康づくり推進課	生活習慣病等を予防し、健康寿命の延伸を図るため、健康教育や相談事業を充実し、運動習慣の定着を目指します。また、自殺対策総合計画に基づき、庁内外の相談窓口職員や教職員を対象としたゲートキーパー養成等の研修実施をはじめ、関係機関とのネットワーク構築に取り組めます。				
	R4予算(千円)					
	712					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	4,450
	継続	健康教育の参加者数	人	R2年度	目標値	4,410
				実績値	2,100	
5 若年層の健康づくり事業	健康づくり推進課	20代・30代を対象とした健診受診の普及・啓発活動を重点的に行い、受診者の増加を図るとともに、受診後のフォローについても、健康相談等の利用促進に努めます。また、食生活改善推進協議会との協働により、引き続き食育推進に向けた取組を実施します。				
	R4予算(千円)					
	1,442					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2.2
	継続	20代・30代の健康診査受診率	%	R2年度	目標値	2.1
				実績値	1.1	

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 その他保健事業	保険年金課	国民健康保険第2期データヘルス計画に基づき、特定健康診査の受診結果やレセプト情報を活用して、疾病予防や重症化予防対策を実施します。また、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進や、薬剤併用禁忌防止対策に係る服薬情報通知にも継続して取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	3,608					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	80
	継続	後発医薬品利用率	%	R2年度	目標値	80
				実績値	82	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
7 特定健康診査等事業	保険年金課	特定健康診査等実施計画に基づき、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施するとともに、特定保健指導該当者に対して、一人ひとりに合った支援を継続し、改善を図ります。健診未受診者には、受診勧奨通知の送付や電話勧奨を行うなど、特定健診受診率の向上をめざします。				
	R4予算(千円)					
	85,649					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	25
	継続	特定保健指導対象者割合の減少率	%	R2年度	目標値	22
				実績値	8.3	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
8 高齢者保健事業	福祉医療課	生活習慣病の重症化予防やフレイルの進行予防のため、健康診査の結果や医療の受診状況等を分析し、積極的にハイリスクの方への電話や対面による健康相談等を行います。特に、相談・支援の機会を増やし、高齢者の栄養状態の改善に、より一層取り組みます。また、地域で活動する介護予防普及教室等で、個別を含めた保健指導や健康相談を実施し、地域全体における健康への意識醸成につなげます。				
	R4予算(千円)					
	4,949					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	275
	拡充	保健指導実施延べ件数	人	R2年度	目標値	90
				実績値	95	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり
 (1) 健やかに暮らすための健康づくり・医療

個別施策

8 医療体制の充実

関連するSDGs

基本的な方向

医師会・歯科医師会・薬剤師会や大阪府、周辺自治体との連携強化を図りながら、大阪府済生会富田林病院を中核とした地域完結型の医療を提供するとともに、救急医療体制の充実を含め、市民が安心できる医療体制の充実に向けた取組を推進します。

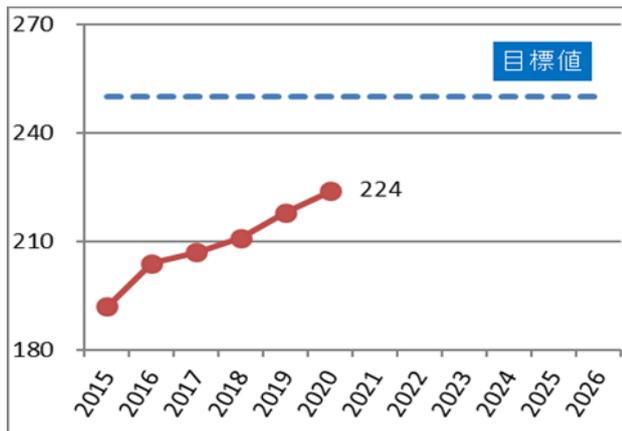
めざすべき姿

地域で良質な医療サービスが提供され、また、市民一人ひとりがかかりつけ医を持ち、身近で適切な医療を受けることができ、休日や夜間、子どもの急病などの緊急時にも対応できる医療の体制が整っていることで、誰もが安心して暮らすことのできるまちとなっています。

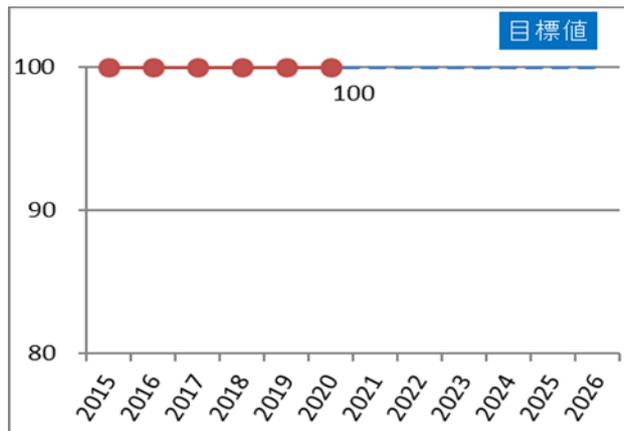
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 大阪府済生会富田林病院と連携する医療機関数	箇所	224 R2(2020)年度	250 R8(2026)年度
② 二次救急・準夜初期救急医療および南河内南部広域小児急病診療の年間稼働率	%	100 R2(2020)年度	100 R8(2026)年度

①大阪府済生会富田林病院と連携する医療機関数



② 二次救急・準夜初期救急医療および南河内南部広域小児急病診療の年間稼働率



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	休日診療所事業	健康づくり推進課	日曜、祝日及び年末年始における急病人の応急的な医療を提供するため、引き続き休日診療体制の確保に努めます。				
		R4予算(千円)					
		36,484					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,000
		継続	休日診療所年間患者数	人	R2年度	目標値	2,000
				実績値	928		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	小児救急医療事業	健康づくり推進課	小児救急医療体制の継続的な確保に努めます。				
		R4予算(千円)					
		93,846					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,900
		継続	小児救急年間患者数(富田林市民分)	人	R2年度	目標値	2,900
				実績値	1,000		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	二次救急医療体制整備補助事業	健康づくり推進課	二次救急医療体制の継続的な確保に努めます。				
		R4予算(千円)					
		42,014					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	53,000
		継続	年間二次救急受入れ患者数(20病院)	人	R2年度	目標値	53,000
				実績値	39,118		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり
 (2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

9 地域福祉の推進



基本的な方向

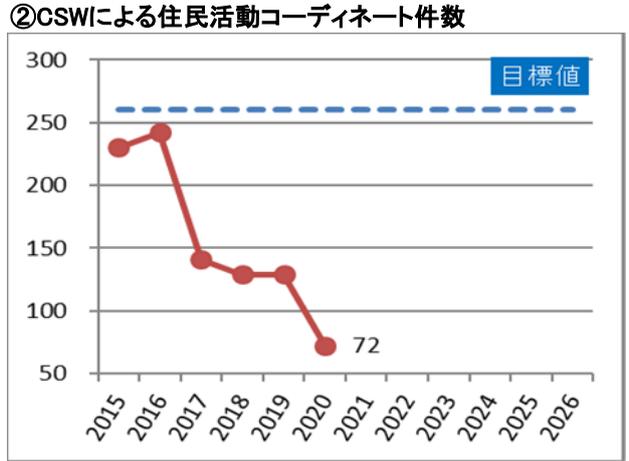
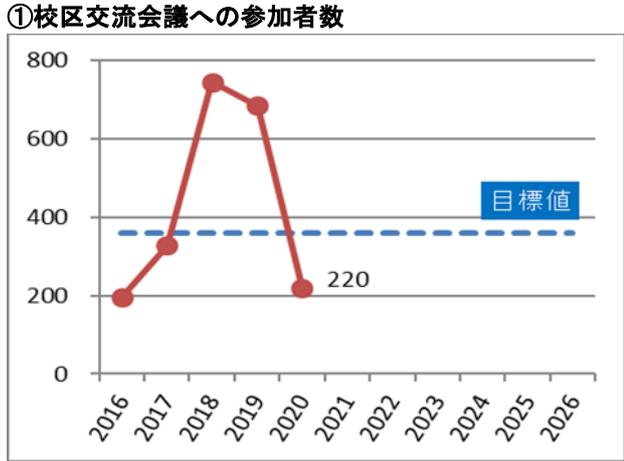
誰もが支え合いと助け合いのしくみの中で活躍できる地域づくりに向けたネットワークの強化や、地域福祉に関する市民の活動の場やきっかけづくりを進めるなど、「増進型の地域福祉」を推進します。

めざすべき姿

市民が地域のさまざまな活動を通じて交流することでつながりが生まれ、隣近所で見守りや支え合いが自然に行われる関係ができています。また、地域コミュニティ組織や関係団体、民生委員・児童委員などの活動、市民によるボランティア活動が活発に行われることで、地域の中で支援が必要な人に、必要な支援が行き届く、支え合い、助け合えるまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 校区交流会議への参加者数	人	220 R2(2020)年度	360 R8(2026)年度
② CSWによる住民活動コーディネート件数	件	72 R2(2020)年度	260 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	校区担当職員事業	増進型地域福祉課	16小学校区で開催される校区交流会議において、校区担当職員が参加し、校区プログラムの企画・実践の支援等を行います。また、市各部局に推進担当員を配置し、部局内の課題の共有及び連携調整等を行い、増進型地域福祉の考え方をより推進しながら関係各事業の取組を進めます。				
		R4予算(千円)					
		46					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	16
		継続	校区プログラムの実践数	校区	R2年度	目標値	5
				実績値	3		
2	福祉コミュニティ推進事業	増進型地域福祉課	市内3圏域に設置している「福祉なんでも相談窓口」において、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を引き続き配置し、地域や住民らの理想に向かって積極的に活動することができる「増進型地域福祉」を推進します。また、校区・地区福祉委員会等と連携し、地域と共に創る重層的な相談支援体制を構築します。				
		R4予算(千円)					
		36,300					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	254
		継続	CSWによる住民活動コーディネート件数	件	R2年度	目標値	242
				実績値	72		
3	地域福祉管理事務	増進型地域福祉課	第4期地域福祉計画では「増進型地域福祉」の考え方をさらに推進させながら地域共生社会の実現に向けて各事業に取り組んでいきます。本計画に掲げられた各施策や事業が適切に実施できるよう、社会福祉協議会や市民、関係機関等との連携を図ります。また、地域福祉推進委員会を開催し、本計画の進捗管理を適切に行います。				
		R4予算(千円)					
		2,771					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	328
		継続	校区交流会議参加者数	人	R2年度	目標値	259
				実績値	220		
4	ケアセンター施設改修事業	増進型地域福祉課	施設の長寿命化や利用者の安全性、利便性を考慮しながら、必要な改修を実施します。個別施設計画に基づき、令和4年度から5年度にかけて、熱源設備改修工事を実施します。また、今後の施設のあり方について、サウンディング型市場調査の結果や「ケアセンターのあり方検討委員会」の意見等を基に、適切な施設維持について検討を進めます。				
		R4予算(千円)					
		24,860					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
5	コミュニティセンター施設改修事業	増進型地域福祉課	施設の長寿命化や利用者の安全性、利便性を考慮しながら、必要な改修を実施します。令和4年度は、個別施設計画に基づき、空調設備改修及び自家発電設備設置工事を実施します。				
		R4予算(千円)					
		203,000					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
6 富田林霊園運営 事業	環境衛生課	富田林霊園において、交通の利便性向上を図るため、希望者を対象としたタクシー料金の一部補助を試行的に実施し、利用者数等の検証を行います。				
	R4予算(千円)					
	39,768					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	96
	拡充	霊園の区画使用率	%	R2年度	目標値	95
				実績値	91.5	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり
 (2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

10 高齢者福祉の推進

関連するSDGs

3 すべての人に健康と福祉を

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

基本的な方向

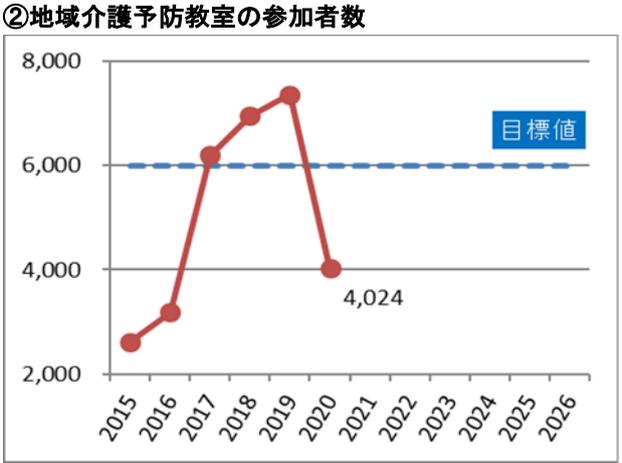
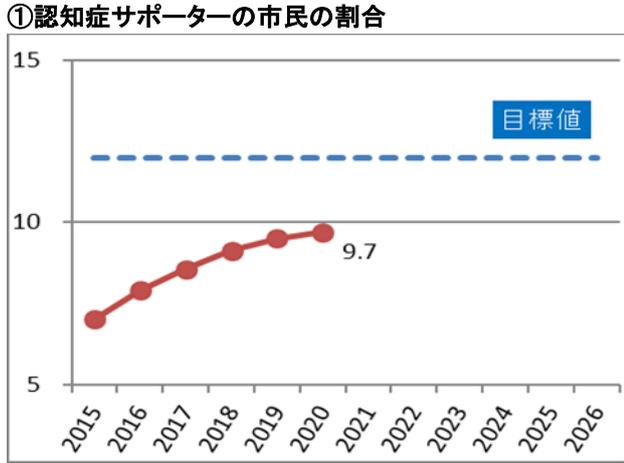
地域の実情に即した地域包括ケアシステムを推進することにより、高齢者が安心して住み続けることができる環境づくりを進めるとともに、介護予防や生きがいの取組を通じて、元気な高齢者が地域の担い手として参加できるしくみづくりを推進します。

めざすべき姿

要介護状態や認知症になっても、医療・介護サービスや生活の手助けなど必要な支援を受けながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。また、高齢者の知識や経験を活かせる場があることで、まちづくりの担い手として活躍でき、本人のいきがいと健康にもつながっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 認知症サポーターの市民の割合	%	9.7 R2(2020)年度	12 R8(2026)年度
② 地域介護予防教室の参加者数	人	4,024 R2(2020)年度	6,000 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 包括的支援事業	高齢介護課	地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、中核となる地域包括支援センター（ほんわかセンター）の機能強化や関係機関との連携により、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心・安全に生活できる仕組みづくりに取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	102,488					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	12,188
	継続	地域包括支援センター相談対応件数	件	R2年度	目標値	12,188
				実績値	10,488	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 在宅医療・介護連携推進事業	高齢介護課	富田林医師会と連携し、「ものわすれ医療・介護相談」の実施や、医療・介護関係者を対象とした研修会の開催、在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討、地域住民に対する普及啓発等に取り組みます。また、令和4年度から、在宅医療と在宅介護を調整する担い手として、新たに「在宅医療・介護連携コーディネーター」を配置します。				
	R4予算(千円)					
	1,600					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 認知症総合支援事業	高齢介護課	認知症の人が様々な支援や施策を通じて、いつまでも住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けるための支援を行います。また、一人でも多くの市民に認知症に対する理解を深めてもらうため、認知症支援の取組の一環として、「（仮称）認知症施策推進条例」の制定に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	152					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	60
	拡充	介護家族交流会の延参加人数	人	R2年度	目標値	60
				実績値	47	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 介護予防普及啓発事業	高齢介護課	各種介護予防教室について、地域包括支援センターや在宅介護支援センターが実施する「地域型」事業や、街かどデイハウス実施の「定点型」、認知症や膝痛改善等の教室を行う「委託型」に加え、令和4年度から、新たに「脳トレ教室」等を実施し、高齢者の方の運動機能向上や栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等について、幅広く普及・啓発を図ります。				
	R4予算(千円)					
	11,035					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,755
	拡充	健康づくり教室への延べ参加者数	人	R2年度	目標値	1,755
				実績値	433	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 地域介護予防活動支援事業	高齢介護課	「富田林市産官学医包括連携協定（TOMAS）」を核に、「介護予防・健康ポイント事業（あるこっと）」を実施するとともに、地域商店や事業所等の民間主体による有償型健康事業の展開等、介護予防の拠点づくりに努めることにより、高齢者の介護予防・健康寿命の促進につなげます。				
	R4予算(千円)					
	7,561					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	6,000
	継続	地域介護予防普及教室の延参加者数	人	R2年度	目標値	6,000
				実績値	4,024	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり
 (2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり

個別施策

11 障がい者福祉の推進

関連するSDGs

基本的な方向

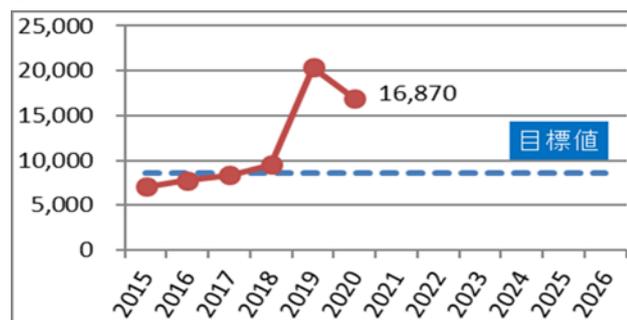
障がい児者の特性に応じた自立と社会参加を促進するとともに、障がい児者に対する地域の理解促進に向けた取組を推進します。

めざすべき姿

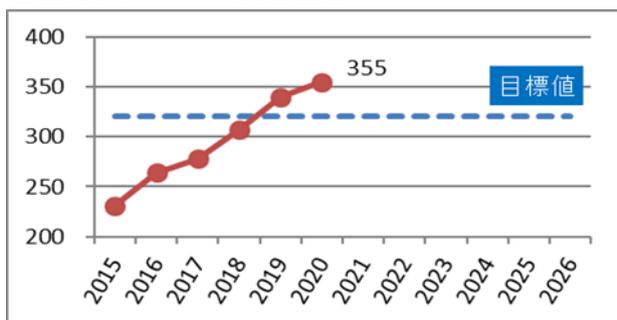
障がいのある人やその家族が、地域の中で相談支援や必要なサービスを利用して、仕事や生きがいを持つことができ、充実した暮らしを送っています。また、障がいのある人となない人が、同じまちに暮らす住民として理解し合うまちとなっています。

施策に関する指標			
指標名	単位	現状値	目標値
① 相談支援事業の利用者数	人	16,870 R2(2020)年度	8,600 R8(2026)年度
② 訪問系サービスの支給者数	人	355 R2(2020)年度	320 R8(2026)年度
③ 福祉サービスを利用した就労者数	人	18 R2(2020)年度	22以上 R8(2026)年度

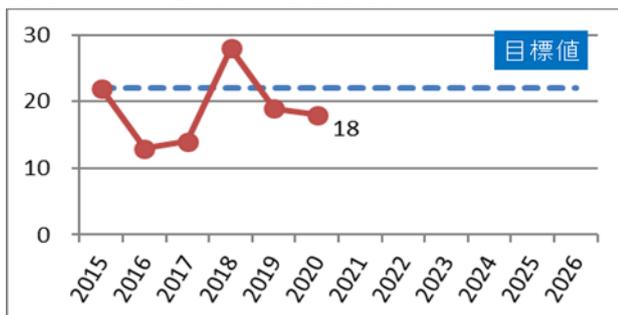
①相談支援事業の利用者数



②訪問系サービスの支給者数



③福祉サービスを利用した就労者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	障害者虐待防止対策支援事業	障がい福祉課	障がい者虐待防止センターを中心として、関係機関とも連携しながら、引き続き障がい者虐待の防止と、緊急時を含めた虐待事案に対する適切な支援に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		1,933					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	0
		継続	緊急一時保護居室利用者数	人	R2年度	目標値	0
				実績値	2		
2	意思疎通支援事業	障がい福祉課	手話言語条例に基づき、ろう者があらゆる場面で手話による意思疎通ができ、自立した日常生活や地域における社会参加を保障するため、手話の普及啓発や理解促進に取り組みます。また、手話通訳者の確保に向けた養成講座を実施するとともに、近隣市と連携しながら要約筆記者の確保に向けた取組を進めます。				
		R4予算(千円)					
		4,700					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	600
		継続	手話・要約筆記派遣決定件数	件	R2年度	目標値	520
				実績値	449		
3	介護・訓練等給付費事業	障がい福祉課	障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、介護給付費等の障がい福祉サービスを提供します。				
		R4予算(千円)					
		2,688,307					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,200
		継続	訪問系サービス延べ利用者数	人	R2年度	目標値	2,200
				実績値	2,597		
4	障害児通所給付費事業	障がい福祉課	障がい児の健やかな育成を支援するため、障がい児とその家族に対し、通所支援や相談支援を提供します。				
		R4予算(千円)					
		712,995					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	3,000
		継続	障がい児通所支援給付延べ利用者数	人	R2年度	目標値	3,000
				実績値	5,457		
5	地域生活支援事業	障がい福祉課	市内3圏域に設置した基幹相談支援センターにおいて、総合的な相談業務及び権利擁護に関する支援を行います。また、「障がい者雇用センター」や支援推進のため関係機関等で設置した「障がい者雇用会議」において、障がい者の就労促進を図ります。さらに、日常生活用具について、埋込人工鼻などの購入費助成を継続して行います。				
		R4予算(千円)					
		198,656					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8,400
		継続	相談支援事業の利用者数	人	R2年度	目標値	8,000
				実績値	16,870		

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	発達障がい児等療育支援事業	こども未来室	発達障がいのある子ども達が自尊心をもって自立した生活ができるよう、南河内療育拠点（こども発達支援センターSun）において、療育を実施し子どもとその保護者を支援します。また、大阪府ペアレント・メンター事業を活用し、チューリップ教室参加者、小中学校支援学級在籍児の保護者等を対象に、発達障がいのある子どもの子育て経験談の紹介や情報提供を行うことで、保護者支援の充実を図ります。				
		R4予算(千円)					
		13,272					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	85
		拡充	療育利用人数	人	R2年度	目標値	55
				実績値	61		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり (2) 支え合いを育む福祉コミュニティづくり	
個別施策	
12	生活の自立に向けた支援



基本的な方向

関係機関や地域とのネットワークを強化し、生活に困難を抱える人の、生活保護に至る前の段階からの早期把握・対応を図るとともに、一人ひとりの状況に応じた相談支援・就労支援等、自立に向けた個別的・包括的な支援体制づくりを推進します。

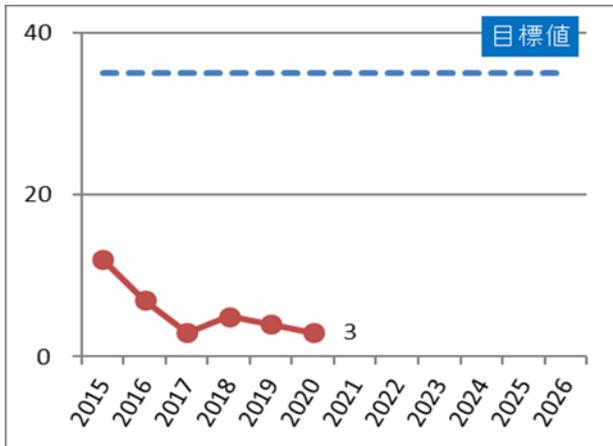
めざすべき姿

生活にさまざまな困難を抱える人が、一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな相談や就労の支援を受けることで、安定的で自立した生活を送ることができています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 就労支援による就労・増収者数(生活困窮者自立支援事業)	人	3 R2(2020)年度	35 R8(2026)年度

①就労支援による就労・増収者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	生活保護事業	生活支援課	生活保護制度の適正実施に努めるとともに、就労が可能な人に対する自立に向けた就労支援事業に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		4,084,390					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	65
		継続	就労支援事業による就労率	%	R2年度	目標値	45
				実績値	45		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	生活困窮者自立支援事業	増進型地域福祉課	市内2箇所（市役所本庁・金剛連絡所）に自立相談窓口を設置することで、生活や就労等、さまざまな事情により生活困窮となった人を早期に発見し、個々の状況に寄り添いながら、自立に向けた包括的な支援に引き続き取り組みます。また、複雑・複合化する個々の抱える課題等に対し、従来の枠組みにとられない分野横断的な連携体制の強化に努めます。				
		R4予算(千円)					
		46,213					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	276
		継続	自立相談支援事業新規相談者数	人	R2年度	目標値	207
				実績値	525		

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり
 (3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

13 人権の尊重と平和の希求

関連するSDGs



基本的な方向

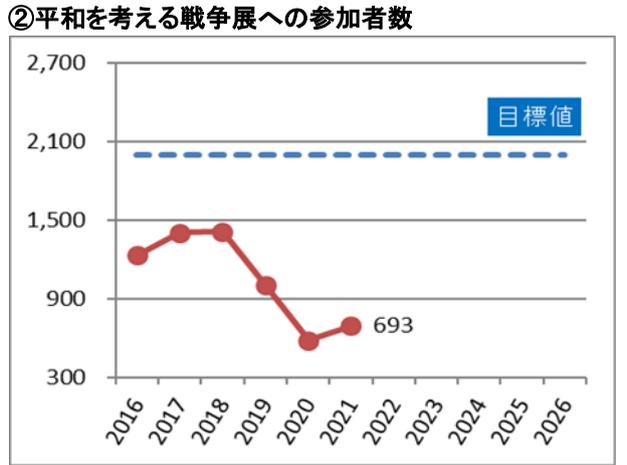
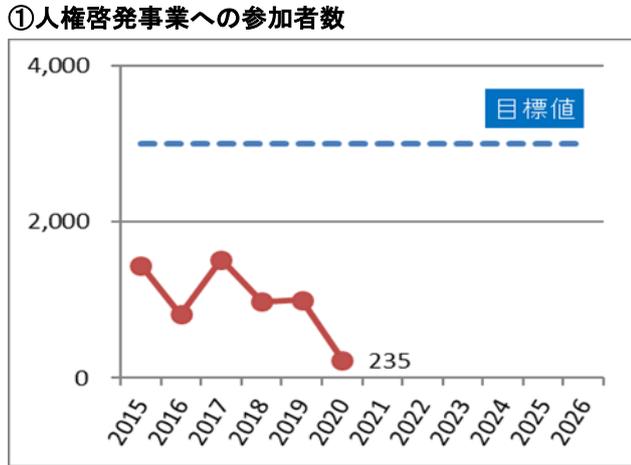
人権に関する相談体制の充実や、関係団体等との連携による人権教育・啓発活動を進め、多様な人権課題に対応するとともに、戦争の悲惨さを風化させず、平和の大切さを次の世代に語り継ぐ取組を推進します。

めざすべき姿

市民が人権について学ぶ場に参加し、さまざまな人権に関する理解を深めており、地域や家庭、職場などで、誰もがお互いを尊重し合えるまちとなっています。また、子どもや若い世代が戦争の悲惨さを理解することで、みんなで平和を守っていく意識が受け継がれています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 人権啓発事業への参加者数	人	235 R2(2020)年度	3,000 R8(2026)年度
② 平和を考える戦争展への参加者数	人	693 R3(2021)年度	2,000 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業							
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性					
1 人権啓発事業	人権・市民協働課	R4予算(千円)	4,220	人権課題が複雑・多様化する中、「人権フェア」や職員研修、市民セミナー、講演会、啓発冊子などの人権教育・啓発活動や、人権相談の利用促進に取り組みます。また、ファミリーシップ制度の導入や、LGBTQコミュニティスペースの開催及び相談窓口の設置、幼稚園での多様性教育の実施などを通じて、性的マイノリティの人をはじめすべての人が自分らしく暮らせるまちをめざします。			
	区分(対前年度)						成果指標
		継続	人権フェア・人権啓発講座の参加者数	人	R2年度	目標値	500
						実績値	38
2 平和のつどい	人権・市民協働課	R4予算(千円)	2,672	戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ継承するため、「平和を考える戦争展」や広島平和記念式典への市民代表の派遣を引き続き実施するとともに、被爆体験者の体験を子どもたちが絵本にして語り継ぐ取組を行います。			
	区分(対前年度)						成果指標
		継続	平和を考える戦争展の参加者数	人	R2年度	目標値	1,200
						実績値	582
3 人権文化センター事業	人権文化センター	R4予算(千円)	7,999	地域住民の身近なコミュニティ施設として、総合相談事業や人権啓発事業などの取組や、各種講座、貸館事業を引き続き実施します。			
	区分(対前年度)						成果指標
		継続	講座教室受講者数	人	R2年度	目標値	1,800
						実績値	157
4 こども食堂運営支援事業	こども未来室	R4予算(千円)	5,629	子どもの貧困に対する総合的な支援を実施するため、「子どもの貧困対策計画」を策定します。また、「子ども食堂」の安定的な運営とさらなる開設に向け、食材費等の経費を継続して補助します。さらに、社会福祉協議会等と連携しながら、子ども食堂及び居場所づくりのネットワークを構築することで、各団体の情報交換や新規開設相談、ボランティアの育成に取り組みます。			
	区分(対前年度)						成果指標
		拡充	こども食堂の参加者数	人	R2年度	目標値	6,140
						実績値	3,888
5 (仮称)多文化共生・人権プラザ整備事業	住宅政策課	R4予算(千円)	149,799	多様性の尊重による共生社会を形成するため、令和4年度から令和5年度にかけて、人権施策推進の拠点施設を整備します。			
	区分(対前年度)						成果指標
		新規	-	-	R2年度	目標値	-
						実績値	-

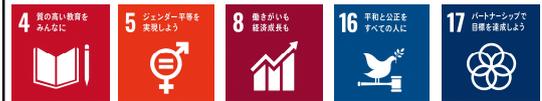
分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

14 男女共同参画と女性の活躍の推進

関連するSDGs



基本的な方向

男女共同参画社会の形成をめざし、市民や地域、事業所等への啓発活動や意識改革を図るとともに、あらゆる場において女性が活躍できる環境づくりを推進します。

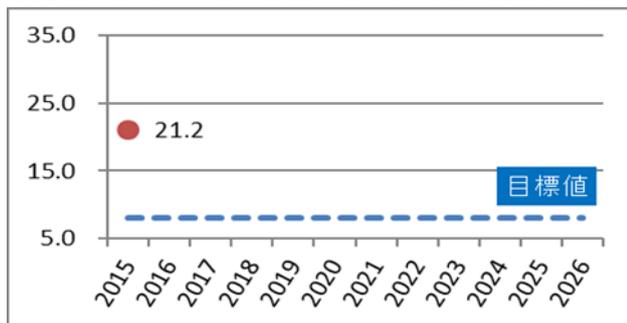
めざすべき姿

地域や家庭、職場などのさまざまな場面で、男女ともに家事や育児、仕事などの役割を担っており、男女が互いを尊重し、誰もが意欲や希望に応じて、自分らしく活躍することができるまちとなっています。

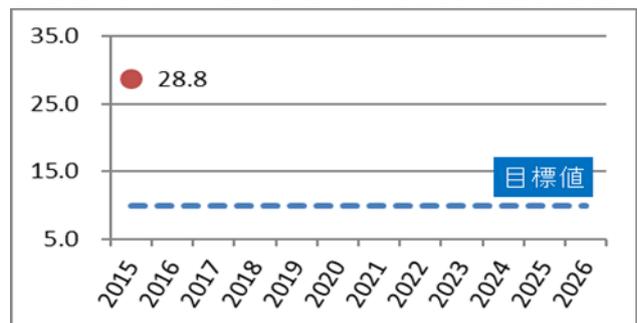
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合	%	女性: 21.2 男性: 28.8 H27(2015)年度	女性: 8.0 男性: 10.0 R8(2026)年度
② 市審議会等における女性委員の登用率	%	30.1 R2(2020)年度	30.0以上 R8(2026)年度
③ 男女共同参画リーダー養成講座の修了生数	人	133 R2(2020)年度	150 R8(2026)年度

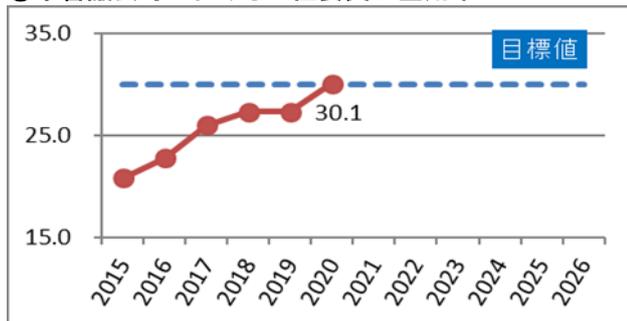
①男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合(女性)



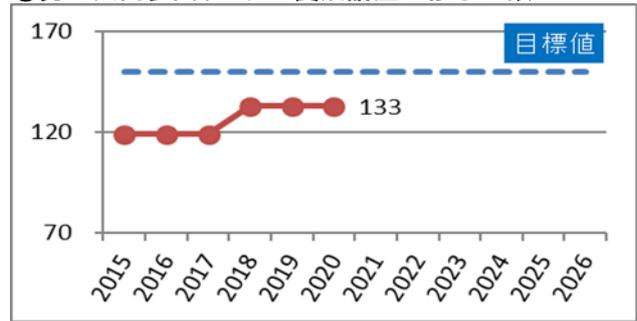
①男性は仕事・女性は家庭と考える市民の割合(男性)



②市審議会等における女性委員の登用率



③男女共同参画リーダー養成講座の修了生数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 男女共同参画推進事務	人権・市民協働課	第3次男女共同参画計画に基づき、講座、啓発冊子など様々な手法による男女共同参画への意識啓発や、審議会等における女性委員の積極的な登用など、女性の活躍推進に取り組みます。また、女性のための相談事業やDV対策連絡会議を通じて、女性が直面する課題の解決をサポートし、必要な支援につなげます。さらに、男女共同参画センターでは市民グループの活動や交流を支援します。				
	R4予算(千円)					
	1,770					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	30
	継続	市審議会等における女性委員の登用率	%	R2年度	目標値	30
				実績値	30.1	

分野別施策2 みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

(3) 多様性の尊重による共生社会の形成

個別施策

15 多文化共生と
国際交流のまちづくり

関連するSDGs



基本的な方向

市民と外国人市民が互いの文化や習慣の違いを認め合い、ともに生活を営むことができるよう、多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市をはじめ、多様な交流機会の充実を図るなど、国際交流を推進します。

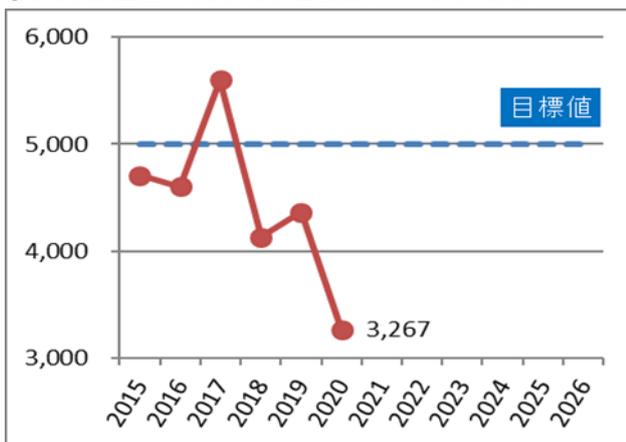
めざすべき姿

市民と外国人市民がさまざまな交流を通じて、国籍や文化的なルーツに関わらず、お互いを知り、認め合うことで、外国人市民にとっても、市民にとっても暮らしやすいまちとなっています。また、国際的な都市間の交流が進み、グローバル感覚を身につけた市民が増えています。

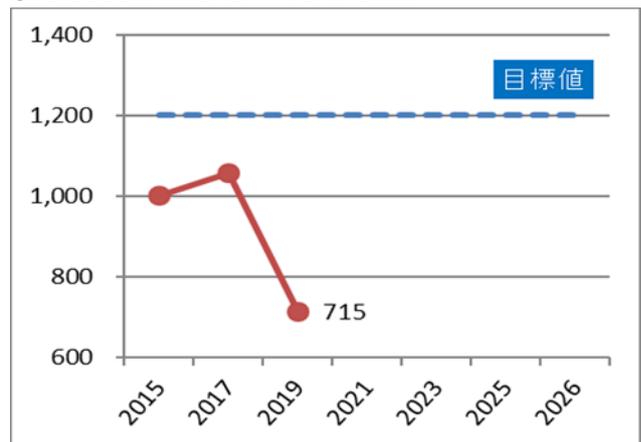
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 多文化理解に向けた学習機会への参加者数	人	3,267 R2(2020)年度	5,000 R8(2026)年度
② 姉妹都市交流事業への参加者数	人	715 H31(2019)年度	1,200 R8(2026)年度

①多文化理解に向けた学習機会への参加者数



②姉妹都市交流事業への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 国際化施策推進事業	人権・市民協働課	多文化共生と国際交流のまちづくりを推進するため、多文化共生推進指針（改定版）に基づき、とんだばやし国際交流協会と連携し、外国人市民の生活支援や情報提供に取り組みます。また、「外国人市民会議」を開催し、外国人市民の声をまちづくりに活かします。さらに、外国人市民の多様なニーズに対応できるよう、外国人市民相談窓口の設置をめざします。				
	R4予算(千円)					
	6,470					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	5,050
	継続	多文化理解に向けた市民講座参加者数	人	R2年度	目標値	4,970
				実績値	3,267	

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり
 (1) 産業活性化によるにぎわいの創出
 個別施策
16 雇用の促進



基本的な方向

安定した雇用の確保に向け、市内で起業・創業を希望する人への支援や、企業や商業施設の本市への立地促進による新たな雇用の創出に取り組むとともに、市内企業および就労希望者に対する支援を進めます。

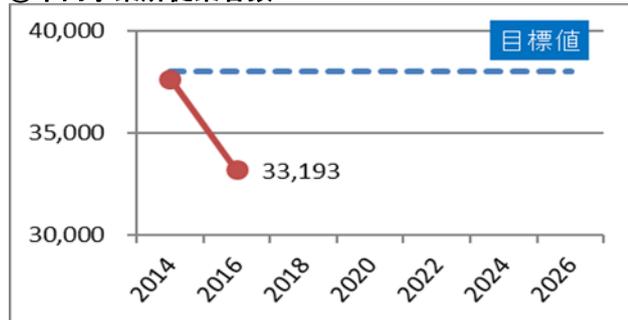
めざすべき姿

企業・商業施設の誘致や起業・創業へのサポートにより、市内で働く場所や買い物ができる場所が増えていきます。また、市民が仕事に必要な能力を高める場や、企業との出会いの場を持つことができ、希望する仕事に就くことができる働きやすいまちとなっています。

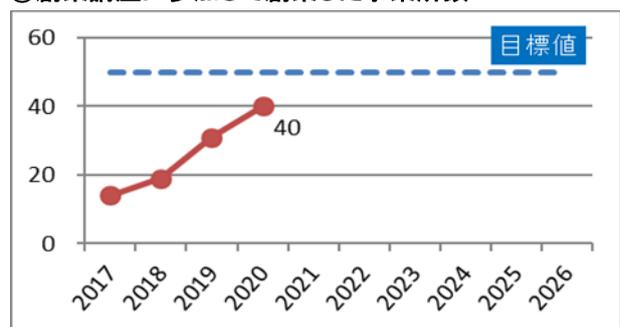
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市内事業所従業者数	人	33,193 H28(2016)年度	38,000以上 R8(2026)年
② 創業講座に参加して創業した事業所数(10年間合計)	事業所	40 R2(2020)年度	50 R8(2026)年度
③ 支援メニューによる企業・商業施設の立地件数(10年間合計)	件	3 R2(2020)年度	20 R8(2026)年度

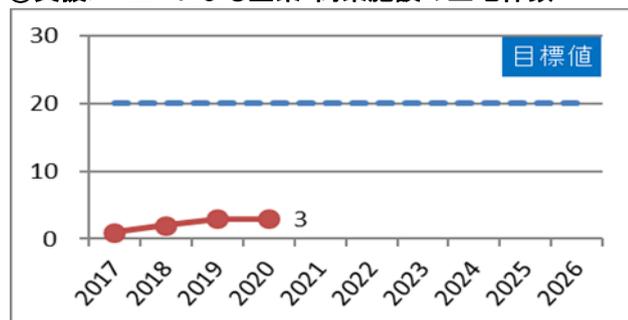
①市内事業所従業者数



②創業講座に参加して創業した事業所数



③支援メニューによる企業・商業施設の立地件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	労働関連施策事業	商工観光課	雇用・就労対策として、労働相談及び就労支援相談等の相談事業を引き続き実施します。また、夜間相談の実施や、外国人労働者が通訳を介して労働相談ができる体制など、引き続き相談者が相談しやすい環境づくりに取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		291					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	就労支援事業	商工観光課	市内における雇用環境の充実に向けた取組など、引き続き地元企業との連携による雇用促進に努めます。また、就職困難者に対して、一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センターなどの関係機関と連携しながら、各種講座を通じたスキルアップにつなげます。				
		R4予算(千円)					
		2,834					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	37,930
		継続	市内事業所従業者数	人	R2年度	目標値	37,790
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	創業支援事業	商工観光課	創業支援等事業計画に基づき、近隣市町村との連携によるセミナー開催などに取り組みます。また、本市独自の創業支援補助金制度を継続するとともに、日本政策金融公庫の創業融資に係る利子補給の利用を促進します。				
		R4予算(千円)					
		4,200					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	5
		継続	創業支援セミナー受講による市内創業者数	人	R2年度	目標値	5
				実績値	9		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり
 (1) 産業活性化によるにぎわいの創出

個別施策

17 商工業の活性化

関連するSDGs



基本的な方向

商工業の活性化に向けて、商工会・商店会等の活動への支援や、中小企業の競争力強化・事業承継等に向けた支援に取り組みます。また、伝統工芸品産業への支援にも取り組み、地域経済の活性化を図ります。

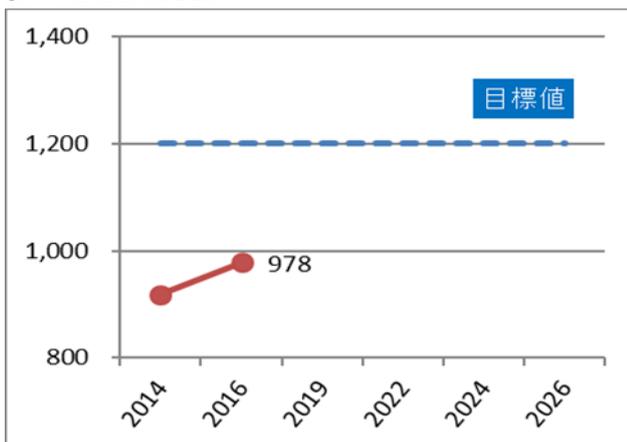
めざすべき姿

市内の商店・商店街が魅力的な商品販売することで、市内での消費が活発になっています。また、工場などの経営が安定し、地域経済が活性化しています。さらに、伝統工芸品が富田林ブランドとして多くの人に知られることで、伝統工芸品産業が次の世代にも引き継がれています。

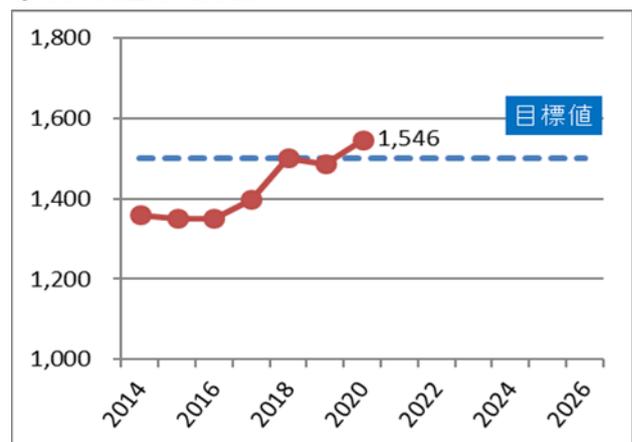
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 年間商品販売額	億円	978 H28(2016)年	1,200 R8(2026)年
② 年間製造品出荷額	億円	1,546 R2(2020)年度	1,500以上 R8(2026)年

①年間商品販売額



②年間製造品出荷額



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 中小企業融資事業	商工観光課	市小規模企業融資、および当該融資に係る保証料・利子補給及び府制度の保証料補給制度について、制度が有効活用されるよう、十分な周知に努めます。				
	R4予算(千円)					
	39,335					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	3,430
	継続	商工業者数	社	R2年度	目標値	3,390
				実績値	3,304	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 商業活性化総合支援事業	商工観光課	市内の中小小売業者等で構成される団体による、商店街の魅力向上等の商業活性化に向けた事業に対し、経費の一部補助に取り組みます。また、商店会等が設置する防犯カメラや街路灯についても、引き続き経費の一部補助に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	3,400					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	260
	継続	商店会会員数	人	R2年度	目標値	252
				実績値	243	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 産業活性化事業	商工観光課	中小企業・小規模企業振興条例に基づき、ものづくり企業の経営力・産業競争力の強化に向け、企業団地内組合等との連携を深めながら、新製品や技術の研究・開発に対する支援に取り組むとともに、中小企業者等の人材育成における補助を行います。また、わがまち事業者パートナー制度を有効に活用し、市内事業者に対して、プッシュ型の情報発信を行い、連携強化を図ります。				
	R4予算(千円)					
	4,760					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり
 (1) 産業活性化によるにぎわいの創出
 個別施策
18 農業の活性化



基本的な方向

6次産業化や農産物特産品のブランド化等による生産価値の向上や、新規就農者・後継者の確保に向けた取組を進めるとともに、商工業や観光との連携による地域の活性化を図り、農業の成長産業化を推進します。

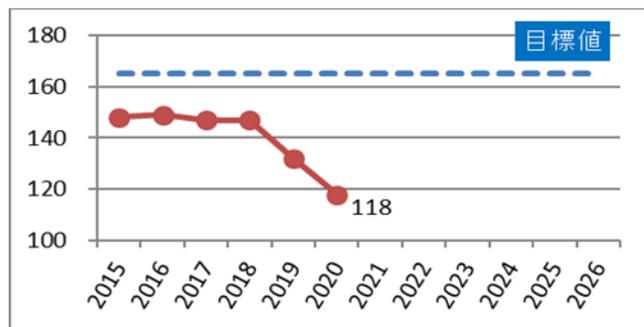
めざすべき姿

農産物の特産品がブランドとして、販売される場所や量が増えることで、多くの人が、本市の新鮮・安全で美味しい農産物を味わうことができます。また、農業に携わる人や、新たに農業をはじめたい人への支援が行き届き、農業が地域の産業として維持されています。さらに、農を活かした体験や交流に参加する場があることで、市民にとって農業が身近なものとして感じられるまちとなっています。

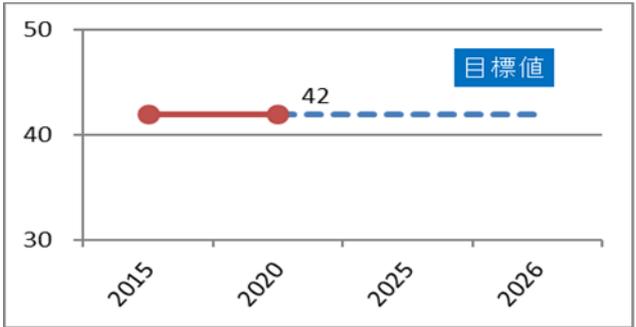
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 認定農業者数	人	118 R2(2020)年度	165 R8(2026)年度
② 耕作放棄地面積	ha	42 R2(2020)年	42 R8(2026)年
③ 市民農園の開設面積	m ²	46,371 R2(2020)年度	50,000 R8(2026)年度

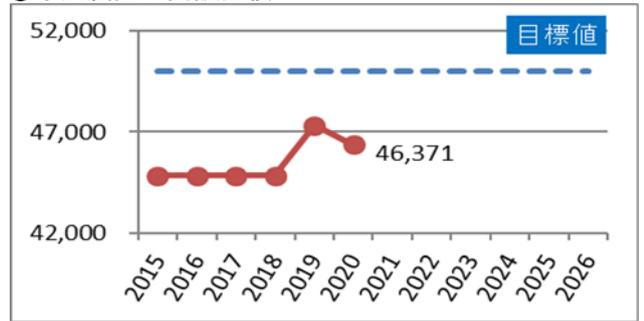
①認定農業者数



②耕作放棄地面積



③市民農園の開設面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	農林振興一般事務	農とみどり推進課	営農指導を含む農業技術の向上等においては、農業振興に繋がるものであるため、本市農業者の経営安定や若手農業者の技術向上をめざします。また、学校給食を始めとしたさらなる地産地消を推進します。さらに、農産物のブランド化を促進するため、新たな加工品の開発や販売に取り組みます。				
		R4予算(千円)					
		17,768					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	新規就農総合支援事業	農とみどり推進課	農業の担い手の発掘・育成に向け、新規就農者への資金交付を行うとともに、交付終了後に国版認定農業者への誘導を図ります。				
		R4予算(千円)					
		19,268					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	12
		継続	新規参入の資金交付を受け、農業を継続している人(累計)	人	R2年度	目標値	10
				実績値	10		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	中核農家総合支援事業	農とみどり推進課	地域農業の維持発展を図るため、多様な担い手農家の育成に取り組みます。特に認定農業者については、自らの創意工夫に基づき経営改善を進めることから、支援を重点的に実施します。また、大阪府や農業委員会、JAなど関係機関と連携して昨年府内で初めて誕生した民間による運営事業「富田林市きらめき農業塾」を支援し、未来の富田林農業を支える強い担い手を育成します。				
		R4予算(千円)					
		5,897					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	80
		拡充	国版認定農業者数(府版を除く)	人	R2年度	目標値	83
				実績値	71		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
4	農業委員会事務	農業委員会事務局	農地利用最適化活動の更なる推進のため、各地域における将来方針の作成等に向けた地元協議の実施や委員参画を促進します。				
		R4予算(千円)					
		8,343					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり
 (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出

個別施策

19 地域資源を活かした観光の振興

関連するSDGs

8 働きがいも経済成長も
 12 つくる責任 つかう責任
 16 平和と公正をすべての人に
 17 パートナリシップで目標を達成しよう

基本的な方向

市民や団体、民間事業者等との連携により、寺内町を中心とした歴史的資源や豊かな自然環境の観光面での有効活用を図るとともに、インバウンドの獲得に向けた環境整備や情報発信の強化、周辺の観光拠点との結び付けによる広域的な取組等、観光振興を推進します。

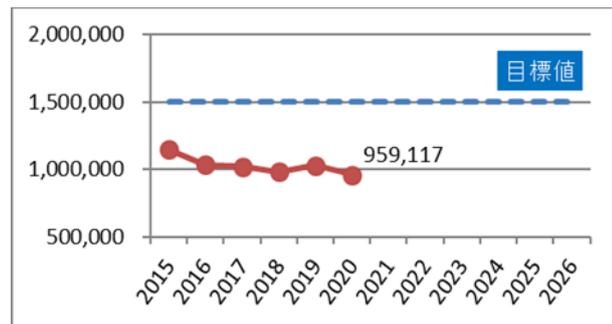
めざすべき姿

訪れ、ふれあい、感じる事ができる本市の歴史や自然の魅力が市内外に広く知られ、観光で訪れる人が増えています。また、外国語の案内などが整備されていることで、外国人観光客が本市の魅力を体感し、存分に楽しむことができるまちとなっています。

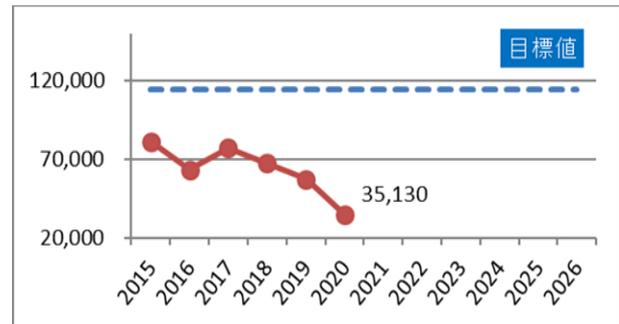
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 観光入込客数	人	959,117 R2(2020)年度	1,500,000 R8(2026)年度
② 農業公園入園者数	人	35,130 R2(2020)年度	114,000 R8(2026)年度
③ 主要観光施設への外国人観光客数	人	1,034 R2(2020)年度	2,000 R8(2026)年度

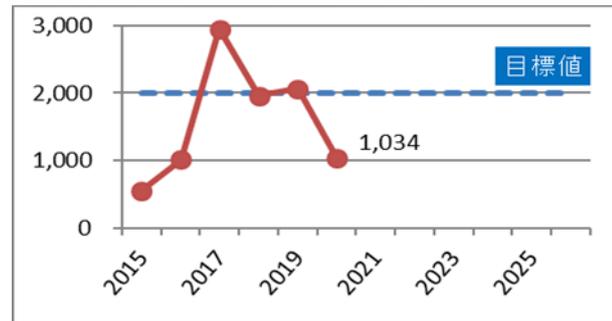
①観光入込客数



②農業公園入園者数



③主要観光施設への外国人観光客数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	農業公園管理運営事業	農とみどり推進課	農業公園サバーファームについて、市内最大の集客拠点、府内最大規模の食と農ある暮らしの体験拠点、そして農業をはじめとする多様な事業者が関わる地域活性化拠点といった3つの将来あるべき姿をめざし、新たな運営・管理制度を構築します。				
		R4予算(千円)					
		88,631					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	110,000
		継続	農業公園入園者数(有料)	人	R2年度	目標値	102,000
				実績値	35,130		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	観光振興事業	商工観光課	ポストコロナ時代を見据え、多言語およびwebに対応した観光マップを作成し、ウェルネストレイルを含む周遊性を持たせた観光の提案により、地域の観光資源に付加価値を創出します。また、保存と活用双方の観点から観光地域づくりを行う「生活空間型観光」の実現に向けた大学連携観光推進事業については、大学が主体となり、これまでに収集した情報などから、学生視点の発信や事業実施を行います。				
		R4予算(千円)					
		18,217					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,500
		継続	観光入込客数	千人	R2年度	目標値	1,500
				実績値	959		

分野別施策3 魅力のあるまちのにぎわいづくり
 (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出
 個別施策
20 人が集まる機会の創出



基本的な方向

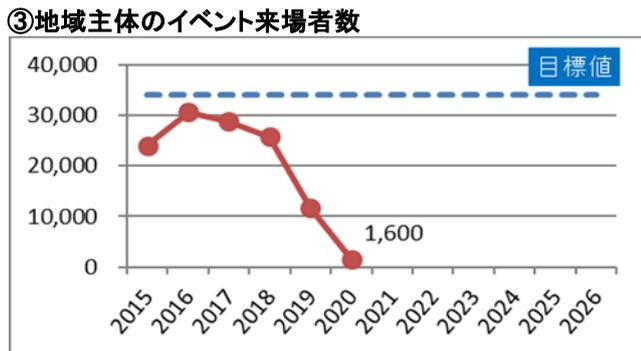
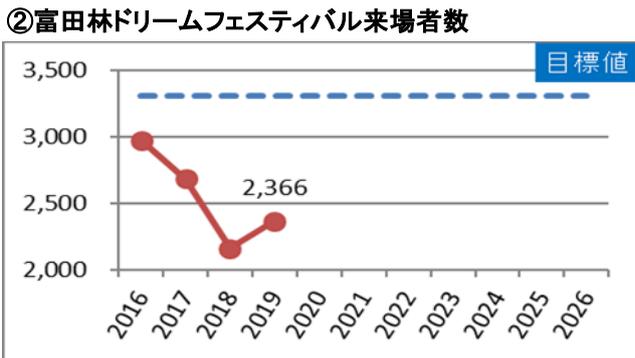
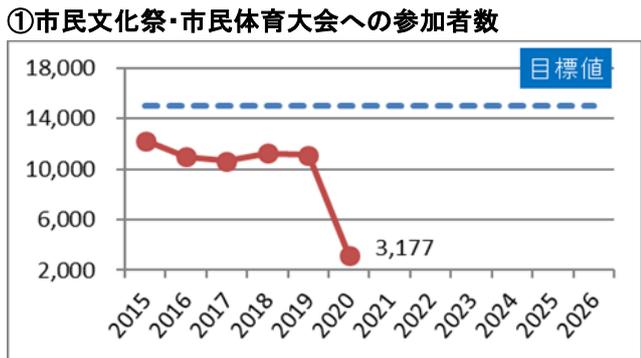
文化・スポーツに関するイベントの開催や、地域主体で取り組むイベント等への支援を通じて、多くの人が集まる機会を創出し、市内外からの交流人口の増加を図ることで、地域のにぎわいづくりを推進します。

めざすべき姿

市民が文化・スポーツイベントなどに参加することで、さまざまな出会いや交流が生まれています。また、イベント等を地域が主催で行うことで、地域が元気になり、市内外から訪れた人たちに本市の魅力が伝わり、ふたたび訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民文化祭・市民体育大会への参加者数	人	3,177 R2(2020)年度	15,000 R8(2026)年度
② 富田林ドリームフェスティバル来場者数	人	2,366 H31(2019)年度	3,300 R8(2026)年度
③ 地域主体のイベント来場者数	人	1,600 R2(2020)年度	34,000 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 商工祭	商工観光課	地域の消費喚起や経済の発展に加え、市内小規模商店と市民が身近にふれあえる機会として、富田林商工会主催の商工祭を引き続き支援します。また、本市のものづくり企業のPR等にもつなげるため、事業実施にあたり、企業団地をはじめとする中小企業との連携についても検討します。				
	R4予算(千円)					
	1,000					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	3,400
	継続	来場者数	人	R2年度	目標値	3,000
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 観光振興事業(再掲)	商工観光課	ポストコロナ時代を見据え、多言語およびwebに対応した観光マップを作成し、ウェルネストレイルを含む周遊性を持たせた観光の提案により、地域の観光資源に付加価値を創出します。また、保存と活用双方の観点から観光地域づくりを行う「生活空間型観光」の実現に向けた大学連携観光推進事業については、大学が主体となり、これまでに収集した情報などから、学生視点の発信や事業実施を行います。				
	R4予算(千円)					
	18,217					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1,500
	継続	観光入込客数	千人	R2年度	目標値	1,500
				実績値	959	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 市民文化祭	生涯学習課	市民文化向上のため、市民文化祭等の文化イベントを開催します。なお、コロナ禍の文化活動においては、開催に制限がかかるため、感染対策を踏まえた開催方法や、アフターコロナに向けた活動について、検討を進めます。				
	R4予算(千円)					
	800					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8,600
	継続	市民文化祭参加者・入場者数	人	R2年度	目標値	7,800
				実績値	170	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

21 防災対策の推進



基本的な方向

防災訓練等を通じた市民の防災意識の高揚や、自主防災組織等の設置促進などにより、地域防災力の向上を図るとともに、情報伝達手段の確保や、食料品・生活必需品等の備蓄、耐震化を進めるなど、災害に強いまちづくりを推進します。

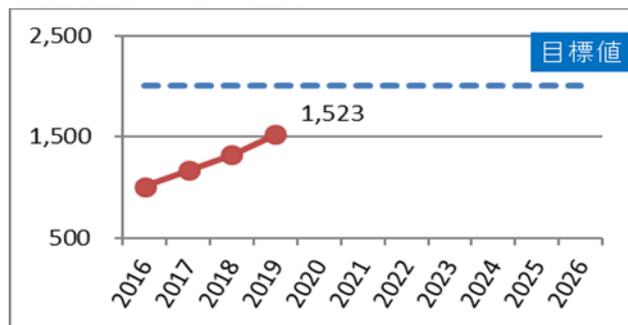
めざすべき姿

市民が防災訓練に積極的に参加し、家庭で食料を備蓄するなど、災害発生に備えた取組が地域に根付いています。また、避難所や防災拠点となる公共施設、民間住宅の耐震化が進んでいるほか、地域ごとに自主防災組織があり、災害時に自力で避難することが困難な人を支援するしくみが整い、災害に強く安全・安心なまちとなっています。

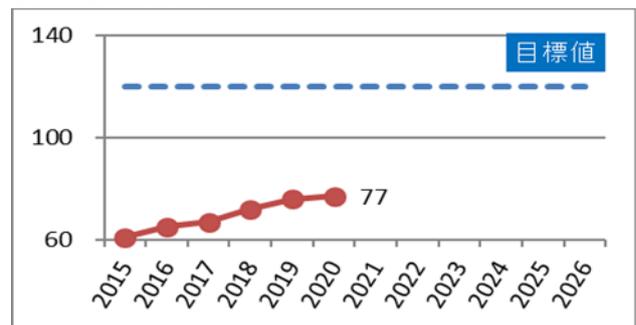
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 防災訓練への参加者数	人	1,523 H31(2019)年度	2,000 R8(2026)年度
② 自主防災組織数	組織	77 R2(2020)年度	120 R8(2026)年度
③ 避難行動要支援者地域支援組織数	組織	52 R2(2020)年度	62 R8(2026)年度

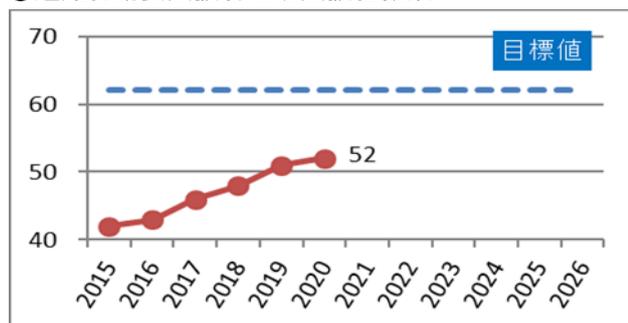
①防災訓練への参加者数



②自主防災組織数



③避難行動要支援者地域支援組織数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性						
1 防災対策事務	危機管理室	災害時に必要な業務を停滞させることがないように、業務継続計画の改訂を行うとともに、災害時学校利用計画の策定に着手します。また、ジュニア防災士育成の取組や、福祉避難所のさらなる指定など、災害に強いまちづくりに向けた取組を進めます。さらに、新型コロナウイルスの感染等により、自宅療養中の市民で支援を希望される方に対し、相談受付や物品提供等のサポートを引き続き行います。						
	R4予算(千円)							
	23,438	区分(対前年度)		成果指標	単位	R6年度	目標値	1,800
	拡充	富田林市防災訓練の参加者数	人	R2年度	目標値	1,400		
				実績値	-			
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性						
2 避難行動要支援者支援対策事業	増進型地域福祉課	災害に強い地域づくりを進めるため、引き続き避難行動要支援者名簿の定期的な更新や地域支援組織の設置を促進するとともに、優先度の高い人から順に個別避難計画の作成を進めるための体制づくりを推進します。また、令和4年度から、名簿の更新頻度を増やすことで、個別避難計画の作成を促進するための土台としての、地域支援組織とのさらなる綿密な関係づくりにつなげます。						
	R4予算(千円)							
	915	区分(対前年度)		成果指標	単位	R6年度	目標値	58
	継続	避難行動要支援者地域支援組織数	組織	R2年度	目標値	50		
				実績値	52			
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性						
3 常備消防活動事業	警備救急課	自主防災組織の必要性を啓発するとともに、育成活動の強化・継続を図ります。また、小学校単位での結成充足率を基に、充足率の低い地区を中心に働きかけ、地域防災力の向上に努めます。						
	R4予算(千円)							
	46,612	区分(対前年度)		成果指標	単位	R6年度	目標値	108
	継続	自主防災組織数	組織	R2年度	目標値	84		
				実績値	77			

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

22 防犯対策の推進

関連するSDGs



基本的な方向

市民や関係団体、警察等との連携を強化し、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域ぐるみでの見守り体制の強化や防犯環境の整備により、犯罪のない地域づくりを推進します。

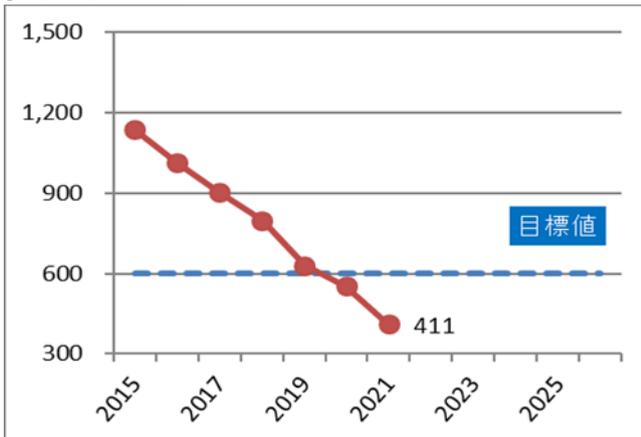
めざすべき姿

市民が子どもの見守り活動や地域主体の防犯活動に積極的に参加することで、地域の防犯力が高まっています。また、地域で犯罪を防ぐための環境が整備され、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。

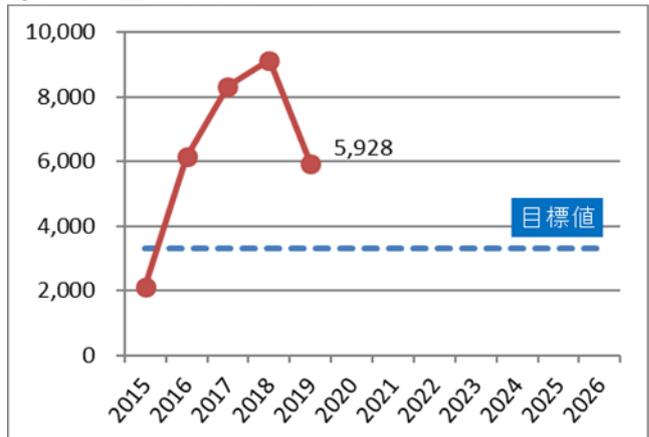
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 犯罪認知件数	件	411 R3(2021)年	600 R8(2026)年
② 防犯教室への参加者数	人	5,928 H31(2019)年度	3,300 R8(2026)年度

①犯罪認知件数



②防犯教室への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 防犯対策事業	危機管理室	後が絶たない高齢者に対する特殊詐欺による被害の未然防止対策として、引き続き、自動通話録音装置の貸与を行います。また、児童・生徒の登下校時に実施している青色防犯パトロールを、学童保育の帰宅時間帯にも拡大して実施します。さらに、本市防犯委員会、富田林警察署管内防犯協議会並びに富田林警察署と連携を密にし、市域における防犯活動を積極的に推進します。				
	R4予算(千円)					
	16,598					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	705
	拡充	犯罪認知件数	件	R2年度	目標値	897
				実績値	553	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 防犯灯補助事業	危機管理室	市民の安全・安心な暮らしの確保を図るため、防犯灯の新設に係る補助金に加え、既設防犯灯の器具取替や管理灯数に応じた維持管理費補助金を引き続き交付します。また、消費電力に応じたきめ細やかな補助ができるよう新たな補助区分を設定し、防犯灯管理団体である町会等の負担軽減を図ります。				
	R4予算(千円)					
	29,620					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	11,179
	見直し	防犯灯市内全灯数	灯	R2年度	目標値	10,981
				実績値	11,069	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 地縁団体防犯カメラ整備補助事業	危機管理室	地域における街頭犯罪等を未然に防ぐため、町会・自治会による防犯カメラの設置・更新費用に対し、引き続き補助金を交付します。				
	R4予算(千円)					
	5,475					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	225
	継続	町会等による防犯カメラ設置補助制度利用総台数	台	R2年度	目標値	165
				実績値	172	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり

(1) 安全・安心な暮らしの確保

個別施策

23 消防・救急体制の強化

関連するSDGs



基本的な方向

緊急時における迅速・的確な対応により、市民の生命・身体・財産を守るため、消防・救急体制の充実を図るとともに、関係団体等との連携強化や、地域での啓発活動を通じて、市民の防火意識高揚や応急手当等の知識普及を推進します。

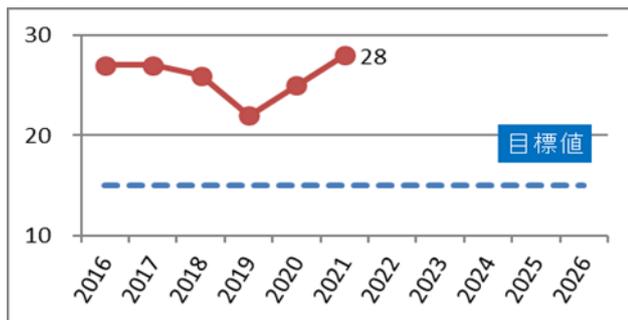
めざすべき姿

消防・救急体制が強化され、災害時も含めて安心できるまちとなっています。また、多くの方が消防団活動や消防訓練に参加することで、防火意識や地域の消防力が高まっています。さらに、子どもの頃から救急講習等を受け、緊急時に的確に対応できる市民が育ったまちとなっています。

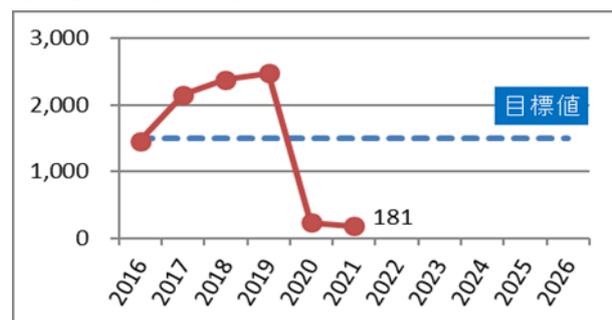
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 火災発生件数	件	28 R3(2021)年	15 R8(2026)年
② 応急手当等の講習受講者数	人	181 R3(2021)年	1,500 R8(2026)年
③ 救急授業を実施している小学校数	校	16 H31(2019)年度	16(全市立小学校) R8(2026)年度

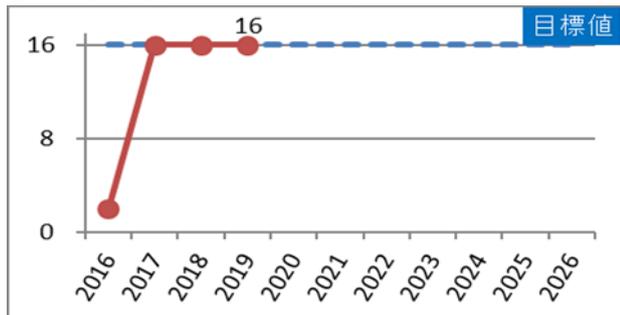
①火災発生件数



②応急手当等の講習受講者数



③救急授業を実施している小学校数



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 常備消防管理事業	消防総務課	職員の消防大学校への積極的な派遣により、幹部消防職員のスキルアップに努め、災害対応力のさらなる向上を図ります。				
	R4予算(千円)					
	64,216					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 非常備消防事業	消防総務課	地域防災体制の要である消防団について、地域密着性、要員動員力、即時対応力を維持するため、被用者、女性、学生等の幅広い層の入団促進を進め、新時代に即した持続可能な組織体制づくりに取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	29,229					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 消防施設整備事業	消防総務課	「市民の安全・安心・いのちを守るまちづくり」を推進するため、消防車両の整備・更新を計画的に行うとともに、東条地区における第10分団車庫の建替えに向けた設計を行います。				
	R4予算(千円)					
	81,477					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 火災予防事業	予防課	重大違反対象物の公表制度を活用し、重大違反対象物の是正を図り、市民の安全・安心の確保に努めます。また、消防法令により義務化された消火器の設置促進に向け、対象の小規模飲食店に対し、消火器設置状況の把握に努めます。				
	R4予算(千円)					
	608					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	17
	継続	火災発生件数	件	R2年度	目標値	21
				実績値	28	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 常備消防活動事業	警備救急課	各種災害に的確に対応するため、感染症対応資器材等の強化を図るとともに、救急業務の高度化や救命率向上のため、救急救命士を計画的に養成し、効果的な研修等による資質向上に努めます。また、将来の地域防災の担い手を育成するため、小学生を対象とした防災教育を継続します。さらに、外国人市民等を対象に119番通報の仕方等を「やさしい日本語」で説明したリーフレットを新たに作成します。				
	R4予算(千円)					
	46,612					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	拡充	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (2) 快適に暮らせる環境づくり
 個別施策
24 快適な都市空間づくり



基本的な方向

富田林らしいまち並みを将来に引き継ぐことができる、計画的な土地利用を推進するとともに、地域の実情に応じた活性化を図り、すべての市民が快適に暮らせるまちづくりを進めます。

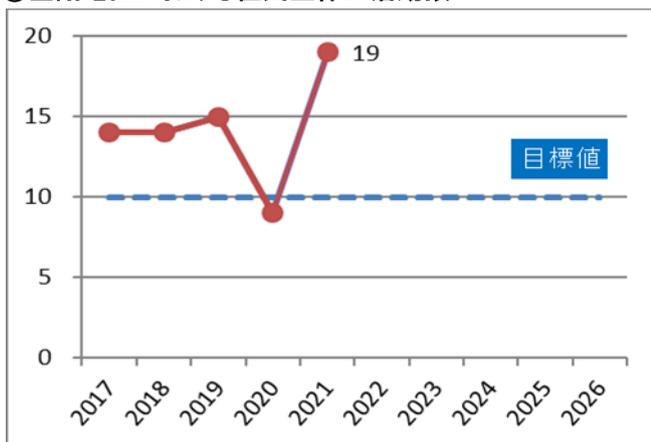
めざすべき姿

良好な住環境や景観等が整い、地域ごとの特性を活かしたまちづくりが行われることで、市民が憩い、暮らしやすさを感じる、富田林らしいまち並みが形成されています。

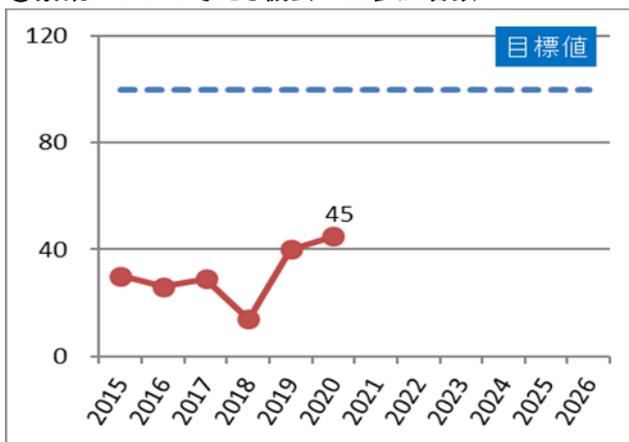
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 金剛地区における住民主体の活動数	件	19 R3(2021)年度	10 R8(2026)年度
② 景観について考える機会への参加者数	人	45 R2(2020)年度	100 R8(2026)年度

①金剛地区における住民主体の活動数



②景観について考える機会への参加者数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	都市計画管理事務	都市計画課	都市計画マスタープランに掲げるまちの将来像の実現に向け、各種事業の施策を推進します。また、持続可能なまちづくりを実現するため、居住機能や医療、福祉、商業等の都市機能の誘導区域を定める立地適正化計画を策定します。さらに、集客施設の立地等、市街化調整区域における有効な土地利用の検討や、特定生産緑地の指定に向けた取組を引き続き進めます。				
		R4予算(千円)					
		22,278					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8
		拡充	都市計画決定の数(市街化調整区域における地区計画)	件	R2年度	目標値	6
				実績値	6		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	金剛地区再生指針推進事業	金剛地区再生室	金剛地区再生指針に基づき、金剛地区まちづくり会議をはじめ、住民主体の自立した活動が活発化するよう支援を行うとともに、∞KON ROOMの魅力的な運営に取り組みます。また、UR都市機構・南海電気鉄道(株)との3者連携により、ふれあい大通りやその周辺空間を活用したエリアブランディングに資する地区活性化イベントを開催します。				
		R4予算(千円)					
		10,438					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8
		拡充	金剛地区における住民主体(金剛地区まちづくり会議)の活動数	件	R2年度	目標値	4
				実績値	9		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
3	金剛地区施設再整備事業	金剛地区再生室	金剛地区施設等再整備基本構想に基づき、既存施設の老朽化が課題となっている金剛中央公園のリニューアルに向けた基本計画を策定します。また、長らく使用されていなかったピュア金剛跡について、UR都市機構との連携により、ふれあい大通りと一体的な広場空間への整備を進めます。				
		R4予算(千円)					
		17,843					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		新規	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

25

暮らしを支える
都市基盤の整備

関連するSDGs



基本的な方向

老朽化が進む道路・上下水道等の都市基盤について、計画的な維持管理・更新に取り組むとともに、災害発生時の備えとしての耐震化や、上下水道事業の経営安定化に向けた取組を推進します。

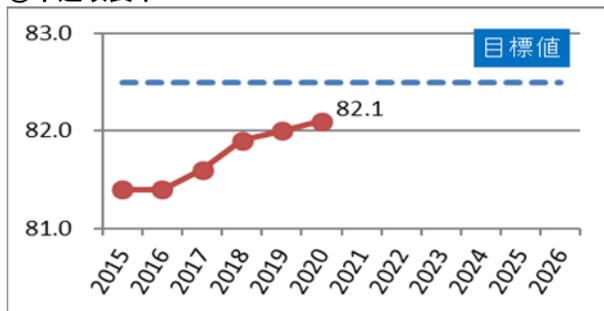
めざすべき姿

安全でアクセス性の良い道路や、安全で安心な水、生活排水処理施設を利用することで、市民が暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちとなっています。

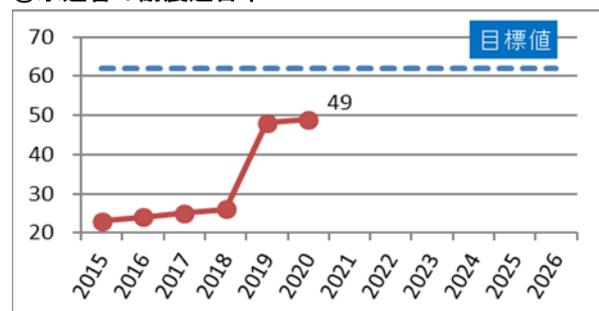
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市道改良率	%	82.1 R2(2020)年度	82.5 R8(2026)年度
② 水道管の耐震適合率	%	49 R2(2020)年度	62 R8(2026)年度
③ 下水道普及率	%	93.6 R2(2020)年度	96.5 R8(2026)年度

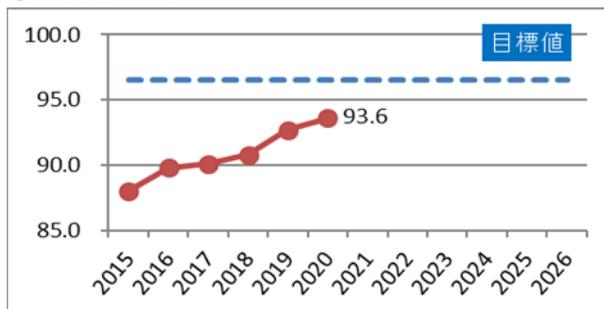
①市道改良率



②水道管の耐震適合率



③下水道普及率



目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 橋梁維持補修事業	道路交通課	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適切な修繕を行ない、橋梁の長寿命化を図ります。また、トンネル等の道路施設についても必要に応じた修繕を引き続き行います。さらに令和4年度から、ピュア金剛跡とふれあい大通りについて、一体的な広場空間へ整備を進めるため、ふれあい大通りに架かる歩道橋の撤去および歩道空間の整備に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	32,654					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	23
	拡充	橋梁長寿命化対策進捗率	%	R2年度	目標値	17
				実績値	10	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 通学路・交通安全施設整備事業	道路交通課	通学路や未就学児が日頃移動する経路については、危険箇所解消のため関係機関と連携し、安全確保に努めます。また、転落防止柵やカーブミラーなどの新設・補修、歩道の補修を行なうことにより、歩行者や通行車両の安全を確保し事故防止に努めます。さらに令和4年度から市民や企業、交通事業者からベンチの寄附を募り、バス停や歩道に設置する「ひとやすみベンチ」事業を進めます。				
	R4予算(千円)					
	59,022					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	100
	拡充	交通安全施設の要望に対する整備率	%	R2年度	目標値	100
				実績値	50	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 上下水道料金賦課徴収事業	上下水道総務課	水道お客様センターの運営や、検針・収納業務について、引き続き委託業務により取り組みます。また、さらなる利便性向上や事務効率化を目的に、水道施設運転管理業務や料金徴収業務等について、周辺自治体との共同発注の方策を検討します。				
	R4予算(千円)					
	86,130					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	93
	継続	上下水道料金徴収率	%	R2年度	目標値	93
				実績値	90.4	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 公共下水道維持管理事業	下水道課	下水道施設の適切な維持管理に努めるとともに、南河内4市町村における下水道事務の広域化・共同化により、適切な技術継承や事務効率化による市民サービスの向上に努めます。また、PFI方式による管渠の長寿命化に取り組むとともに、市民による排水設備改善工事に係る費用に対して引き続き助成を行い、雨水の汚水管侵入水対策を効率的に進めます。				
	R4予算(千円)					
	235,437					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 下水道普及促進事業	下水道課	公共下水道における未普及地の解消に向け、公共下水道への接続啓発や接続相談に取り組み、市民による水洗化工事に係る助成制度の利用促進に努めます。				
	R4予算(千円)					
	990					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	100
	継続	水洗化率	%	R2年度	目標値	96
				実績値	94.2	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	浄化槽市町村整備推進事業	下水道課	BOD数値の高い浄化槽について、使用状況の確認や住民への指導、公共浄化槽の適切な維持管理を実施し、水質向上につなげるとともに、本体不良については積極的な入替工事を行います。				
		R4予算(千円)					
		59,104					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	5
		継続	管理浄化槽排水BOD平均値	mg/ℓ	R2年度	目標値	5
				実績値	7.4		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
7	流域関連公共下水道整備事業	下水道課	令和6年度の汚水整備の達成を目標に、町会や関係者と協力しながら、市街化区域の下水道管布設を継続するとともに、金剛排水区内の管内調査に取り組みます。また、計画的な耐震化に向け、令和4年度は、雨水管の耐震診断調査を実施します。さらに、災害時における被災者の健康被害や衛生状況の悪化等の課題を解消するため、避難所となる小・中学校へのマンホールトイレの設置を順次進めます。				
		R4予算(千円)					
		596,648					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	96
		拡充	下水道普及率	%	R2年度	目標値	94
				実績値	93.6		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
8	管路更新耐震化事業	水道工務課	水道事業財務及び事業計画に基づく管路の更新を、今後も継続して推進するため、引き続き小規模な設計施工一括発注方式を実施します。				
		R4予算(千円)					
		643,656					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	58
		継続	水道管の耐震適合率	%	R2年度	目標値	50
				実績値	49.1		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
9	アセットマネジメントに基づいた施設の機能維持	水道工務課	水道事業財務及び事業計画において抽出した更新対象施設について、点検記録・事故記録及び修繕履歴等の分析によるアセットマネジメントに取り組みます。また、配水池については、予防保全による長寿命化を図ると共に、金剛東配水池の小水力発電装置において、令和5年度を目途に、災害時の非常用電力等の確保に向けた活用について検討を進めます。				
		R4予算(千円)					
		522,109					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	56.6
		継続	法定耐用年数超過設備率	%	R2年度	目標値	71.2
				実績値	71.2		

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (2) 快適に暮らせる環境づくり

個別施策

26 住宅政策の推進



基本的な方向

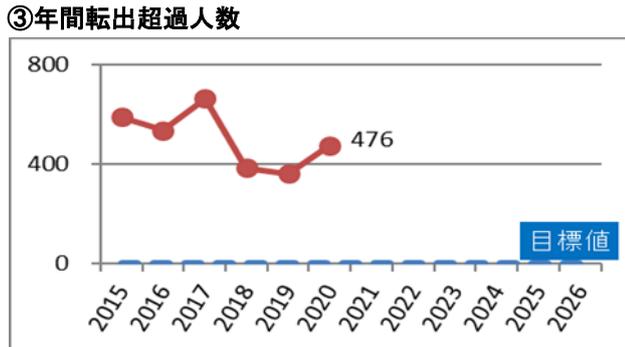
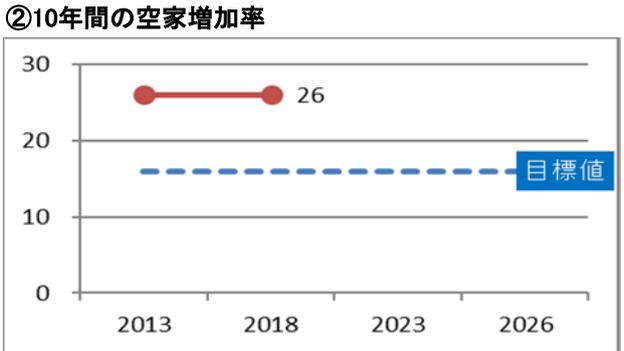
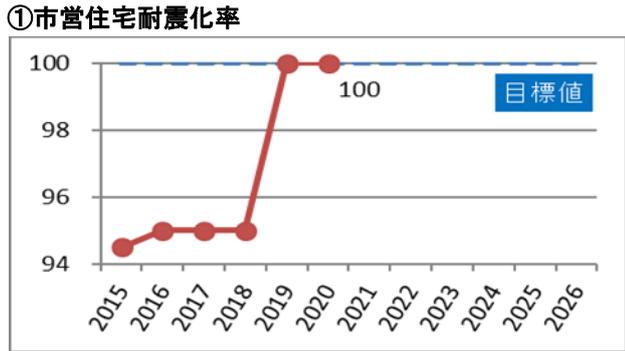
誰もが安心して快適に住み続けられる良好な住環境づくりを推進するとともに、市営住宅の計画的な建替えや改修、空き家の適正管理や有効活用、移住・定住者のさらなる確保に向けた取組を推進します。

めざすべき姿

若い世代から高齢者まで、あらゆる世代の市民が暮らしやすい良好な住環境となっており、暮らしの場としての魅力が高まっていることで、市外の人にとっては移住先として、市民にとっては定住の地として、本市を選ぶ人が増えています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市営住宅耐震化率	%	100 R2(2020)年度	100 R8(2026)年度
② 10年間の空家増加率	%	26 H30(2018)年度	16 R8(2026)年度
③ 年間転出超過人数	人	476 R2(2020)年度	0 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 空家対策事業	住宅政策課	空き家バンク登録物件を増やすため、登録推奨金制度や、登録物件に対するインスペクション（建物状況調査）補助制度を新設し、空き家バンクの活性化を図り、空き家の利活用促進につなげます。また、既存の老朽化した危険な空き家の除却補助制度も継続し、利活用・除却の両側面から空き家の解消を図ります。				
	R4予算(千円)					
	5,628					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	18
	拡充	空家増加率	%	R2年度	目標値	12
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 住宅取得転入促進事業(再掲)	住宅政策課	親世帯との近居・同居を目的とし、本市内に転入してきた若者世帯に対する住宅取得補助制度について、祖父母世帯との近居・同居や、パートナーシップ宣誓者の方も新たに対象とすることで、さらなる移住の促進を図るとともに、子育てや介護等において、世代間で支え合い、互いに安心して暮らせる環境づくりにつなげます。				
	R4予算(千円)					
	17,915					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	400
	拡充	本給付金制度を活用された転入世帯数	世帯	R2年度	目標値	200
				実績値	234	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 若松地区公共施設再整備事業	住宅政策課	若松地区における老朽化した公共施設等については、必要に応じて適時計画の見直しを行いながら、整備を進めます。				
	R4予算(千円)					
	55,606					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	86
	拡充	事業の進捗状況	%	R2年度	目標値	43
				実績値	43	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
4 住宅管理事業	住宅政策課	若松・甲田・錦織の市営住宅入居者に良好な居住環境を提供するため、施設の修理営繕や管理委託を実施し、効率的なサービス提供に取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	43,552					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	見直し	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
5 市営住宅整備事業	住宅政策課	富田林市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的に改善事業等を実施し、市営住宅の適切な維持管理に努めます。				
	R4予算(千円)					
	11,278					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	38
	拡充	市営住宅長寿命化計画の事業進捗率	%	R2年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (2) 快適に暮らせる環境づくり
 個別施策
27 交通政策の推進



基本的な方向

高齢者をはじめ、誰もが利用しやすい公共交通網の形成や、移動しやすい環境づくりのためのバリアフリー化を進めるとともに、交通マナーの啓発や、交通安全対策の充実に向けた取組を推進します。

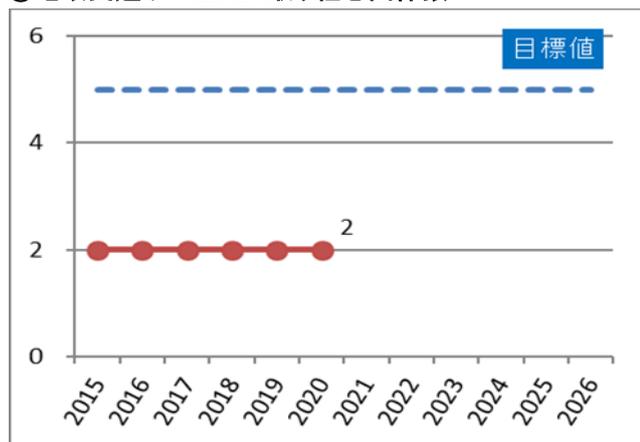
めざすべき姿

市内の電車・バスなどの公共交通等の利用が活発になり、交通環境のバリアフリー化が進むことで、誰にとっても利用しやすく、移動しやすいまちとなっています。また、市民の交通マナーや安全意識が高まり、交通事故が起りにくいまちとなっています。

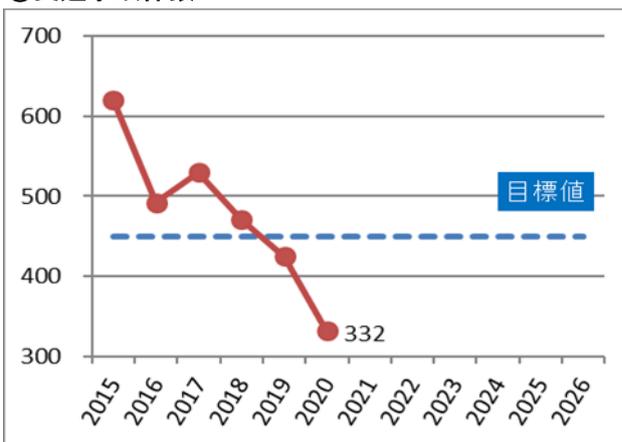
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 地域交通サービスに取り組む団体数	団体	2 R2(2020)年度	5 R8(2026)年度
② 交通事故件数	件	332 R2(2020)年度	450 R8(2026)年度

①地域交通サービスに取り組む団体数



②交通事故件数



目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
1	レインボーバス等運行事業	道路交通課	交通不便地域を含む一部の地域及び公共施設を経由しない地域へ公共交通サービスが提供できるよう、富田林市交通会議及びレインボーバスの在り方分科会を開催し、将来的なレインボーバスの方向性を検討します。				
		R4予算(千円)					
		19,810					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	57
		継続	コミュニティバス(レインボーバス)利用者数	千人	R2年度	目標値	57
				実績値	40		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
2	交通政策検討事務事業	道路交通課	近畿運輸局との地域連携サポートプラン協定による提案書の内容を踏まえ、富田林市交通会議において地域公共交通計画を令和4年度に策定し、多様な交通サービスの導入に向けた検討を進めます。また、公共交通の利用促進として、バス事業者へのICカードシステム導入費用の一部補助を実施します。さらに、交通不便地域における地域主導による公共交通サービスの実現を図ります。				
		R4予算(千円)					
		36,295					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2,437
		拡充	路線バス乗降者数(近鉄バス、南海バス)	千人	R2年度	目標値	2,437
				実績値	1,848		

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (3) 環境にやさしく美しい地域づくり

個別施策

28 低炭素社会の構築



基本的な方向

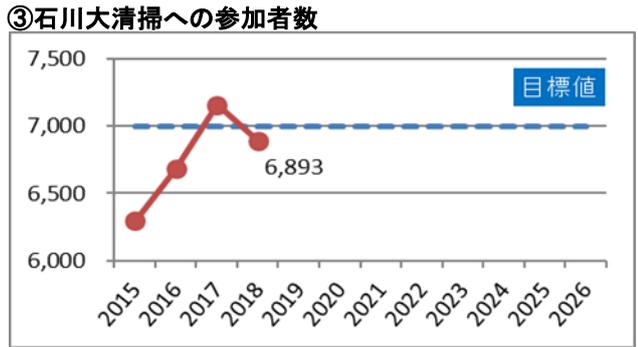
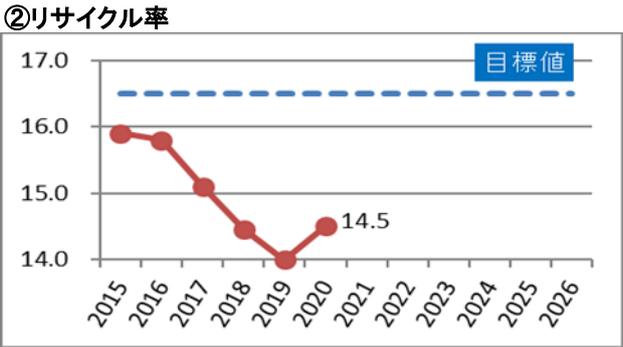
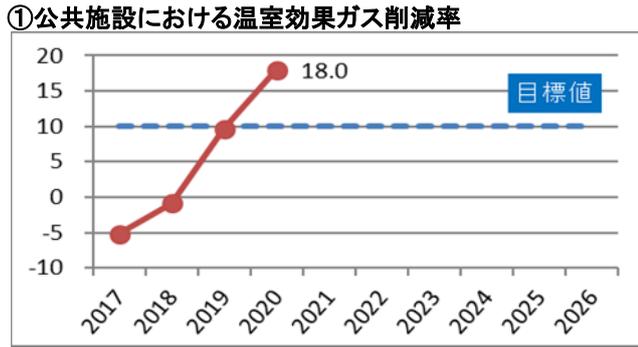
低炭素社会の実現に向けた取組を全市的に進めるため、省エネルギー化やクリーンエネルギーの利用促進、4Rの推進等、環境負荷の少ない地域づくりを進めるとともに、市民や事業所等との協働により、環境美化に向けた取組を推進します。

めざすべき姿

市民や事業所が省エネルギー化やクリーンエネルギーの利用、ごみの減量やリサイクルに取り組み、市全体で環境に配慮した地球にやさしい暮らし方や事業活動が行われています。また、多くの市民が市内の河川などの自然環境を美化する活動に参加しており、まちの美しさが維持されています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 公共施設における温室効果ガス削減率	%	18.0 R2(2020)年度	10 R8(2026)年度
② リサイクル率	%	14.5 R2(2020)年度	16.5 R8(2026)年度
③ 石川大清掃への参加者数	人	6,893 H30(2018)年度	7,000 R8(2026)年度



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 公害対策事業	環境衛生課	富田林市地球温暖化対策実行計画（第4次）に基づき、低炭素社会の実現に向けた取組を全市的に進めます。また、太陽光発電システムや家庭用燃料電池(エネファーム)の設置補助を継続し、市民や事業者等との協働による地球温暖化対策の推進及び環境保全に向けた取組を引き続き進めます。				
	R4予算(千円)					
	12,248					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	261
	継続	太陽光発電システム及び家庭用燃料電池(エネファーム)の設置費補助金交付件数	件	R2年度	目標値	261
				実績値	155	
2 環境美化推進事業	環境衛生課	「環境にやさしく美しいまちづくり」の実現に向け、ポイ捨て防止などの啓発活動に引き続き取り組みます。また、石川大清掃をはじめ、市民や団体、事業所等との協働による環境美化活動を推進します。				
	R4予算(千円)					
	810					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	7000
	継続	石川大清掃への参加者数	-	R2年度	目標値	7000
				実績値	-	
3 ごみ減量対策事業	環境衛生課	イベントや広報誌、市ウェブサイトにおいて、ごみ減量化の啓発に継続して取り組みます。また、リチウムイオン電池などのリサイクルを促進するため、公共施設において、分別回収ボックスの設置拠点化を順次進めます。				
	R4予算(千円)					
	6,915					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	16.5
	継続	リサイクル率	%	R2年度	目標値	16.2
				実績値	14.5	
4 ごみ収集事業	環境衛生課	高齢者・障がい者など、ごみ出しが困難な人への支援として実施している「ふれあい収集」について、引き続き取り組むとともに、受付枠のさらなる拡充を検討します。				
	R4予算(千円)					
	737,975					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	310
	継続	年間ごみ収集日数	日	R2年度	目標値	310
				実績値	485	
5 清掃管理事業	環境衛生課	ごみの減量やリサイクルのさらなる促進に向け、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間見直しを実施します。				
	R4予算(千円)					
	6,624					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	見直し	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	

分野別施策4 安全・安心で美しく快適なまちづくり
 (3) 環境にやさしく美しい地域づくり

個別施策

29 自然・歴史環境の保全

関連するSDGs



基本的な方向

過去から受け継がれてきた豊かな自然環境や歴史的資源を、将来へ継承していくため、市民や団体等との協働による保全活動などに取り組むとともに、身近な緑の維持・管理を進めます。

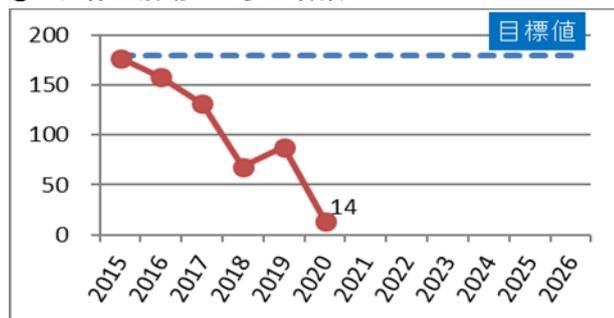
めざすべき姿

多くの市民が自然を守る活動や身近な緑化活動、文化財などの歴史・文化を保護する活動に参加しており、誰もが豊かな自然・歴史・文化にふれ、癒しを感じながら暮らすことができるまちとなっています。

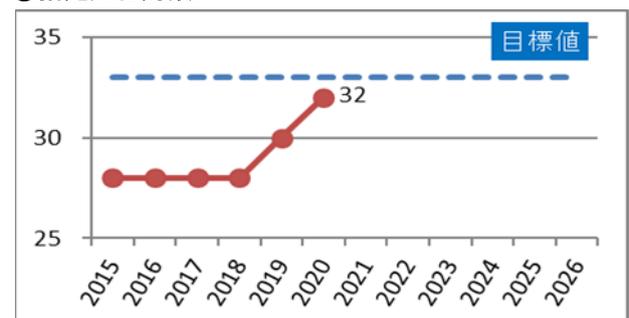
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 里山保全活動への参加者数	人	14 R2(2020)年度	180以上 R8(2026)年度
② 指定文化財数	件	32 R2(2020)年度	33 R8(2026)年度
③ 市民一人あたりの公園面積	m ² /人	16.8 R3(2021)年度	16.3 R8(2026)年度

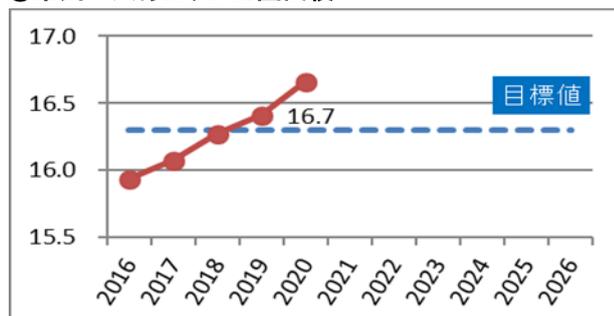
①里山保全活動への参加者数



②指定文化財数



③市民一人あたりの公園面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 所有者のいない猫対策事業	環境衛生課	「クラウドファンディング型ふるさと納税」により寄せられた寄附金を活用し、引き続き「地域猫活動」の実施団体に対する補助に取り組むとともに、動物の愛護及び管理についての意識を高め、人と動物の共生する社会の実現を図ります。				
	R4予算(千円)					
	3,041					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	120
	継続	不妊去勢手術実施数	件	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
2 公園整備事業	農とみどり推進課	市民や企業、交通事業者からベンチの寄附を募り、公園に設置する「ひとやすみベンチ」事業を進めます。				
	R4予算(千円)					
	83,995					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	16.3
	拡充	市民一人当たりの公園面積	m ² /人	R2年度	目標値	16.1
				実績値	16.7	
3 文化財管理事業	文化財課	文化財保護条例に基づき、歴史資源の保全を図るため、市内の文化財などについて維持管理を適切に行い、市指定文化財の指定作業を進めます。また、市域の文化財の将来的なビジョンや具体的な事業を定める文化財保存活用地域計画の策定に向け、令和4年度は、策定協議会の開催や地域の文化財を把握するための総合的把握調査などに取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	12,245					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	3
	拡充	市指定文化財件数(累積)	件	R2年度	目標値	2
				実績値	3	
4 埋蔵文化財調査事業	文化財課	開発等により失う可能性のある市内の埋蔵文化財について、文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、その調査成果の記録保存を行います。また、国指定史跡である新堂廃寺跡においては、オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳を含め、関係機関との整備に向けた協議など、保存活用計画の策定に向けた取組を進めます。				
	R4予算(千円)					
	9,968					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	5
	継続	埋蔵文化財調査実施件数	件	R2年度	目標値	5
				実績値	4	
5 寺内町保存事業	文化財課	重要伝統的建造物群保存地区「富田林寺内町」の保存を図るとともに、地元関係団体などと連携・協働しながら、エリア内の空き家対策や興正寺別院修理に向けた取組を進めます。また、災害に強い地域づくりに向け、関係団体と協力・連携し、防災講習会の開催など、引き続き富田林寺内町に特化した防災計画の策定に向けて取り組みます。				
	R4予算(千円)					
	6,978					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	37,500
	継続	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館来館者数)	人	R2年度	目標値	36,500
				実績値	10,380	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
6	寺内町整備事業	文化財課	重要伝統的建造物群保存地区「富田林寺内町」内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景を進め、引き続き歴史的な景観保全に努めるとともに、富田林寺内町の文化財的価値の向上を図ります。				
		R4予算(千円)					
		20,091					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	8
		継続	修理・修景物件の件数	件	R2年度	目標値	3
	実績値	3					
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
7	歴史資料保存活用事業	文化財課	市内の文化財をオンラインで学ぶことができる文化財デジタルアーカイブ「おうちdeミュージアム」の充実を図るとともに、学校教育での活用を促進するなど、市文化財の普及啓発に取り組みます。また、引き続き本市が管理している文化財や歴史情報の適切な管理に努めます。				
		R4予算(千円)					
		19,439					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	450
		拡充	講演会(出前講座含む)参加者数	人	R2年度	目標値	450
	実績値	-					

経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進

経営的施策

1 効率的・効果的な行財政運営

関連するSDGs



基本的な方向

多様化する市民ニーズや社会状況の変化に対応しながら、行政事務の効率化や健全な財政運営、都市間連携等により、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進するとともに、市民サービスの向上を図ります。

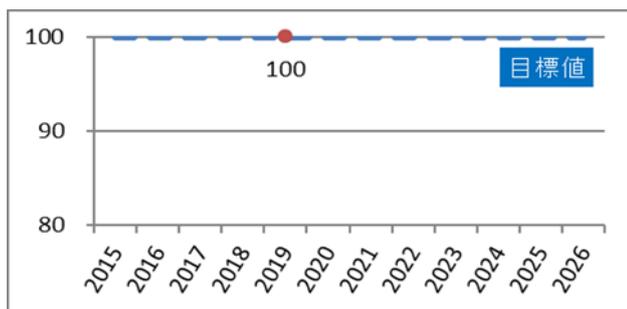
めざすべき姿

ICTや民間企業のノウハウが有効活用され、財政状況の見える化が進んでいるなど、透明性の高い、効率的・効果的な行財政運営が行われることで、市民のニーズに応えることができる質の高い行政サービスが持続的に提供されています。

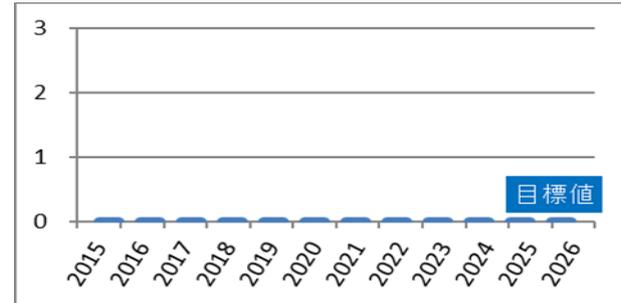
施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 行財政改革プランの目標達成率	%	-	100 R8(2026)年度
② 将来負担比率	%	—(※) H31(2019)年度	—(※) R8(2026)年度
③ 新たな都市間連携の取組数(10年間合計)	件	15 R2(2020)年度	10 R8(2026)年度

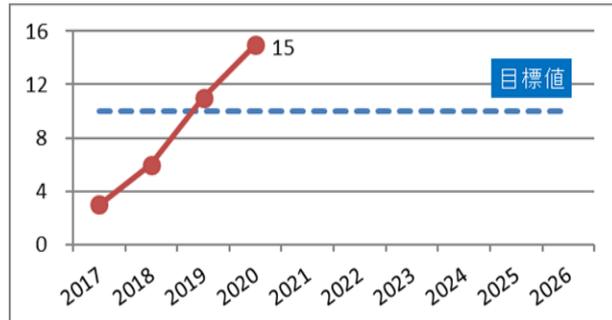
①行財政改革プランの目標達成率



②将来負担比率



③新たな都市間連携の取組数



※現状値・目標値の「—」は、将来負担比率が算定されず、現時点において今後支払うべき負担等が将来の財政を圧迫する可能性が低いことを示す

目標実現のための主な施策・事業						
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 デジタル化推進事業	政策推進課	庁舎建設中の分散体制や新庁舎への移行も見据え、民間知見の効果的な活用により、自治体DXの推進に向けた方針等を作成し、具体的なデジタル化の取組につなげます。また、デジタル化に係る庁内横断的な連携体制を構築するとともに、職員のITリテラシー向上に向けた取組を進めます。				
	R4予算(千円)	10,905				
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	新規	-	-	R2年度	目標値	-
					実績値	-
2 総合調整事務	政策推進課	庁舎建設中の分散体制や新庁舎への移行も見据えた効率的な窓口体制の整備に向け、企画や関係課との協議等を進めます。また、SDGsパートナーシップ制度の運用をはじめ、引き続き富田林市SDGs未来都市計画の推進に取り組みます。				
	R4予算(千円)	455				
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1.18
	継続	人口千人当たりの職員数の全国類似団体平均比	-	R2年度	目標値	1.18
					実績値	1.25
3 情報化推進事業	政策推進課	各システムやパソコン、プリンタなどの情報機器は、本市行政事務執行の基盤をなすものであることから、耐用年数を超えたものについては、順次入れ替えを実施します。また、住民の利便性向上を目的とし、24時間行政手続きの申請が可能な、オンライン申請フォームを新たに導入します。				
	R4予算(千円)	59,882				
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	0
	拡充	内部事務処理を行う情報システムシステムのシステムダウン回数	回	R2年度	目標値	0
					実績値	0
4 とんだばやしふるさと寄附金事務	都市魅力課	地域の特産品である返礼品をより効果的にPRするとともに、令和4年度において、新たなふるさと納税ポータルサイトの開設や、返礼品の拡大、クラウドファンディング型ふるさと納税の活用など、寄附金額・件数の確保に繋げるための方策について検討を進めます。				
	R4予算(千円)	115,661				
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	80,000
	拡充	ふるさと寄附金額	千円	R2年度	目標値	31,000
					実績値	53,555
5 文書管理事務	総務課	令和2年度に、文書管理システムの電子決裁システムを導入し、ペーパーレス化によるコストの削減、文書紛失のリスク回避等、公文書の適正管理に引き続き努めます。また、さらなる事務効率化、市民サービスの向上等につなげるため、既存文書の電子化に取り組みます。				
	R4予算(千円)	35,360				
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	見直し	-	-	R2年度	目標値	-
					実績値	-

目標実現のための主な施策・事業						
6	事業名	担当課	計画期間における事業の方向性			
	6 行政管理事務	行政管理課	行財政経営改革ビジョンに基づき、効率的かつ効果的な行財政運営と質の高い行政サービスの提供に取り組みます。また、事務事業の効率化や歳出の最適化に向け、行政評価制度の見直しや、指定管理施設のさらなる公募を進めます。さらに、補助金等検討委員会の提言をもとに、補助金適正化を図るとともに、新たな歳入の確保として、公共施設のネーミングライツ導入に向けて準備を進めます。			
		R4予算(千円)				
		388				
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値
見直し	将来負担比率	%	R2年度	目標値	0	
				実績値	-	
7	事業名	担当課	計画期間における事業の方向性			
	7 財政管理事務	財政課	今後更新時期を迎える老朽化した公共施設やインフラに係る将来費用を踏まえ、様々な財源の確保と、税等の一般財源の適切な配分を行います。また、地方公会計による財務書類及びその基礎データとなる固定資産台帳について、毎年度決算を基に作成及び更新作業を行うとともに、作成した財務書類等のより効果的な活用や分かりやすい概要版の作成に引き続き取り組みます。			
		R4予算(千円)				
		12,252				
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値
継続	財源を超えない予算査定	千円	R2年度	目標値	-	
				実績値	42,783,000	
8	事業名	担当課	計画期間における事業の方向性			
	8 市民税課税事務	課税課	個人住民税に係る給与支払報告書や確定申告書、市府民税申告書の収集・確認を行い、引き続き適正な課税を推進します。また、市民サービスのさらなる向上及び市民税課税事務の効率化を目的に、RPAの導入を検討します。			
		R4予算(千円)				
		49,054				
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値
継続	個人市民税課税額	千円	R2年度	目標値	5,847,660	
				実績値	6,180,414	
9	事業名	担当課	計画期間における事業の方向性			
	9 市税徴収事務	収納管理課	令和5年度課税分から、共通納税の対象税目に固定資産税・都市計画税、軽自動車税種別割、市府民税（普通徴収）が追加されることに伴い、納付書にQRコードを印刷し、いつでもどこでも納付ができることで、納税者の利便性向上や自主納付の促進につなげます。また、令和5年1月から軽自動車税の納付情報の電子化により、紙の納税証明書が不要となることで、継続検査手続きのワンストップ化につなげます。			
		R4予算(千円)				
		104,067				
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値
見直し	市税収入額	百万円	R2年度	目標値	13,083	
				実績値	13,683	
10	事業名	担当課	計画期間における事業の方向性			
	10 契約検査事務	契約検査課	公平・公正な入札を確保するため、引き続き電子入札システムの運用を行います。また、一定規模以上の大型工事案件に対して、価格とそれ以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を導入し、入札制度のさらなる充実を図ります。			
		R4予算(千円)				
		5,880				
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値
見直し	電子入札案件の落札率(建設工事)	%	R2年度	目標値	-	
				実績値	89.6	

目標実現のための主な施策・事業

事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
11	住基事務	市民窓口課	マイナンバーカードの普及促進及び窓口混雑の緩和のため、令和9年3月31日まで、コンビニ等で交付している住民票の写しなどの手数料を減額します。また、カードの円滑な交付のため、臨時カード交付窓口を設置します。				
		R4予算(千円)					
		170,875					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	26
		見直し	マイナンバーカード保有率	%	R2年度	目標値	18
				実績値	24.0		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
12	旅券事務	市民窓口課	市民の利便性向上のため、パスポートの電子申請及びオンライン納付の導入に向け、体制整備を進めます。				
		R4予算(千円)					
		8,189					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	1
		継続	来庁者一人当たりの平均待時間	分	R2年度	目標値	2
				実績値	2		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
13	広域福祉事業	増進型地域福祉課 (広域福祉課)	南河内6市町村による福祉分野のスケールメリットを活かした共同処理を推進し、経費削減や、障害者手帳交付等に係る事務処理の迅速化など、市民サービスの向上に努めます。				
		R4予算(千円)					
		99,146					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		
事業名		担当課	計画期間における事業の方向性				
14	広域まちづくり事業	増進型地域福祉課 (広域まちづくり課)	南河内6市町村による円滑なまちづくり分野のスケールメリットを活かした共同処理を推進し、経費削減や許可等行政処分に係る事務処理の迅速化など、市民サービスの向上に努めます。				
		R4予算(千円)					
		46,625					
		区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
		継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-		

経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進

経営的施策

2 計画的な財産管理

関連するSDGs



基本的な方向

持続可能な行財政運営のため、公共建築物について、将来見通しに基づく総量の最適化を図るとともに、予防的な保全による長寿命化、民間活力の活用等によるライフサイクルコストの縮減に計画的に取り組みます。

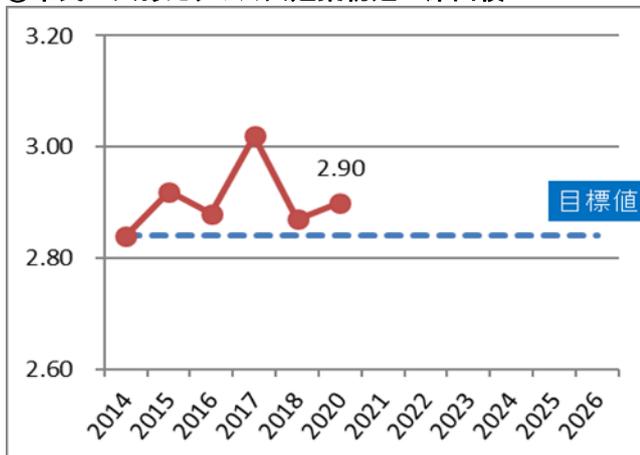
めざすべき姿

市内の公共施設の耐震化や長寿命化がはかれることで、市民の誰もが安心して快適に利用できる施設になっています。また、公共施設の計画的な管理により、良好な施設サービスが提供されています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市民一人あたりの公共建築物延べ床面積	m ² /人	2.90 R2(2020)年度	2.84 R8(2026)年度

①市民一人あたりの公共建築物延べ床面積



目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 新庁舎建設事業	総務課	庁舎整備基本計画に基づき、引き続き、新庁舎の設計関係業務及び建設工事発注に係る支援業務を実施し、令和5年度の工事着手をめざします。				
	R4予算(千円)					
	301,030					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	-
	継続	-	-	R2年度	目標値	-
				実績値	-	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
2 車両管理事務	行政管理課	民間活力の導入や業務の効率化を図る観点から、一元管理公用車更新時のリース契約を導入します。なお、導入台数については、庁舎建て替えに伴う仮庁舎分散配置における必要台数や時期を勘案しながら進めるとともに、一元管理公用車の最適台数についても引き続き検証を行います。				
	R4予算(千円)					
	10,913					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	10
	見直し	公用車乗車待ち発生回数	回	R2年度	目標値	10
				実績値	12	
事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
3 市有財産管理事務	行政管理課	公共施設等総合管理計画、公共施設再配置計画および各公共施設の個別施設計画に基づき、引き続き公共施設マネジメントを計画的に推進するとともに、適宜計画の見直しを行います。計画の見直しにあたっては、「総量の最適化」について、庁内横断的に目標値達成に向けた議論を深めるとともに、「長寿命化」「ライフサイクルコストの削減」についても、具体的な取組の検討を進めます。				
	R4予算(千円)					
	3,081					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	2.84
	継続	市民一人当たりの公共建築物延べ床面積	m ² /人	R2年度	目標値	2.84
				実績値	2.90	

経営的施策 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進

経営的施策

3 明日を担う職員の育成

関連するSDGs



基本的な方向

多様化する行政課題や市民ニーズに対応し、市民に親しまれ、信頼される市役所をめざし、職員における市民等との協働意識や、資質、能力の向上に向けた職員の人材育成に取り組みます。

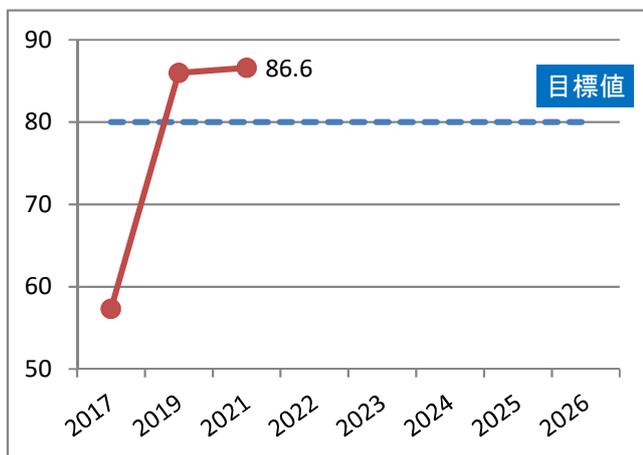
めざすべき姿

市職員が各職場でそれぞれの資質や能力を十分発揮しており、市民や団体、事業所等との協働によるまちづくりを進め、市民と行政の信頼関係が構築されたまちとなっています。

施策に関する指標

指標名	単位	現状値	目標値
① 市役所への市民満足度	%	86.6 R3(2021)年度	80以上 R8(2026)年度

①市役所への市民満足度



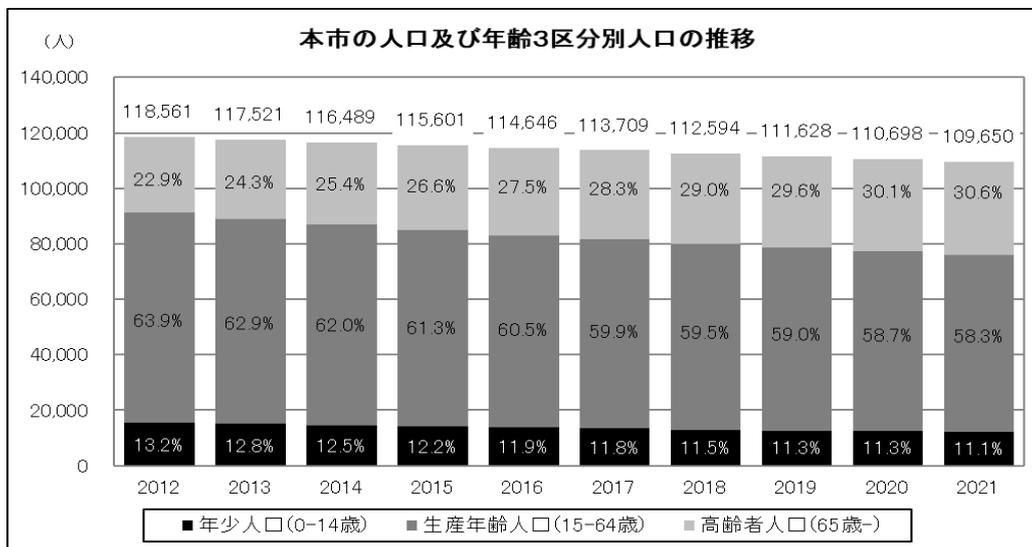
目標実現のための主な施策・事業

事業名	担当課	計画期間における事業の方向性				
1 人事管理事務	人事課	人材育成基本方針を改定するとともに、リモート実施も含めた職員研修の充実を図ることで、意識改革やコンプライアンスの徹底、職員の資質・能力の向上に努めます。また、新採職員に対する研修も精査し、新たな試みにもチャレンジするとともに、資格取得に対する助成事業は対象を拡大します。さらに、採用試験の方法を見直し、より多くの受験生を確保することで、優秀な職員の採用に努めます。				
	R4予算(千円)					
	29,150					
	区分(対前年度)	成果指標	単位	R6年度	目標値	95
	拡充	職員の研修習得度	%	R2年度	目標値	95
				実績値	91	

本市の現況

1. 人口の状況

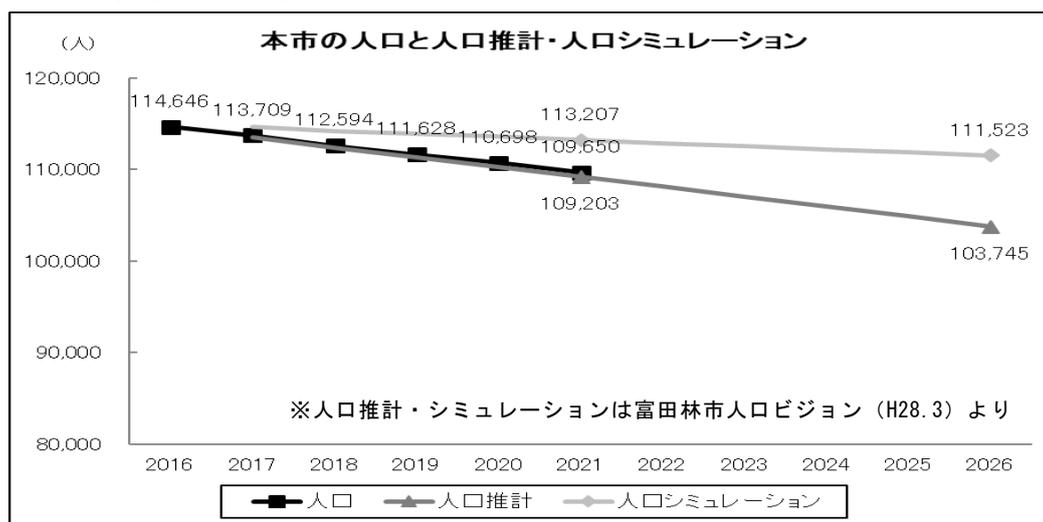
(1) 人口の推移



単位：人、各年4月1日現在

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
人口	118,561	117,521	116,489	115,601	114,646	113,709	112,594	111,628	110,698	109,650
年少人口(0-14歳)	15,628	15,090	14,589	14,088	13,695	13,363	12,938	12,645	12,461	12,198
生産年齢人口(15-64歳)	75,736	73,927	72,260	70,813	69,381	68,150	67,001	65,913	64,972	63,946
高齢者人口(65歳-)	27,197	28,504	29,640	30,700	31,570	32,196	32,655	33,070	33,265	33,506

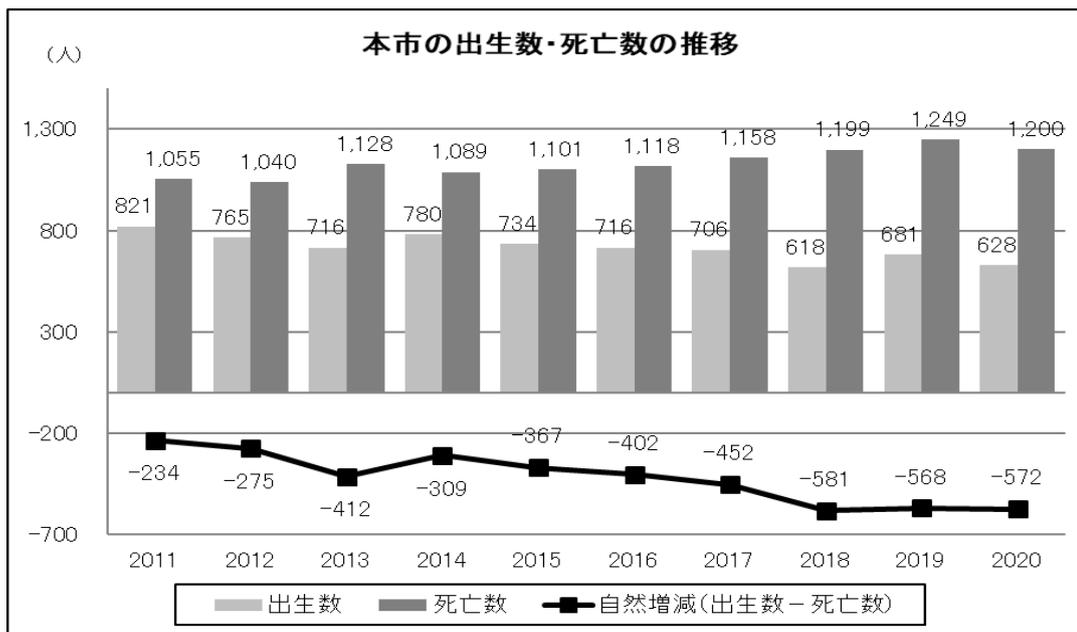
(2) 人口の推移と人口推計・人口シミュレーション



単位：人、各年4月1日現在

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
人口	114,646	113,709	112,594	111,628	110,698	109,650	-	-	-	-	-
人口推計	-	113,481	112,404	111,319	110,266	109,203	108,125	107,045	105,967	104,916	103,745
人口シミュレーション	-	114,628	114,205	113,846	113,564	113,207	112,859	112,510	112,194	111,905	111,523

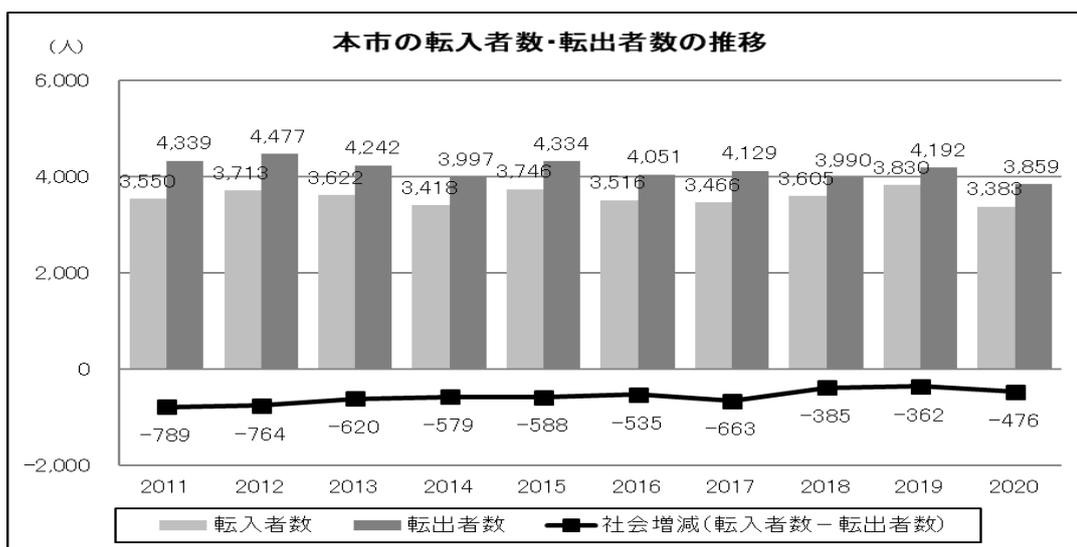
(3) 自然動態



単位：人、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
出生数	821	765	716	780	734	716	706	618	681	628
死亡数	1,055	1,040	1,128	1,089	1,101	1,118	1,158	1,199	1,249	1,200
自然増減(出生数-死亡数)	-234	-275	-412	-309	-367	-402	-452	-581	-568	-572

(4) 社会動態

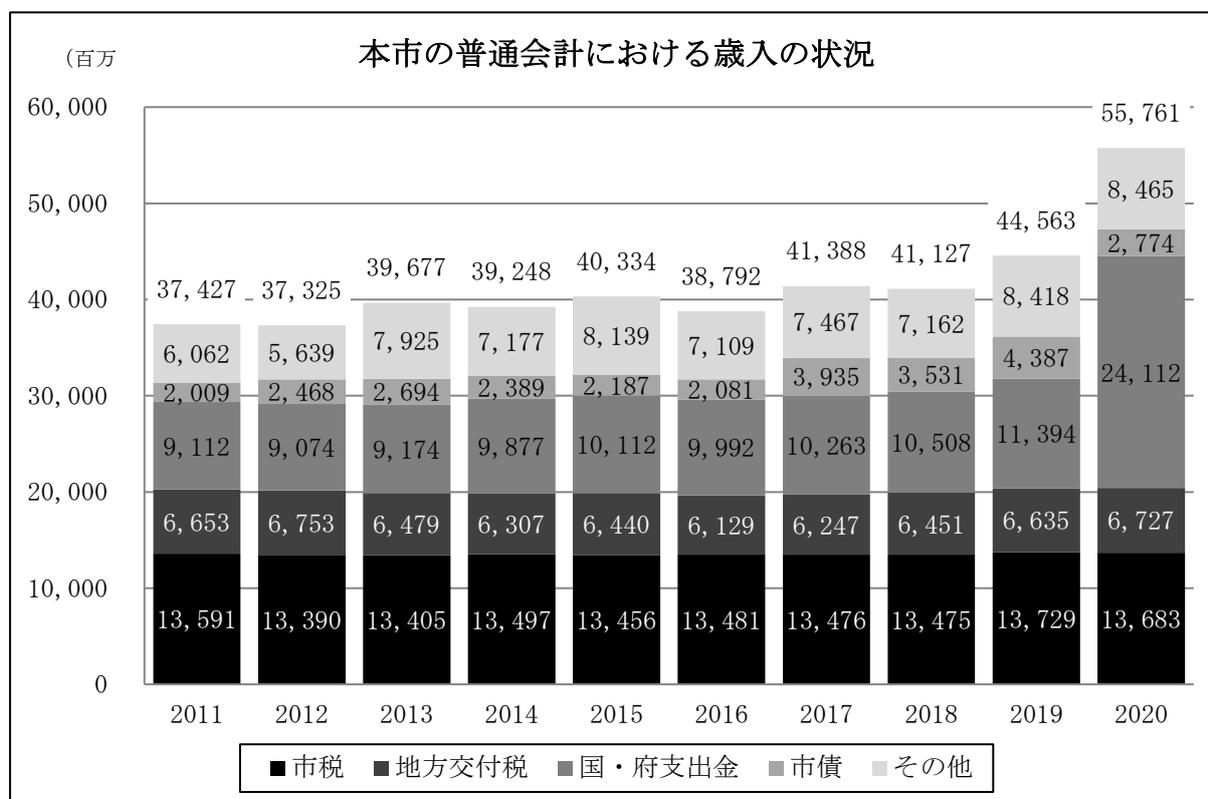


単位：人、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
転入者数	3,550	3,713	3,622	3,418	3,746	3,516	3,466	3,605	3,830	3,383
転出者数	4,339	4,477	4,242	3,997	4,334	4,051	4,129	3,990	4,192	3,859
社会増減(転入数-転出数)	-789	-764	-620	-579	-588	-535	-663	-385	-362	-476

2. 財政の状況

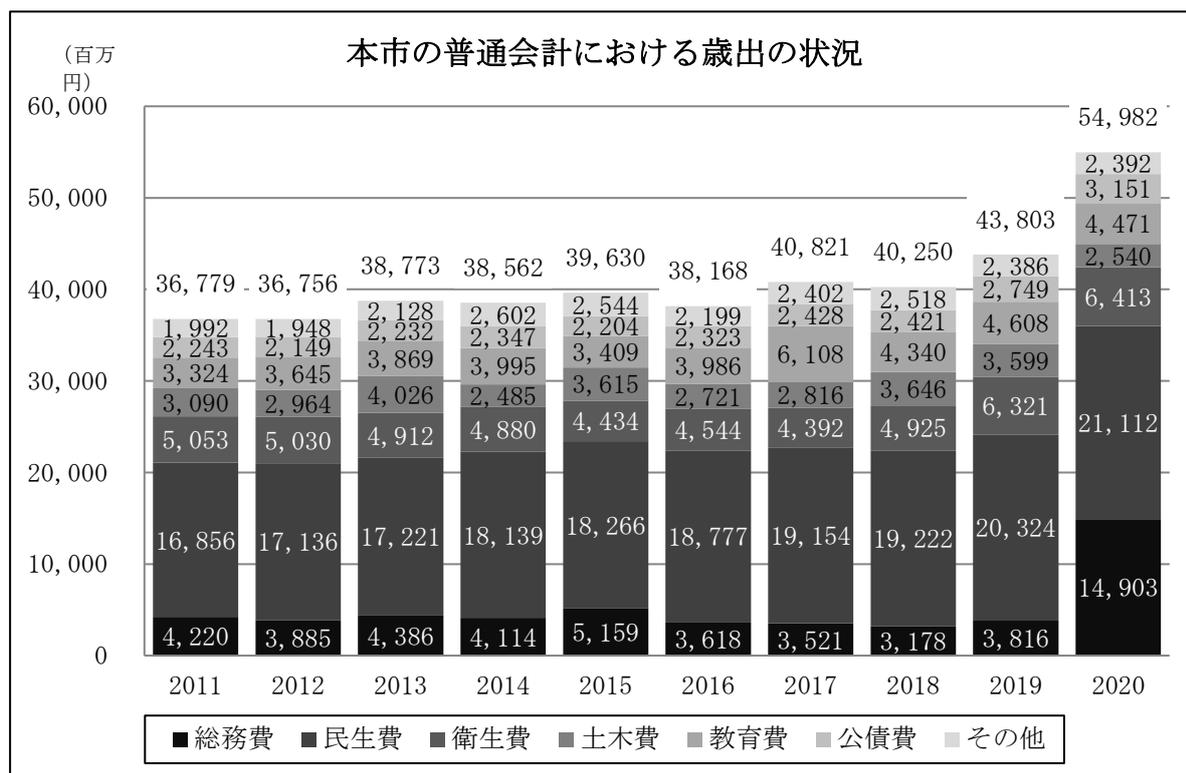
(1) 普通会計の歳入



単位：百万円、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
市税	13,591	13,390	13,405	13,497	13,456	13,481	13,476	13,475	13,729	13,683
地方交付税	6,653	6,753	6,479	6,307	6,440	6,129	6,247	6,451	6,635	6,727
国・府支出金	9,112	9,074	9,174	9,877	10,112	9,992	10,263	10,508	11,394	24,112
市債	2,009	2,468	2,694	2,389	2,187	2,081	3,935	3,531	4,387	2,774
その他	6,062	5,639	7,925	7,177	8,139	7,109	7,467	7,162	8,418	8,465
歳入合計	37,427	37,325	39,677	39,248	40,334	38,792	41,388	41,127	44,563	55,761

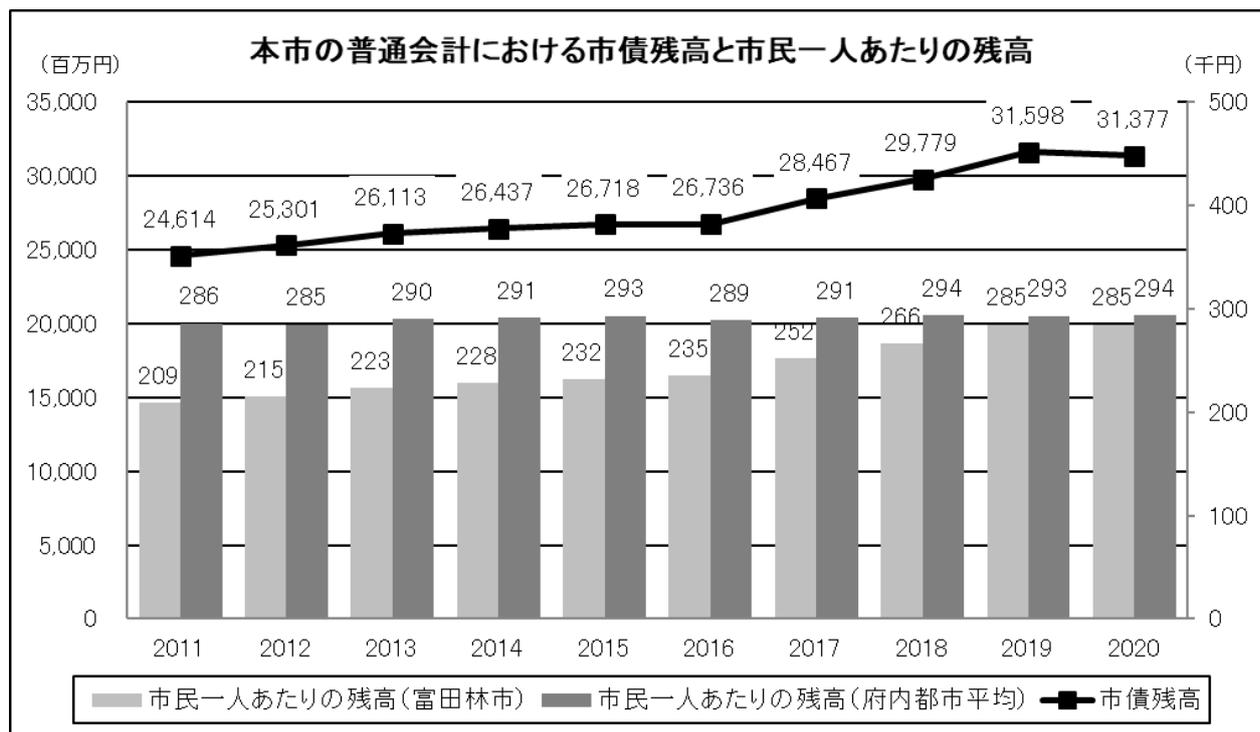
(2) 普通会計の歳出



単位：百万円、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
総務費	4,220	3,885	4,386	4,114	5,159	3,618	3,521	3,178	3,816	14,903
民生費	16,856	17,136	17,221	18,139	18,266	18,777	19,154	19,222	20,324	21,112
衛生費	5,053	5,030	4,912	4,880	4,434	4,544	4,392	4,925	6,321	6,413
土木費	3,090	2,964	4,026	2,485	3,615	2,721	2,816	3,646	3,599	2,540
教育費	3,324	3,645	3,869	3,995	3,409	3,986	6,108	4,340	4,608	4,471
公債費	2,243	2,149	2,232	2,347	2,204	2,323	2,428	2,421	2,749	3,151
その他	1,992	1,948	2,128	2,602	2,544	2,199	2,402	2,518	2,386	2,392
歳出合計	36,779	36,756	38,773	38,562	39,630	38,168	40,821	40,250	43,803	54,982

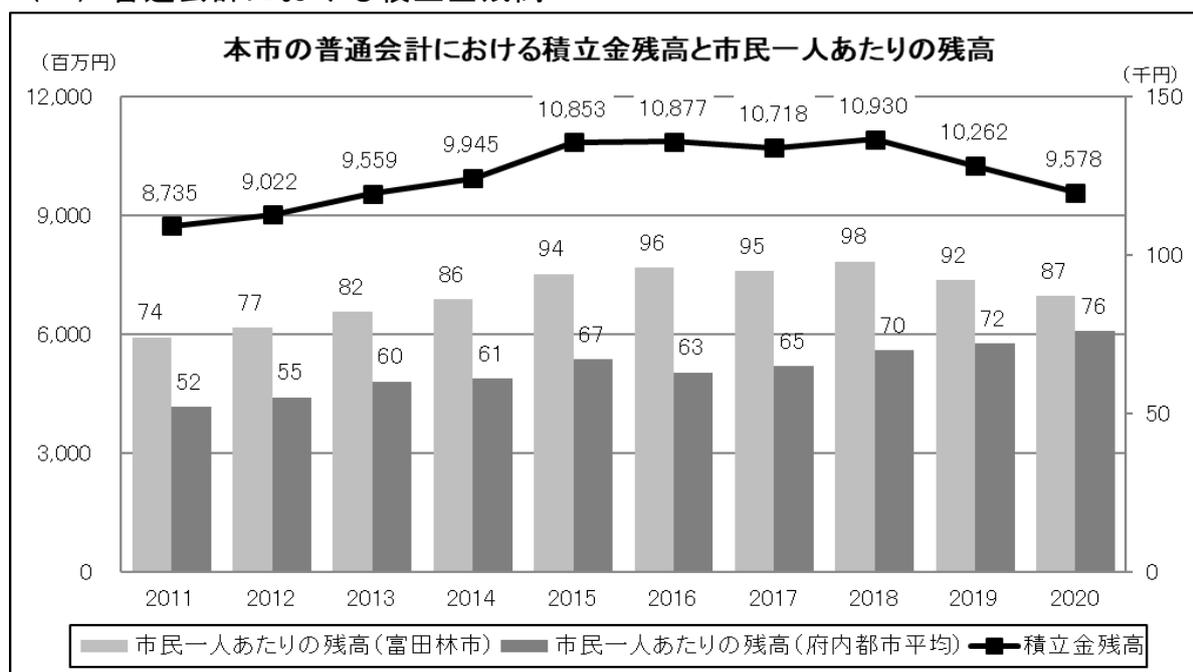
(3) 普通会計における市債残高



単位：百万円、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
市債残高	24,614	25,301	26,113	26,437	26,718	26,736	28,467	29,779	31,598	31,377

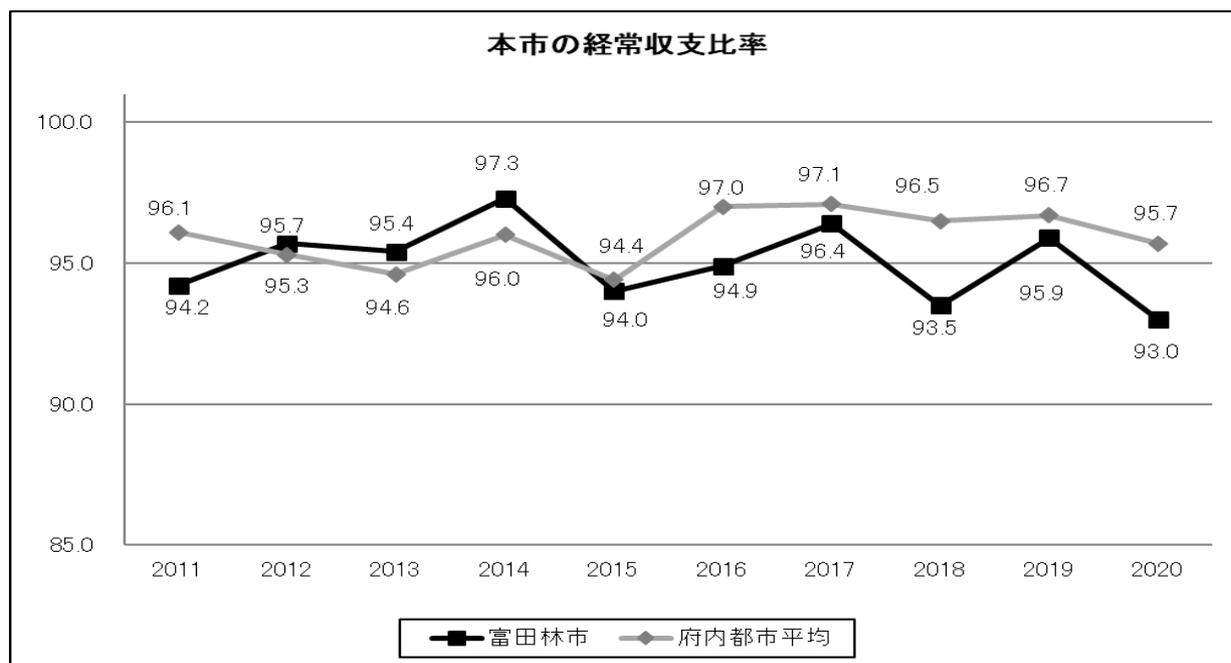
(4) 普通会計における積立金残高



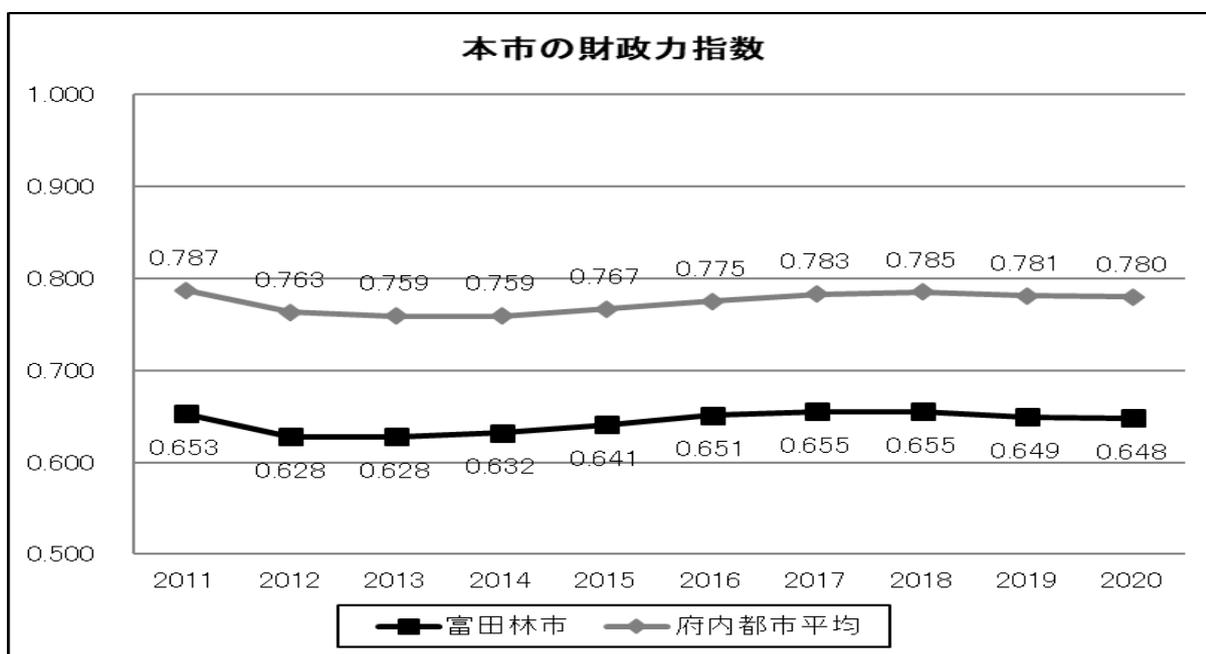
単位：百万円、各年度

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
積立金残高	8,735	9,022	9,559	9,945	10,853	10,877	10,718	10,930	10,262	9,578

(5) 財政指標



	各年度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
富田林市	94.2	95.7	95.4	97.3	94.0	94.9	96.4	93.5	95.9	93.0
府内都市平均	96.1	95.3	94.6	96.0	94.4	97.0	97.1	96.5	96.7	95.7



	各年度									
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
富田林市	0.653	0.628	0.628	0.632	0.641	0.651	0.655	0.655	0.649	0.648
府内都市平均	0.787	0.763	0.759	0.759	0.767	0.775	0.783	0.785	0.781	0.780

※府内都市平均：府内の市町村のうち政令市（大阪市、堺市）および町村を除いた平均値

富田林市

市民とともにつくる。
市民が幸せになる。
市民本位の市政を推進！

